

船員保険(健康づくり等)
に関する意識調査
報 告 書(被保険者健診版調査)

令和6年(2024年)5月
全国健康保険協会 船員保険部

目 次

第1章 調査の概要

I 調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 標本抽出方法	3
5. 回収結果	4
6. 回答者の属性	4
II 報告書の見方	7

第2章 調査結果の分析

I 生活習慣病予防健診について（問8～問18）	11
1. 「生活習慣病予防健診」の周知度	11
2. 「生活習慣病予防健診」の案内受け取り状況	13
3. 「生活習慣病予防健診」の受診料が無料であることの周知度	15
4. 「生活習慣病予防健診」の受診有無	17
5. 「生活習慣病予防健診」の受診機関	19
6. 「生活習慣病予防健診」の満足度	21
7. 「生活習慣病予防健診」に満足している理由	23
8. 「生活習慣病予防健診」に不満である理由	25
9. 昨年一年間の「生活習慣病予防健診」の受診有無	27
10. 昨年一年間または今まで「生活習慣病予防健診」が未受診の理由	28
11. 無料の前立腺がん検診の受診希望	30
II 健康証明書の写しの提供について（問19～問23）	31
1. 生活習慣病予防健診時に、「健康証明」が受けられることの周知度	31
2. 「健康証明書」欄の提供依頼の周知度	33
3. 「健康証明書」欄の提供が難しい理由	35
4. 「健康証明書」欄の提供により受けられる支援・サービスの周知度	37
5. 「健康証明書」の提出が必要であることの周知度	41
III 特定保健指導について（問24～問30）	42
1. 「特定保健指導」の無料提供の周知度	42
2. 「特定保健指導」の満足度	44
3. 「特定保健指導」の継続状況	45
4. 「特定保健指導」を途中でやめた理由	47
5. 「特定保健指導」を利用しない理由	49
6. 「特定保健指導」の利用方法の周知度	51
7. 「特定保健指導」のオンライン面談の周知度	53
IV 禁煙について（問31～問37）	54
1. 喫煙状況	54
2. 同部屋での喫煙者に対する心境	56
3. オンライン禁煙プログラムの周知度	57
4. オンライン禁煙プログラムの利用意向	59
5. オンライン禁煙プログラムを利用したいと思わない理由	60

6.	禁煙外来の利用状況	61
7.	禁煙外来を途中でやめた理由	63
V	歯の健康について（問 38～問 40）	65
1.	歯の健康意識	65
2.	歯科へ行く頻度	67
3.	乗船中の歯痛への対処	69
VI	広報について（問 41～問 43）	70
1.	日常の情報入手方法	70
2.	船員保険の活動に関する情報入手方法	72
3.	希望掲載内容	74
第3章 意見・要望（自由回答）		
I	健康づくりに関するご意見・ご要望	79
1.	運動に関する支援	79
2.	保険料（保険）について	81
3.	健診内容の充実	81
4.	健診場所・機関を増やして欲しい	83
5.	資料等が欲しい	84
6.	健診の「事前予約」による受診が難しい	85
7.	歯科について	86
8.	禁煙・禁酒について	86
9.	食事に関する支援	87
10.	仕事に関連する意見	88
11.	家族の健康診断について	88
12.	ストレス	88
13.	船員不足・高齢化	89
14.	船舶所有者への支援	89
15.	宿泊施設・保養所などに関する意見	89
16.	その他	89
第4章 調査票		

第 1 章 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

船員保険加入者が生活習慣病予防等を図り、将来にわたって健康に暮らすことができるよう、第2期船員保険データヘルス計画に基づいて健診等の実施体制の拡充や費用負担の軽減等、健康づくりを支援する取り組みを総合的に推進してきた。

今後、船員保険加入者及び船舶所有者の健康意識を高め、行動変容に繋げるための施策として、船舶所有者と協働した船員保険加入者の健康づくりを積極的に推進していくこととしており、そのためには加入者等の理解や協力が不可欠であることから、加入者等が船員保険に求める保健事業のニーズや、健康づくりに関する意識、船員保険に求める支援等を把握し、健診事業の推進やコラボヘルスへの取り組みに向けた施策を検討することを目的として実施する。

また、船員保険で実施する保健事業の認知状況や健康意識の醸成度合を把握することで第3期船員保険データヘルス計画の見直し等に反映させる。

2. 調査の項目

- ① 生活習慣予防健診について
- ② 健康証明書の写しの提供について
- ③ 特定保健指導について
- ④ 禁煙について
- ⑤ 歯の健康について
- ⑥ 広報について

3. 調査の設計

- ・調査対象：15歳～74歳までの被保険者
(令和6年能登半島地震で被災された4県を除く)
- ・調査対象数：10,000人
- ・調査方法：郵送による調査票配布-郵送回収
(督促はがきを1回送付)
- ・調査期間：令和6年2月2日(金)～2月22日(木)
(調査票の回答締切は、令和6年2月16日(金))

4. 標本抽出方法

標本の抽出は、まず、調査対象者の年齢階層と性別で層化し、被保険者全体の標本数である20,000標本を母集団構成比に沿って比例配分し、各層のサンプル数を決定した。

調査対象者は、各階層の母集団数÷各階層別に配分されたサンプル数により求められた抽出間隔を算出した。そして、層毎に住所の昇順及び年齢の昇順にデータを並び替えた上で、算出した抽出間隔をデータの先頭行から数え、抽出間隔の数字に該当した人を順次対象者として決定した(等間隔抽出)。本調査は被保険者を対象とした調査票が2種あることから、20,000標本を抽出後、10,000標本への配分はデータの先頭行から、調査種別1または2のいずれかを繰り返し割り振り決定した。

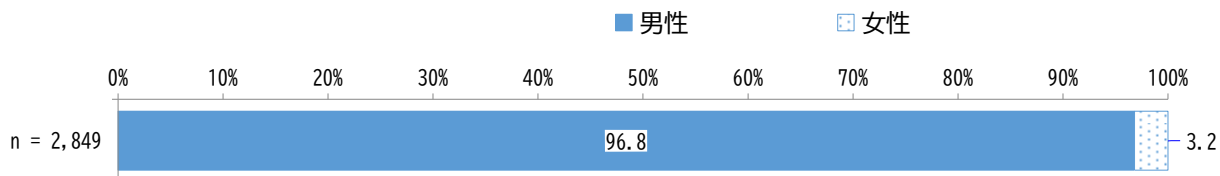
5. 回収結果

回収結果	件数	率
調査対象数	10,000	
有効回収数	2,849	28.5%

6. 回答者の属性

(1) 性別

図表 1-6-1 回答者の性別



回答者の性別は、「男性」が96.8%、「女性」が3.2%となっている。

(2) 年齢別区分

図表 1-6-2 回答者の年齢別区分

調査数	15歳以下	20歳以下	25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以下	45歳以下	50歳以下	55歳以下	60歳以下	65歳以下	70歳以下
2849	1.1	8.2	9.0	8.1	8.1	9.0	8.8	9.8	11.2	12.2	9.0	5.5

回答者の年齢区分は、「60歳～64歳」12.2%が最も高く、以下「55歳～59歳」11.2%、「50歳～54歳」9.8%となっている。

母集団構成比に近い割合で回収をすることができている。

(3) 居住地域

図表 1-6-3 回答者の居住地域

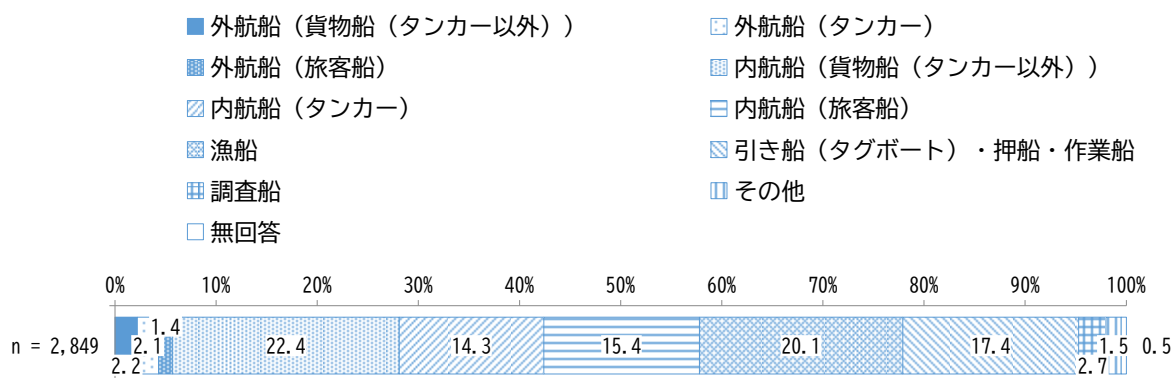
調査数	北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方
2849	7.1	12.2	13.6	5.2	10.8	12.6	9.4	29.2

回答者の居住地域は、「九州地方」29.2%が最も高く、以下「関東地方」13.6%、「中国地方」12.6%となっている。

母集団構成比に近い割合で回収をすることができている。

(4) 乗船している船舶の事業内容

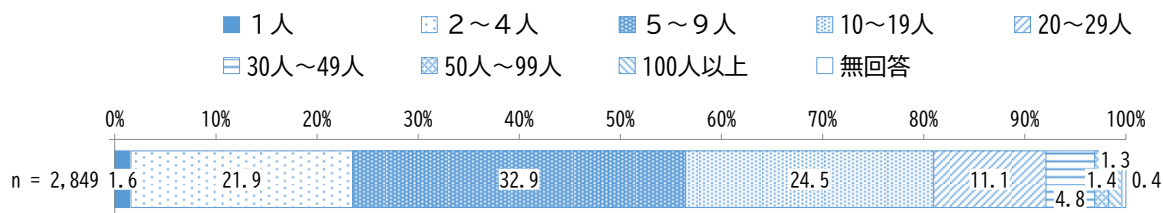
図表 1-6-4 回答者が乗船している船舶の事業内容



回答者が乗船している船舶の事業内容では、「内航船（貨物船（タンカー以外）」22.4%が最も高く、以下「漁船」20.1%、「引き船（タグボート）・押船・作業船」17.4%、「内航船（旅客船）」15.4%、「内航船（タンカー）」14.3%となっている。

(5) 乗船している船に乗り組む船員の人数

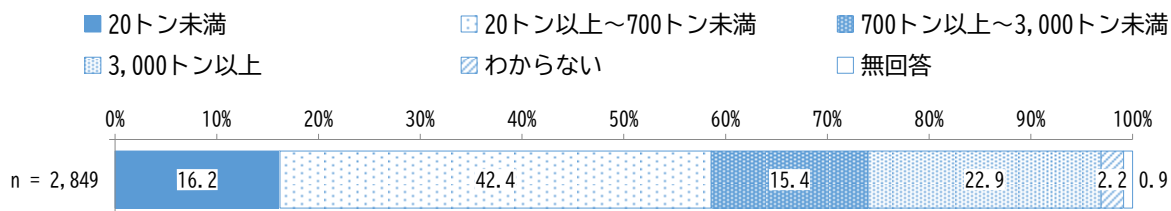
図表 1-6-5 船に乗り組む船員の人数



乗船船員人数では、「5～9人」32.9%が最も高く、以下「10～19人」24.5%、「2～4人」21.9%、「20～29人」11.1%となっている。

(6) 乗船している船の総トン数

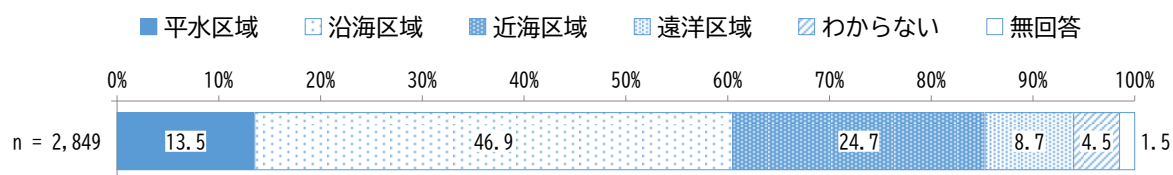
図表 1-6-6 船の総トン数



総トン数クラスでは、「20トン以上～700トン未満」42.4%が最も高く、以下「3,000トン以上」22.9%、「20トン未満」16.2%となっている。

(7) 乗船している船の航行区域

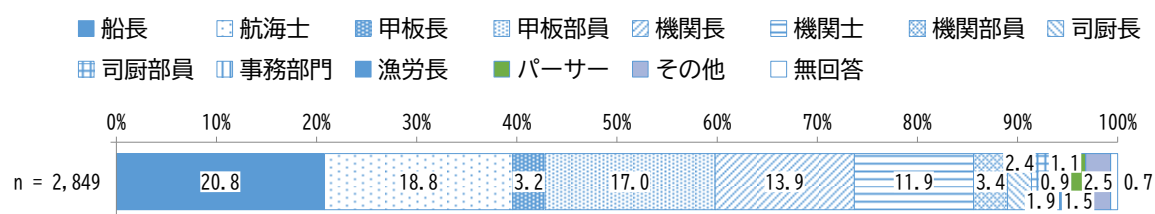
図表 1 - 6 - 7 船の航行区域



航行区域では、「沿海区域」46.9%が最も高く、以下「近海区域」24.7%、「平水区域」13.5%、「遠洋区域」8.7%となっている。

(8) 職種

図表 1 - 6 - 8 回答者の職種



職種では、「船長」20.8%が最も高く、以下「航海士」18.8%、「甲板部員」17.0%、「機関長」13.9%、「機関士」11.9%となっている。

Ⅱ 報告書の見方

- 図表中の「n」とは、その質問への回答者数を表す。
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数（100.0%）として、小数点第2位を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 図表中、回答のなかった選択肢は「-」として表記している。なお、帯グラフについては、グラフの見やすさの点から、「-」を表記していない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計が100%を超える。
- クロス集計の表側では、表側とした質問の「無回答」は表示していないため、各回答選択肢の回答者数の合計が全体の回答者数と一致しない。
- 回答選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- 調査数n=50未満は数が少ないため、結果の傾向については本文に記載せず、参考数値として取り扱う。ただし、全体回答数が少ない設問は、調査数n=50未満でも結果の傾向を本文に記載している。（なお、調査数n=50以上でも結果の傾向について記載していないものもある。）
- この調査で言う、漁船以外の船舶と漁船及びその他の区分定義は次の通りである。

【漁船以外の船舶】

外航船（貨物船（タンカー以外））、外航船（タンカー）、外航船（旅客船）、内航船（貨物船（タンカー以外））、内航船（タンカー）、内航船（旅客船）、引き船（タグボート）・押船・作業船、調査船

【漁船】

漁船

【その他】

その他（具体的に： ）と回答し、既存の選択肢に振り分けられなかったもの。

—— 第2章 調査結果の分析 ——

I 生活習慣病予防健診について（問 8 ～ 問 18）

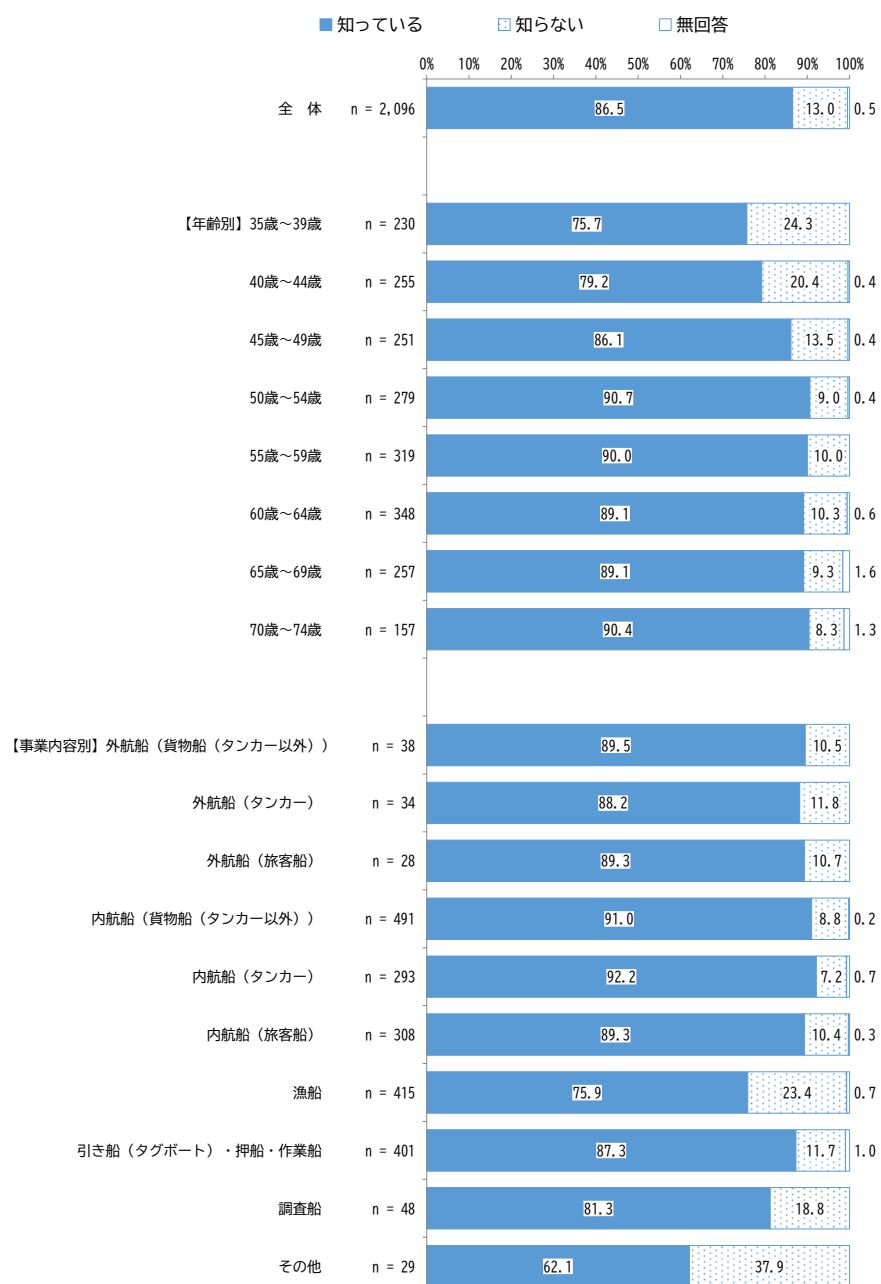
1. 「生活習慣病予防健診」の周知度

◆周知度は、86.5%

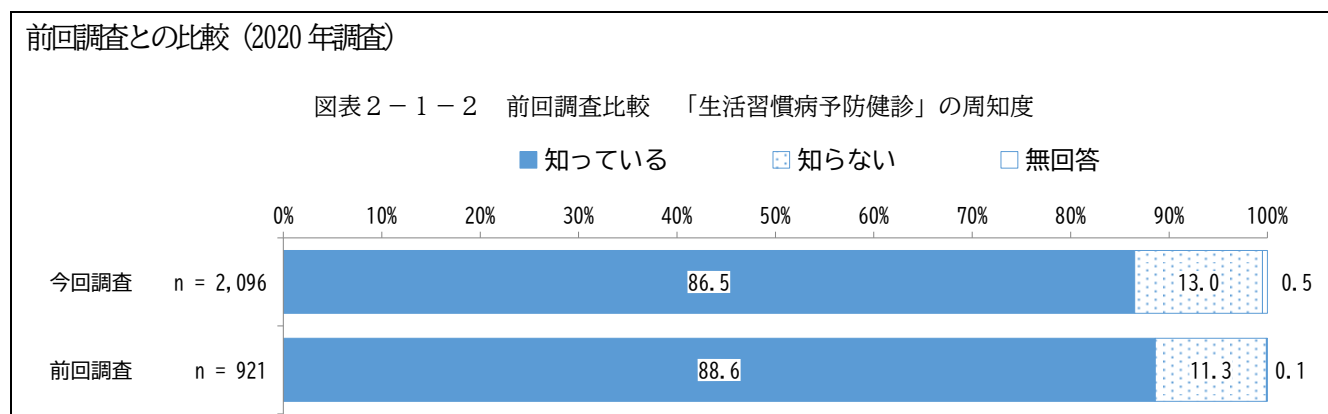
（35歳以上の方、全員がお答えください。）

問 8. あなたは、船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」をご存じですか。（○は 1 つだけ）

図表 2 - 1 - 1 「生活習慣病予防健診」の周知度



「生活習慣病予防健診」の周知度について、「知っている」が86.5%、「知らない」が13.0%となっている。【年齢】別にみると、「知らない」が35歳～39歳で24.3%、40歳～44歳で20.4%と比較的高くなっている。【事業内容】別にみると、漁船は、「知らない」が23.4%と比較的高くなっている。（図表2－1－1）



「生活習慣病予防健診」の周知度について、「知っている」は、前回調査の88.6%から今回調査の86.5%と、2.1ポイント減少しているものの、大きな差は見られない。（図表2－1－2）

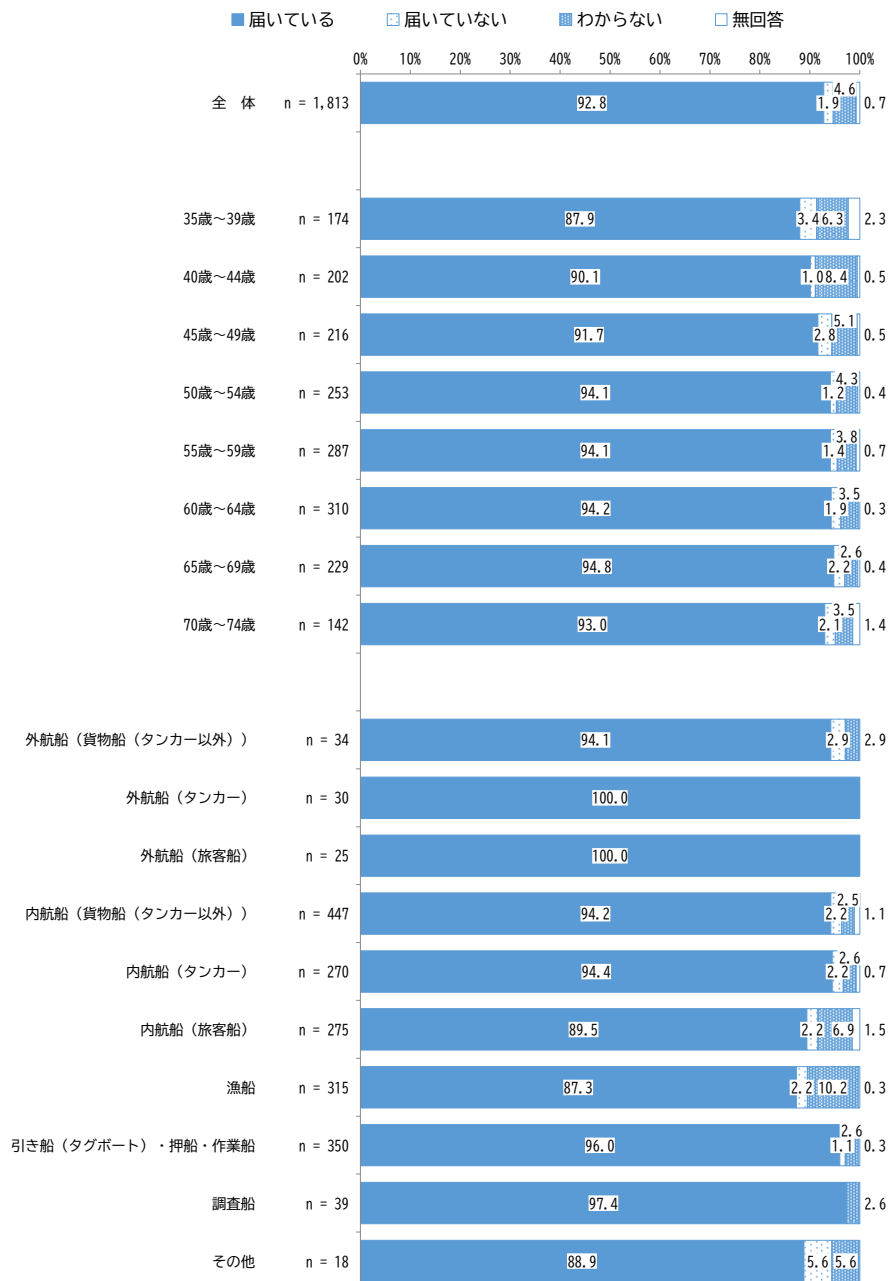
2. 「生活習慣病予防健診」の案内受け取り状況

◆「届いている」は9割超え

(問8. で「1. 知っている」とお答えの方へ)

問9. 生活習慣病予防健診の案内は届いていますか。(○は1つだけ)

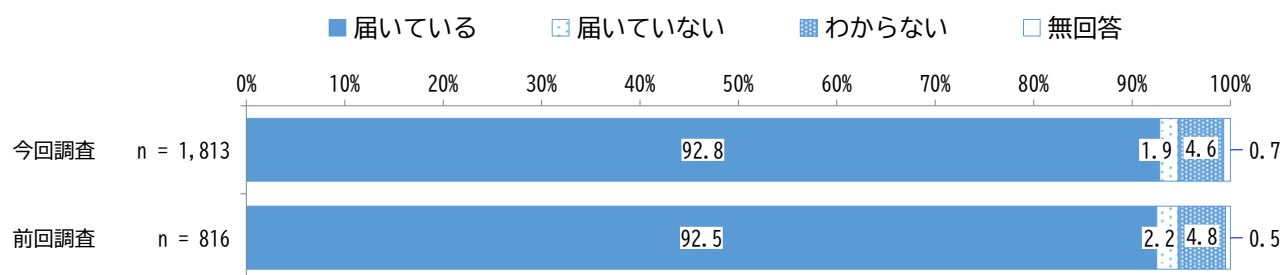
図表2-1-3 「生活習慣病予防健診」の案内受け取り状況



「生活習慣病予防健診」の案内受け取り状況について、「届いている」が92.8%、「わからない」が4.6%、「届いていない」が1.9%となっている。【年齢】別及び、【事業内容】別にみても、「届いている」が比較的高くなっている。（図表2-1-3）

前回調査との比較（2020 年調査）

図表 2－1－4 前回調査比較 「生活習慣病予防健診」の案内受け取り状況



「生活習慣病予防健診」の案内受け取り状況について、「届いている」は、前回調査の 92.5% から今回調査の 92.8% と、0.3 ポイント増加しているものの、大きな差は見られない。（図表 2－1－4）

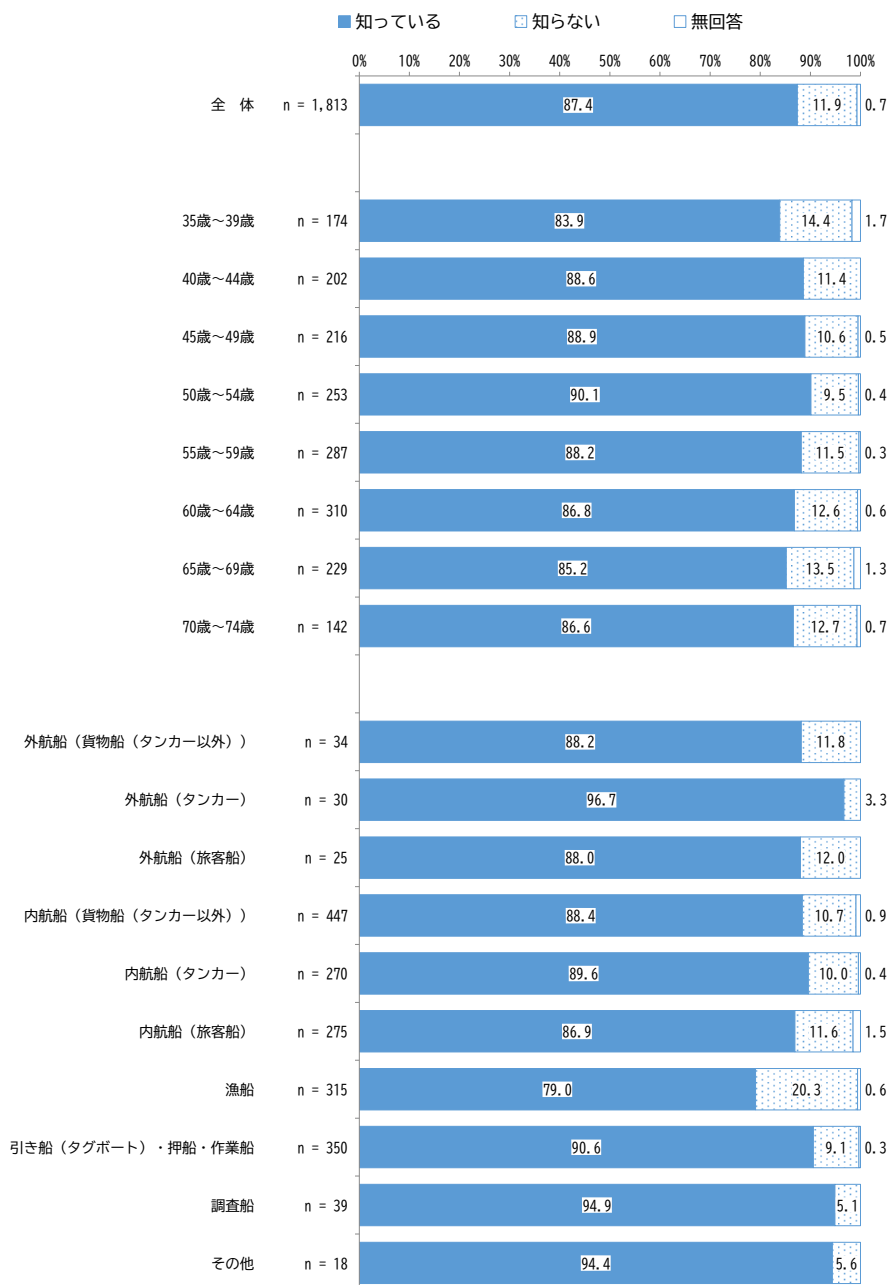
3. 「生活習慣病予防健診」の受診料が無料であることの周知度

◆周知度は、87.4%

(問9. をお答えの方へ)

問 10. 生活習慣病予防健診は無料で受けられることをご存じですか。(○は1つだけ)

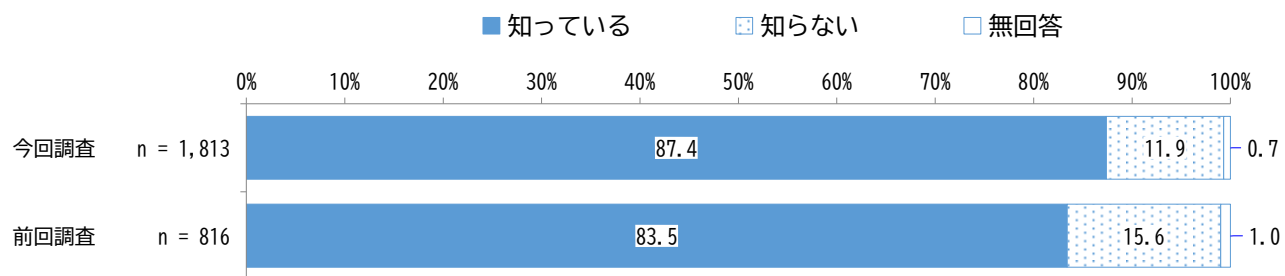
図表 2-1-5 「生活習慣病予防健診」の受診料が無料であることの周知度



「生活習慣病予防健診」の受診料が無料であることの周知度について、「知っている」が87.4%、「知らない」が11.9%となっている。【年齢】別にみると、35歳～39歳は、「知らない」が14.4%と比較的高くなっている。【事業内容】別にみると、漁船は、「知らない」が20.3%と比較的高くなっている。(図表 2-1-5)

前回調査との比較（2020 年調査）

図表 2－1－6 前回調査比較 「生活習慣病予防健診」の受診料が無料であることの周知度



「生活習慣病予防健診」の受診料が無料であることの周知度について、「知っている」は、前回調査の 83.5%から今回調査の 87.4%と、3.9 ポイント増加しているものの、大きな差は見られない。（図表 2－1－6）

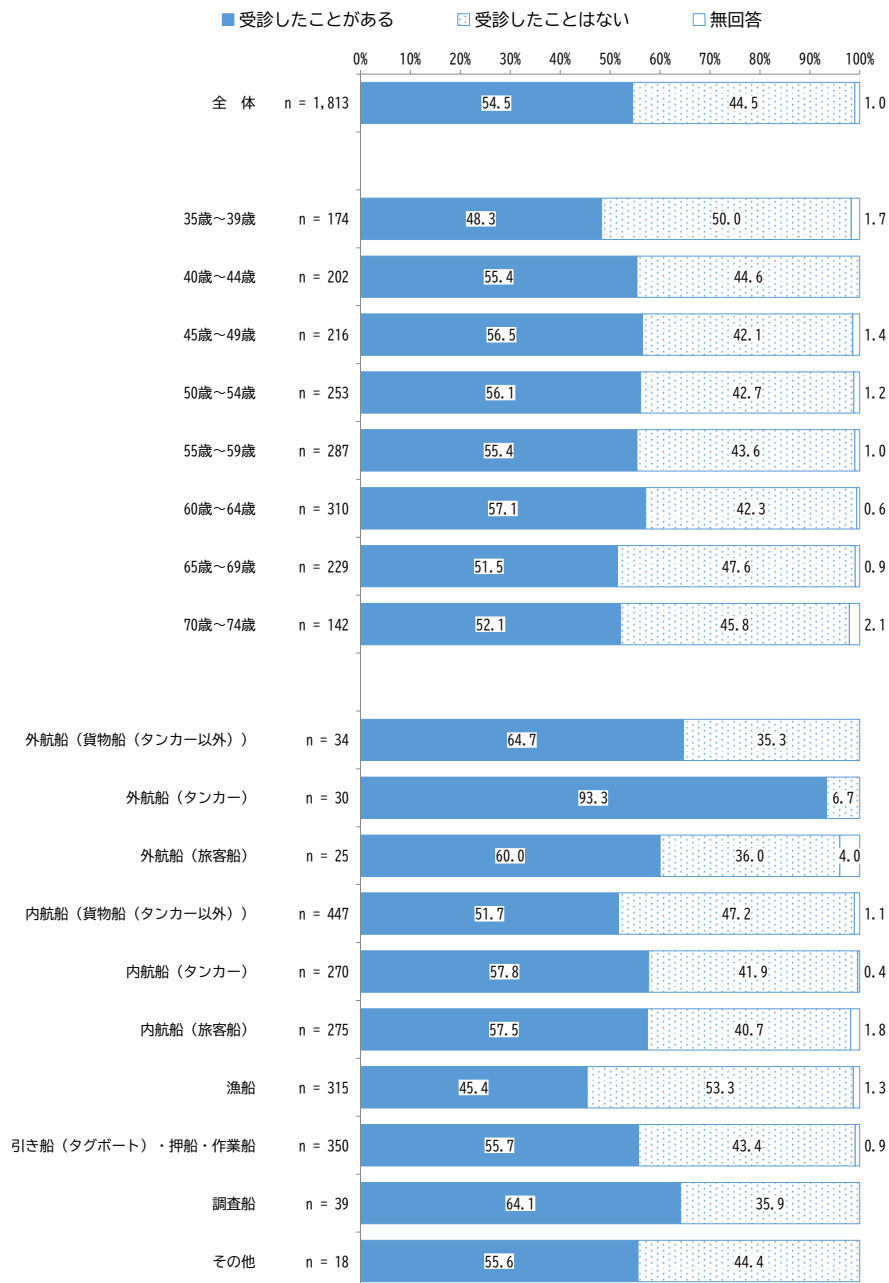
4. 「生活習慣病予防健診」の受診有無

◆「受診したことがある」は約5割

(問10. をお答えの方へ)

問 11. これまでに、生活習慣病予防健診を受診したことがありますか。(○は1つだけ)

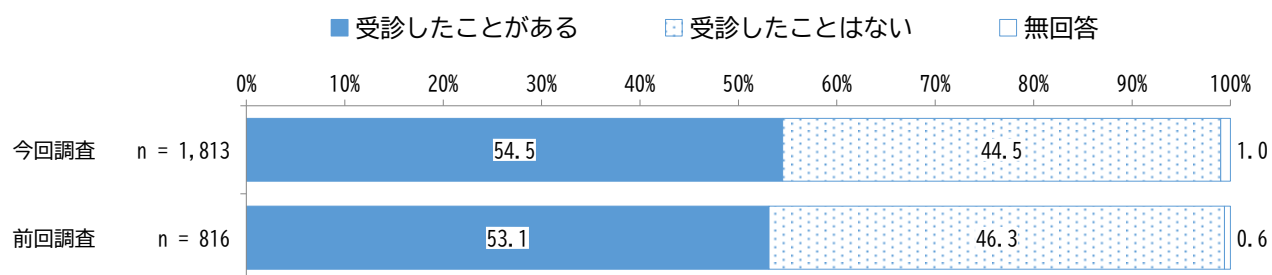
図表 2－1－7 「生活習慣病予防健診」の受診有無



「生活習慣病予防健診」の受診有無について、「受診したことがある」が54.5%、「受診したことはない」が44.5%となっている。【事業内容】別にみると、漁船は、「受診したことはない」が53.3%と比較的高くなっている。(図表 2－1－7)

前回調査との比較（2020 年調査）

図表 2－1－8 前回調査比較 「生活習慣病予防健診」の受診有無



「生活習慣病予防健診」の受診有無について、「受診したことがある」は、前回調査の 53.1% から今回調査の 54.5% と、1.4 ポイント増加しているものの、大きな差は見られない。（図表 2－1－8）

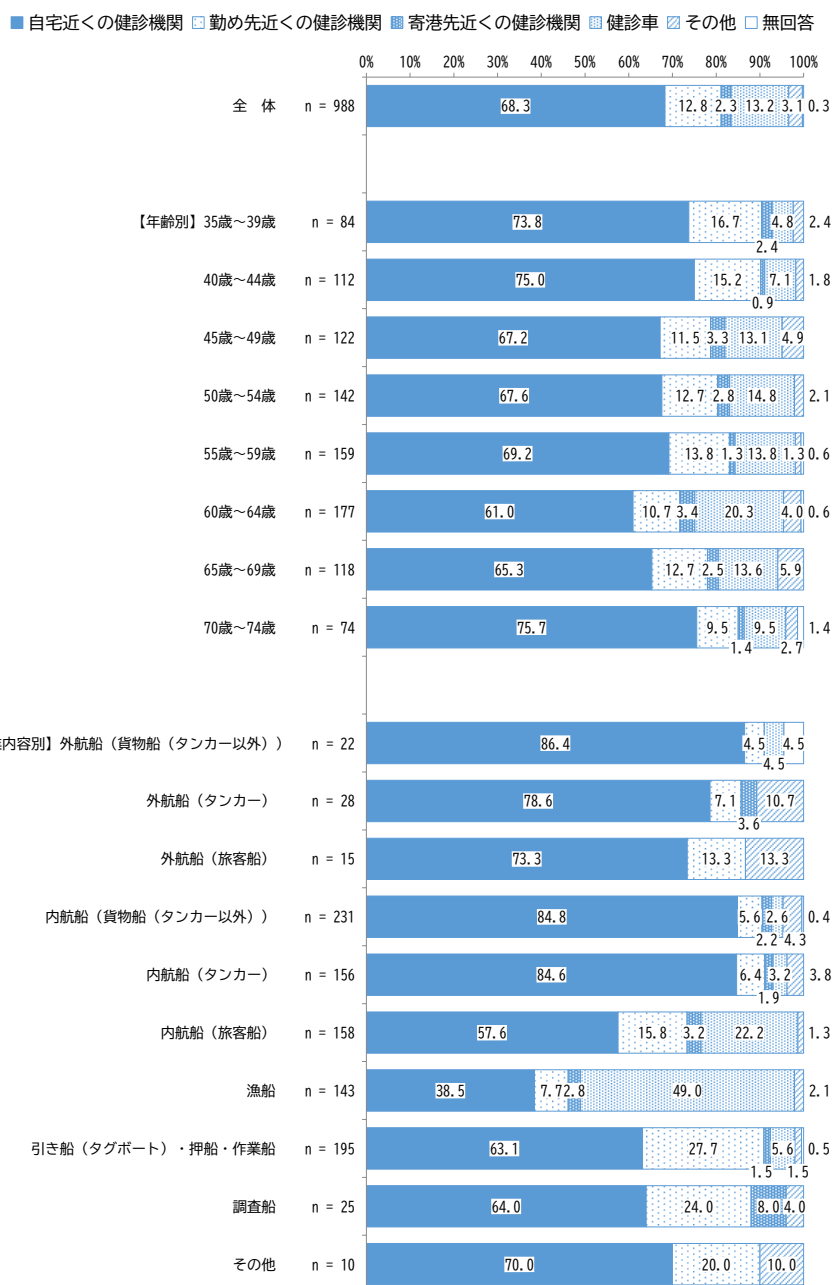
5. 「生活習慣病予防健診」の受診機関

◆「自宅近くの健診機関」が68.3%で最も高い

(問11. で「1. 受診したことがある」とお答えの方へ)

問12. 船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」は、どちらで受けましたか。(○は1つだけ)

図表2-1-9 「生活習慣病予防健診」の受診機関



「生活習慣病予防健診」の受診機関について、「自宅近くの健診機関」68.3%が最も高く、以下「健診車」13.2%、「勤め先近くの健診機関」12.8%となっている。（図表2-1-9）

前回調査（2020 年）について

選択肢内容が異なっており、比較はできないが、参考として、前回の結果は、「自宅近くの健診機関」が 64.7%で最も高く、以下「健診車」（13.4%）、「勤め先近くの健診機関」（10.4%）、「寄港先近くの健診機関」（3.5%）となっていた。

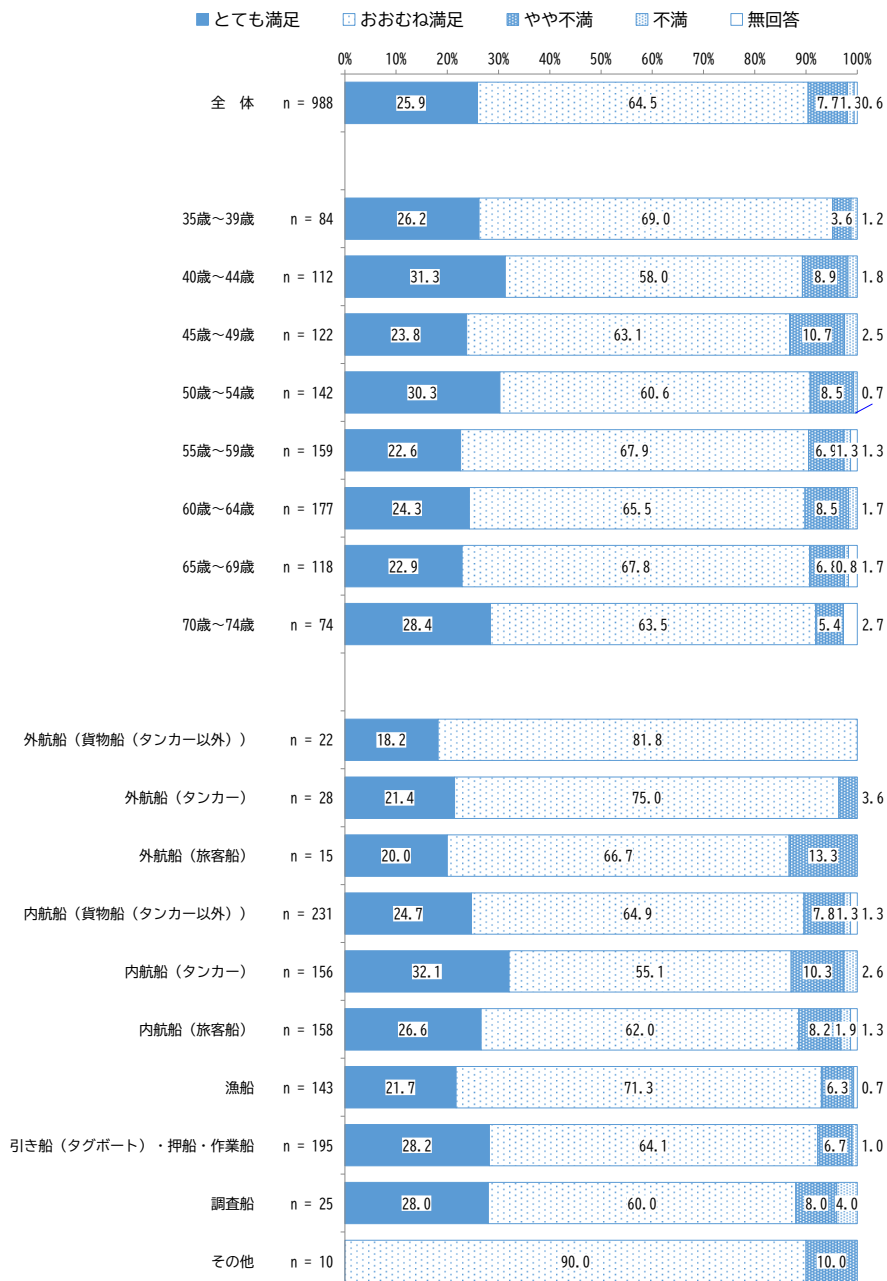
6. 「生活習慣病予防健診」の満足度

◆「満足」は、90.4%

(問12. をお答えの方へ)

問13. この健診に満足されていますか。(○は1つだけ)

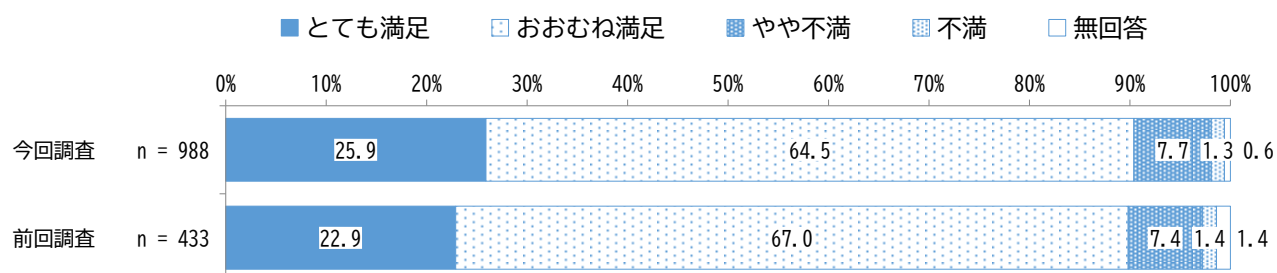
図表2-1-10 「生活習慣病予防健診」の満足度



「生活習慣病予防健診」の満足度について、「満足」（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、90.4%と満足度は高くなっている。【年齢】・【事業内容】別にみても、「満足」の割合は、9割近くになっている。（図表2-1-10）

前回調査との比較（2020年調査）

図表 2-1-11 前回調査比較 「生活習慣病予防健診」の満足度



「生活習慣病予防健診」の満足度について、《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、前回調査の 89.9%から今回調査の 90.4%と、0.5 ポイント増加しているものの、大きな差は見られない。（図表 2-1-11）

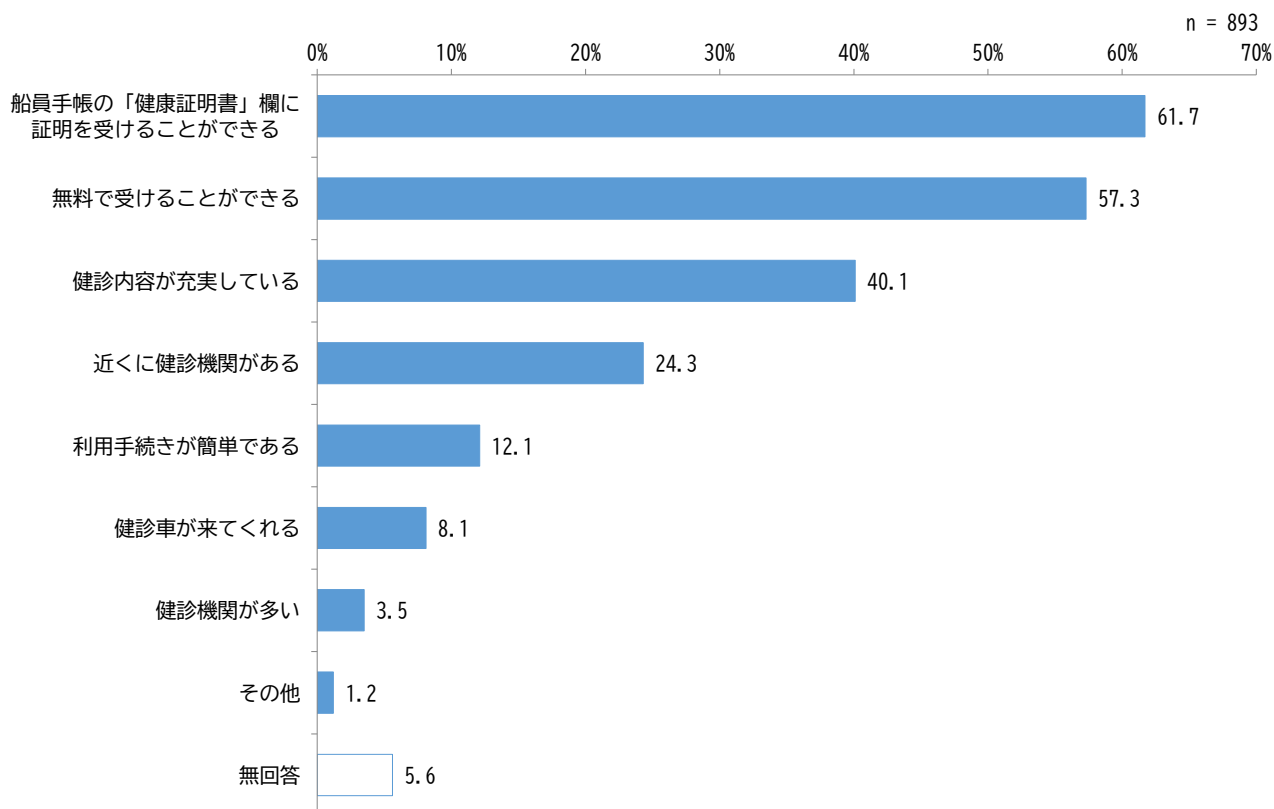
7. 「生活習慣病予防健診」に満足している理由

◆「船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができる」が61.7%で最も高い

(問13. で「1. とても満足」または「2. おおむね満足」とお答えの方へ)

問14. 主に、どのような点に満足されていますか。(○は3つまで)

図表2-1-12 「生活習慣病予防健診」に満足している理由



「生活習慣病予防健診」に満足している理由について、「船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができる」が61.7%と最も高く、以下「無料で受けることができる」57.3%、「健診内容が充実している」40.1%、「近くに健診機関がある」24.3%、「利用手続きが簡単である」12.1%、となっている。(図表2-1-12)

前回調査(2020年)について

選択肢内容が異なっており、比較はできないが、参考として、前回の結果は、「船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができる」が67.4%で最も高く、以下「無料で受けることができる」(48.1%)、「健診内容が充実している」(38.6%)となっていた。

図表 2-1-13 年齢別・事業内容別 「生活習慣病予防健診」に満足している理由

		調査数	健診内容が充実している	健診機関が多い	近くに健診機関がある	証明を受けることが出来る 船員手帳の「健康証明書」欄に	健診車が来てくれる	無料で受けることができる	利用手続きが簡単である	その他	無回答
全 体		893	40.1	3.5	24.3	61.7	8.1	57.3	12.1	1.2	5.6
年 齢 別	35歳～39歳	80	32.5	5.0	27.5	53.8	—	61.3	11.3	1.3	2.5
	40歳～44歳	100	44.0	2.0	27.0	65.0	5.0	61.0	13.0	3.0	2.0
	45歳～49歳	106	44.3	6.6	19.8	63.2	5.7	60.4	4.7	0.9	6.6
	50歳～54歳	129	41.1	3.1	24.8	61.2	10.9	58.9	14.7	—	4.7
	55歳～59歳	144	37.5	2.8	22.9	59.0	8.3	60.4	9.0	0.7	11.1
	60歳～64歳	159	40.9	2.5	23.9	64.8	13.2	49.1	11.9	1.3	4.4
	65歳～69歳	107	39.3	2.8	22.4	57.9	10.3	59.8	18.7	2.8	6.5
	70歳～74歳	68	39.7	4.4	29.4	69.1	4.4	48.5	14.7	—	4.4
事 業 内 容 別	外航船(貨物船(タンカー以外))	22	36.4	18.2	22.7	72.7	13.6	59.1	13.6	4.5	—
	外航船(タンカー)	27	44.4	—	25.9	81.5	—	55.6	18.5	—	—
	外航船(旅客船)	13	30.8	—	46.2	84.6	—	46.2	30.8	7.7	—
	内航船(貨物船(タンカー以外))	207	37.7	3.4	30.0	63.3	1.4	58.5	10.1	1.0	4.3
	内航船(タンカー)	136	47.1	5.9	25.7	62.5	0.7	64.7	9.6	0.7	5.9
	内航船(旅客船)	140	45.0	2.1	20.0	64.3	7.9	49.3	10.0	0.7	7.1
	漁船	133	28.6	0.8	16.5	49.6	35.3	55.6	15.8	0.8	5.3
	引き船(タグボート)・押船・作業船	180	39.4	3.3	23.9	59.4	3.9	58.9	12.8	1.1	8.3
	調査船	22	63.6	9.1	27.3	68.2	—	54.5	9.1	—	4.5
	その他	9	55.6	—	33.3	44.4	—	55.6	22.2	11.1	—

「生活習慣病予防健診」に満足している理由について、【年齢】別にみると、60歳～64歳は、「健診車が来てくれる」が13.2%と比較的高くなっている。65歳～69歳は、「利用手続きが簡単である」が18.7%と比較的高くなっている。(図表2-1-13)

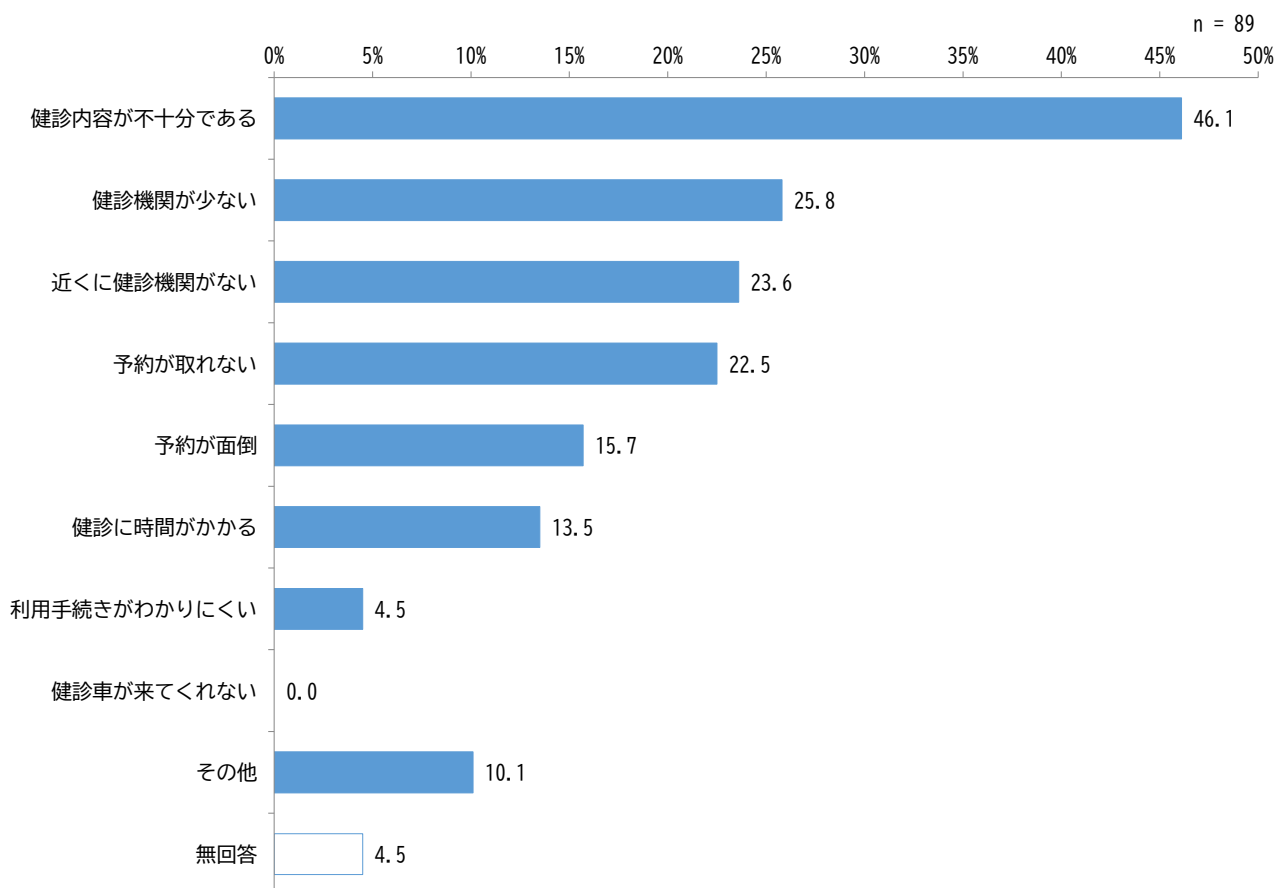
8. 「生活習慣病予防健診」に不満である理由

◆「健診内容が不十分である」が46.1%で最も高い

(問13. で「3. やや不満」または「4. 不満」とお答えの方へ)

問 15. 主に、どのような点がご不満ですか。(○は3つまで)

図表 2-1-14 「生活習慣病予防健診」に不満である理由



「生活習慣病予防健診」に不満である理由について、「健診内容が不十分である」が46.1%で最も高く、以下「健診機関が少ない」25.8%、「近くに健診機関がない」23.6%、「予約が取れない」22.5%、「予約が面倒」15.7%となっている。(図表 2-1-14)

前回調査 (2020 年) について

選択肢内容が異なっており、比較はできないが、参考として、前回の結果は、「健診内容が不十分である」が52.6%で最も高く、「予約が面倒」(23.7%)、「近くに健診機関がない」(21.1%)となっていた。

図表 2-1-15 年齢別・事業内容別 「生活習慣病予防健診」に不満である理由

		調査数	健診内容が不十分である	健診機関が少ない	近くに健診機関がない	健診車が来てくれない	健診に時間がかかる	予約が面倒	予約が取れない	利用手続きがわかりにくい	その他	無回答
全 体		89	46.1	25.8	23.6	-	13.5	15.7	22.5	4.5	10.1	4.5
年 齢 別	35歳～39歳	4	50.0	25.0	25.0	-	-	-	50.0	-	-	-
	40歳～44歳	12	41.7	41.7	41.7	-	8.3	8.3	8.3	-	8.3	-
	45歳～49歳	16	50.0	18.8	-	-	6.3	25.0	37.5	6.3	12.5	-
	50歳～54歳	13	61.5	15.4	23.1	-	7.7	7.7	23.1	7.7	-	-
	55歳～59歳	13	30.8	23.1	23.1	-	23.1	23.1	15.4	7.7	15.4	-
	60歳～64歳	18	50.0	33.3	22.2	-	16.7	22.2	22.2	-	22.2	5.6
	65歳～69歳	9	55.6	33.3	33.3	-	11.1	-	11.1	11.1	-	11.1
	70歳～74歳	4	-	-	50.0	-	50.0	25.0	25.0	-	-	50.0
事 業 内 容 別	外航船(貨物船(タンカー以外))	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	外航船(タンカー)	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	外航船(旅客船)	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	内航船(貨物船(タンカー以外))	21	33.3	38.1	33.3	-	14.3	19.0	23.8	4.8	14.3	14.3
	内航船(タンカー)	20	45.0	30.0	20.0	-	20.0	10.0	25.0	-	15.0	-
	内航船(旅客船)	16	50.0	18.8	37.5	-	18.8	6.3	12.5	-	-	-
	漁船	9	44.4	22.2	-	-	-	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1
	引き船(タグボート)・押船・作業船	15	60.0	13.3	26.7	-	13.3	20.0	20.0	-	6.7	-
	調査船	3	33.3	-	-	-	-	66.7	66.7	-	-	-
	その他	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-

「生活習慣病予防健診」に不満である理由について、参考値にはなるが、【年齢】【事業内容】別にみても、「健診内容が不十分である」が比較的高くなっている。(図表 2-1-15)

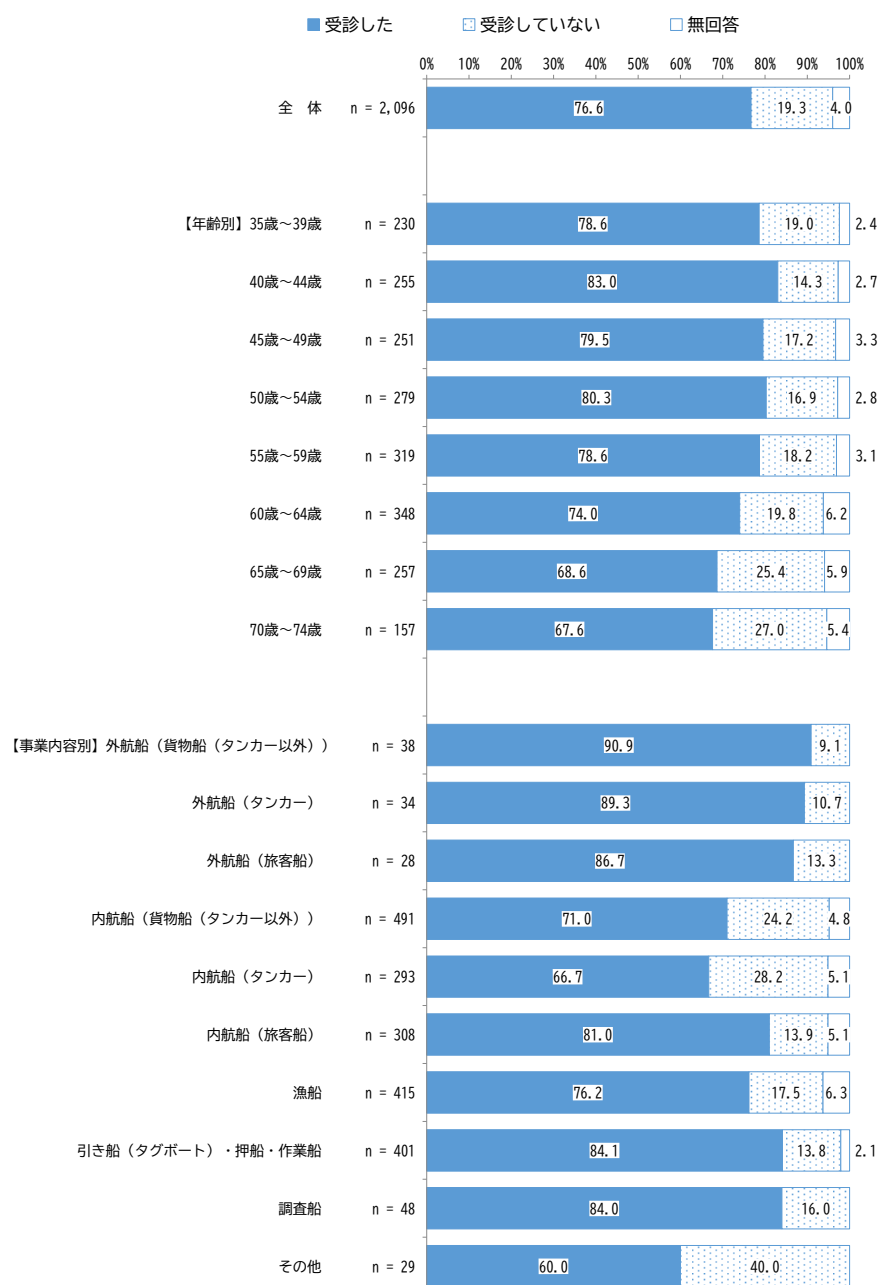
9. 昨年一年間の「生活習慣病予防健診」の受診有無

◆「受診した」は76.6%

(問14. または 問15. のいずれかをお答えの方へ)

問16. 昨年一年間では、船員保険が実施している生活習慣病予防健診を受診されましたか。(○は1つだけ)

図表2-1-16 昨年一年間の「生活習慣病予防健診」の受診有無



昨年一年間の「生活習慣病予防健診」の受診有無について、「受診した」が76.6%、「受診していない」が19.3%となっている。【事業内容】別にみると、内航船（貨物船（タンカー））は、「受診していない」が28.2%と比較的高くなっている。(図表2-1-16)

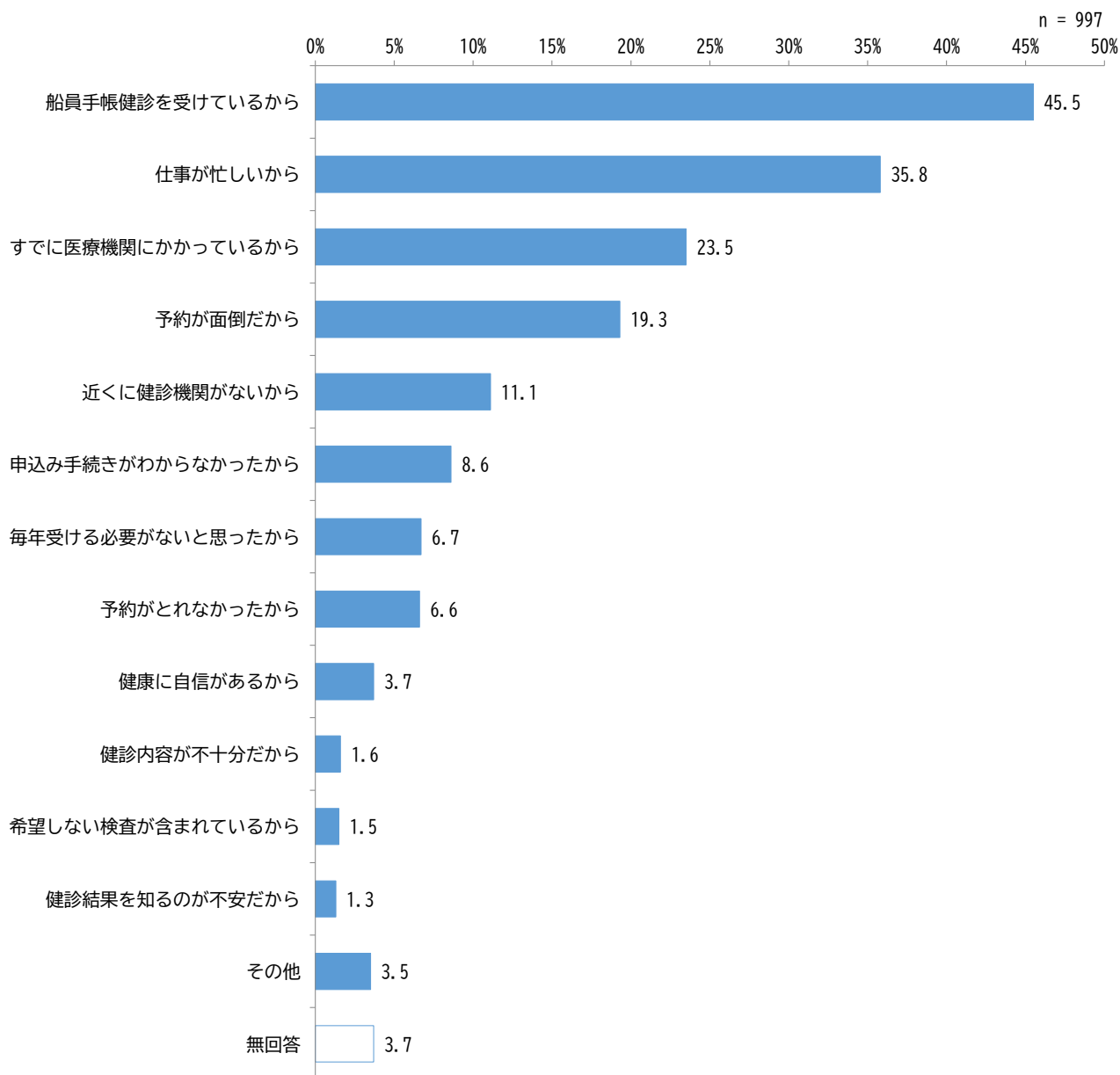
10. 昨年一年間または今まで「生活習慣病予防健診」が未受診の理由

◆「船員手帳健診を受けているから」が45.5%で最も高い

(問11. で「2. 受診したことはない」または 問16. で「2. 受診していない」とお答えの方へ)

問 17. 生活習慣病予防健診を昨年一年間または今までに受診されなかった主な理由は何ですか。
(○は3つまで)

図表 2-1-17 昨年一年間または今まで「生活習慣病予防健診」が未受診の理由



昨年一年間または今まで「生活習慣病予防健診」が未受診の理由について、「船員手帳健診を受けているから」が45.5%と最も高く、以下「仕事が忙しいから」35.8%、「すでに医療機関にかかっているから」23.5%、「予約が面倒だから」19.3%、「近くに健診機関がないから」11.1%、となっている。(図表 2-1-17)

図表 2-1-18 年齢別・事業内容別 昨年一年間または今まで「生活習慣病予防健診」が未受診の理由

		調査数	仕事が忙しいから	申込み手続きがわからなかったから	健診内容が不十分だから	希望しない検査が含まれているから	近くに健診機関がないから	予約が面倒だから	毎年受ける必要がないと思ったから	すでに医療機関にかかっているから	船員手帳健診を受けているから	健康に自信があるから	健診結果を知るのが不安だから	予約がとれなかったから	その他	無回答
全 体		997	35.8	8.6	1.6	1.5	11.1	19.3	6.7	23.5	45.5	3.7	1.3	6.6	3.5	3.7
年 齢 別	35歳～39歳	103	36.9	12.6	-	1.9	10.7	27.2	14.6	5.8	46.6	4.9	1.9	9.7	4.9	3.9
	40歳～44歳	106	43.4	9.4	5.7	-	15.1	21.7	2.8	9.4	37.7	4.7	0.9	3.8	3.8	5.7
	45歳～49歳	112	46.4	13.4	-	3.6	9.8	31.3	9.8	12.5	35.7	8.9	1.8	1.8	4.5	3.6
	50歳～54歳	132	37.9	6.8	1.5	1.5	8.3	14.4	5.3	27.3	43.2	2.3	1.5	10.6	2.3	2.3
	55歳～59歳	154	33.8	7.8	1.9	0.6	11.0	17.5	4.5	27.3	44.8	1.9	0.6	8.4	5.8	3.2
	60歳～64歳	166	30.1	7.8	1.8	1.2	10.8	16.3	5.4	31.9	44.6	3.0	1.2	6.6	2.4	2.4
	65歳～69歳	139	36.0	7.2	1.4	2.9	12.2	15.8	7.9	31.7	54.7	2.2	0.7	3.6	1.4	3.6
	70歳～74歳	85	22.4	4.7	-	-	11.8	12.9	4.7	34.1	58.8	3.5	2.4	8.2	3.5	7.1
事 業 内 容 別	外航船(貨物船(タンカー以外))	14	42.9	7.1	-	-	21.4	50.0	7.1	21.4	50.0	-	-	7.1	7.1	-
	外航船(タンカー)	5	60.0	-	-	-	20.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0	20.0	-	-
	外航船(旅客船)	11	36.4	9.1	9.1	-	9.1	9.1	-	-	54.5	9.1	-	-	18.2	-
	内航船(貨物船(タンカー以外))	267	35.6	8.2	2.6	1.9	13.9	23.6	4.1	21.3	51.3	0.7	1.5	8.6	3.7	2.6
	内航船(タンカー)	157	28.7	5.7	0.6	1.9	15.9	22.3	8.9	24.2	49.0	1.3	0.6	13.4	6.4	0.6
	内航船(旅客船)	134	29.1	10.4	2.2	0.7	12.7	20.1	14.2	19.4	44.8	11.9	2.2	3.0	3.0	1.5
	漁船	193	38.9	9.8	0.5	1.0	4.7	10.4	4.7	26.4	38.3	4.1	1.0	2.6	2.1	9.3
	引き船(タグボート)・押船・作業船	179	45.3	9.5	1.1	1.7	8.4	19.6	5.0	25.7	42.5	3.4	0.6	3.9	2.2	3.9
	調査船	18	16.7	11.1	5.6	-	5.6	11.1	16.7	33.3	50.0	-	5.6	11.1	-	11.1
	その他	12	33.3	8.3	-	8.3	16.7	8.3	8.3	33.3	41.7	16.7	-	8.3	-	-

昨年一年間または今まで「生活習慣病予防健診」が未受診の理由について、【年齢】別にみると、35歳～39歳は、「申込み手続きがわからなかったから」が12.6%、「予約が面倒だから」が27.2%、「毎年受ける必要がないと思ったから」が14.6%と比較的高くなっている。45歳～49歳は、「申込み手続きがわからなかったから」が13.4%、「予約が面倒だから」が31.3%と比較的高くなっている。50歳～54歳は、「予約がとれなかったから」が10.6%と比較的高くなっている。70歳～74歳は、「すでに医療機関にかかっているから」が34.1%と比較的高くなっている。【事業内容】別にみると、内航船（タンカー）は、「近くに健診機関がないから」が15.9%と比較的高くなっている。（図表 2-1-18）

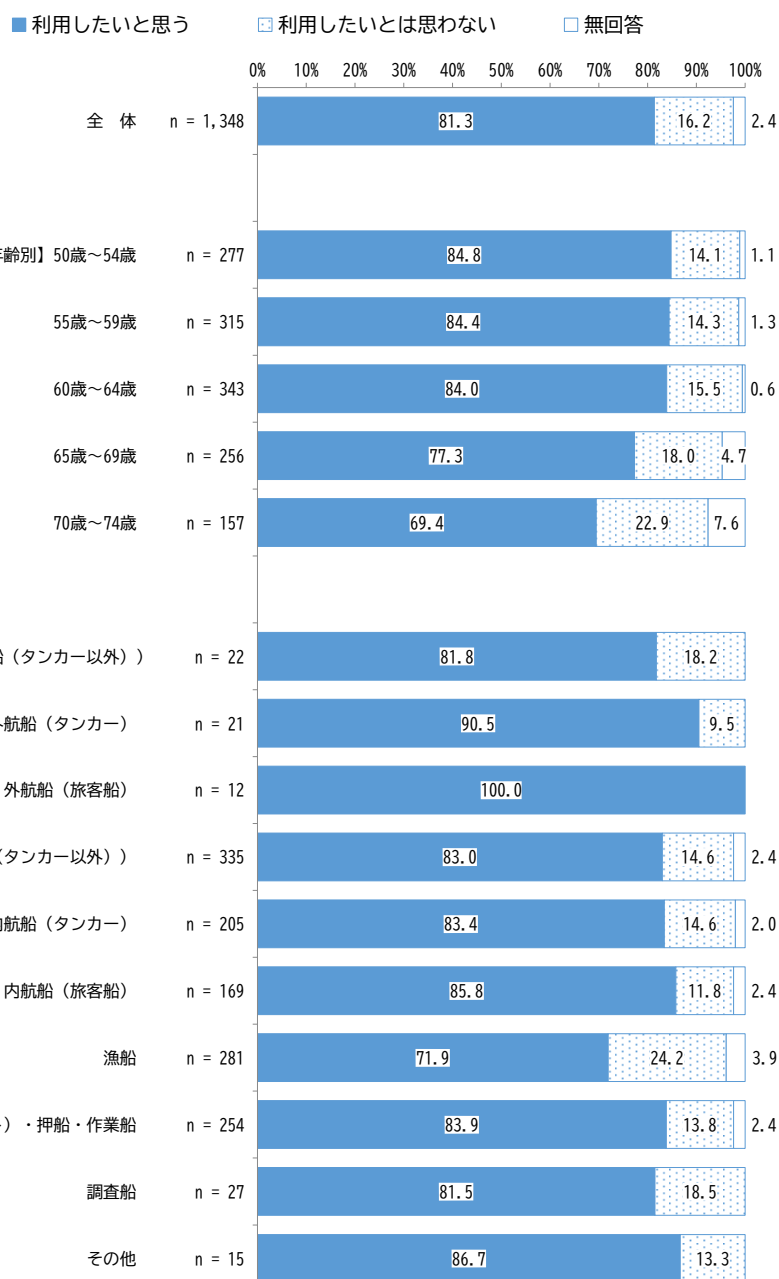
1 1. 無料の前立腺がん検診の受診希望

◆「利用したいと思う」は81.3%

(50歳以上の男性の方、全員がお答えください)

問 18. 「生活習慣病予防健診」では、現在 926 円で「前立腺がん検診」を追加することができます。もし、「前立腺がん検診」が無料になれば、あなたは、生活習慣病予防健診を利用したいと思いますか。(○は1つだけ)

図表 2-1-19 無料の前立腺がん検診の受診希望



無料の前立腺がん検診の受診希望について、「利用したいと思う」が81.3%、「利用したいとは思わない」が16.2%となっている。【事業内容】別にみると、漁船は、「利用したいとは思わない」24.2%が比較的高くなっている。(図表 2-1-19)

Ⅱ 健康証明書の写しの提供について（問 19～問 23）

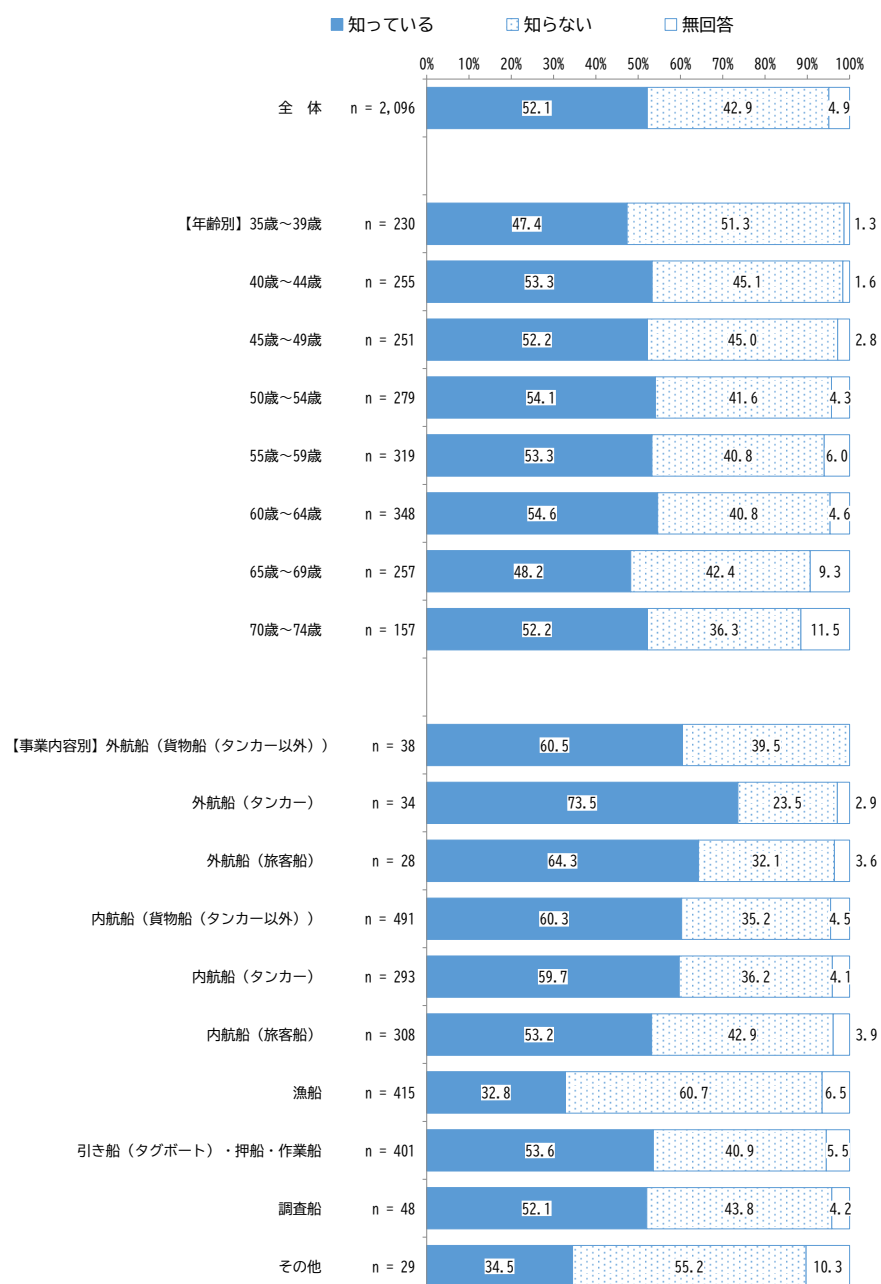
1. 生活習慣病予防健診時に、「健康証明」が受けられることの周知度

◆周知度は、52.1%

（35歳以上の方、全員がお答えください。）

問 19. 生活習慣病予防健診を受ける際に、船員手帳をお持ちいただければ、「健康証明」が受けられる医療機関があることをご存じですか。（○は1つだけ）

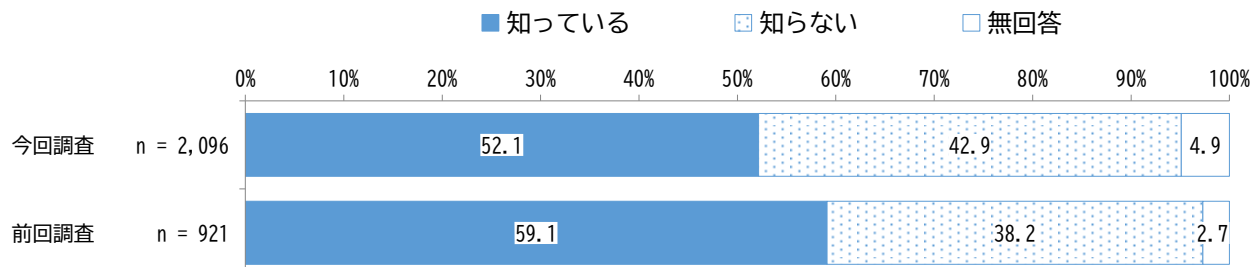
図表 2-2-1 生活習慣病予防健診時に、「健康証明」が受けられることの周知度



生活習慣病予防健診時に、「健康証明」が受けられることの周知度について、「知っている」が52.1%、「知らない」が42.9%、となっている。【事業内容】別にみると、漁船は、「知らない」が60.7%と比較的高くなっている。（図表2-2-1）

前回調査との比較（2020年調査）

図表2-2-2 前回調査比較 生活習慣病予防健診時に、「健康証明」が受けられることの周知度



生活習慣病予防健診時に、「健康証明」が受けられることの周知度について、「知っている」は、前回調査の59.1%から今回調査の52.1%と、7ポイント減少している。（図表2-2-2）

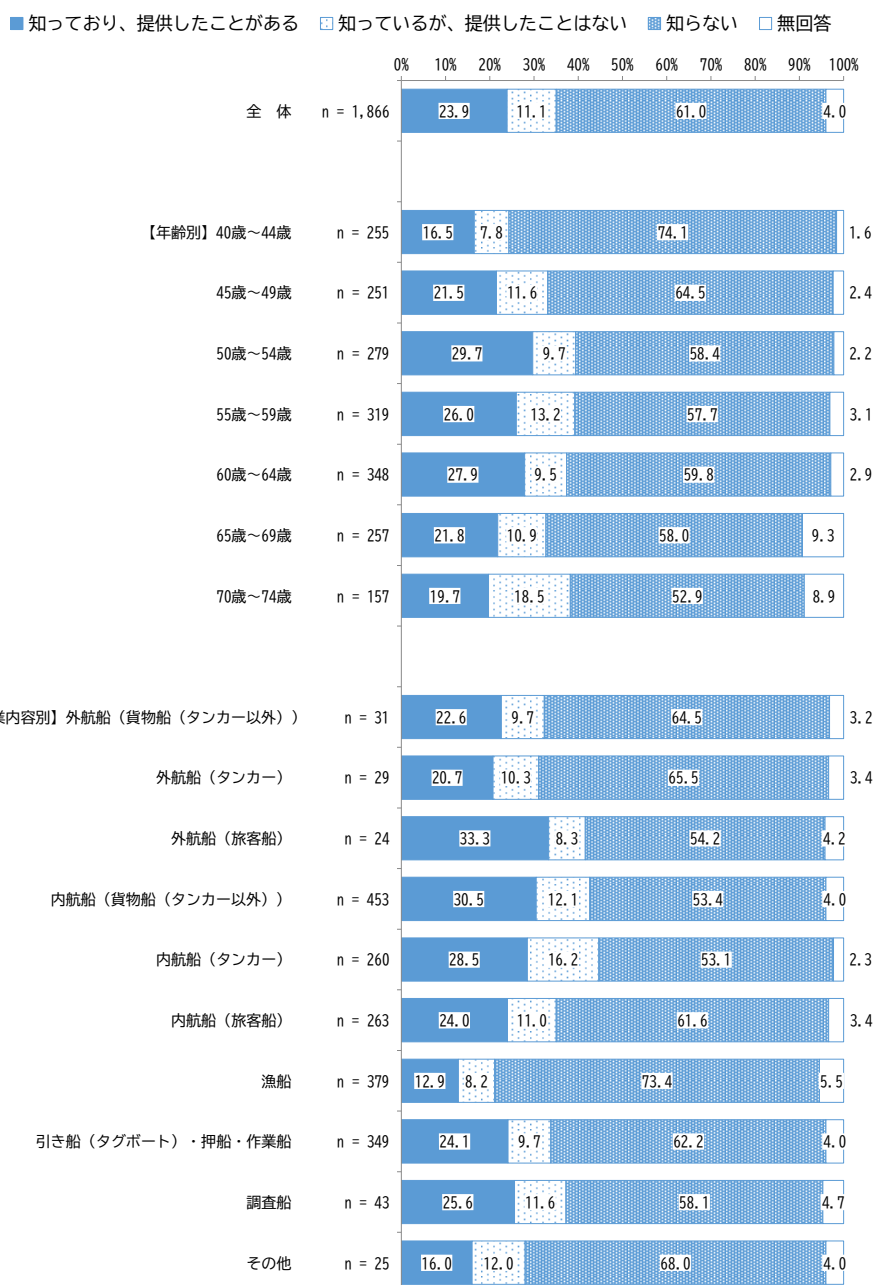
2. 「健康証明書」欄の提供依頼の周知度

◆「知らない」が61.0%

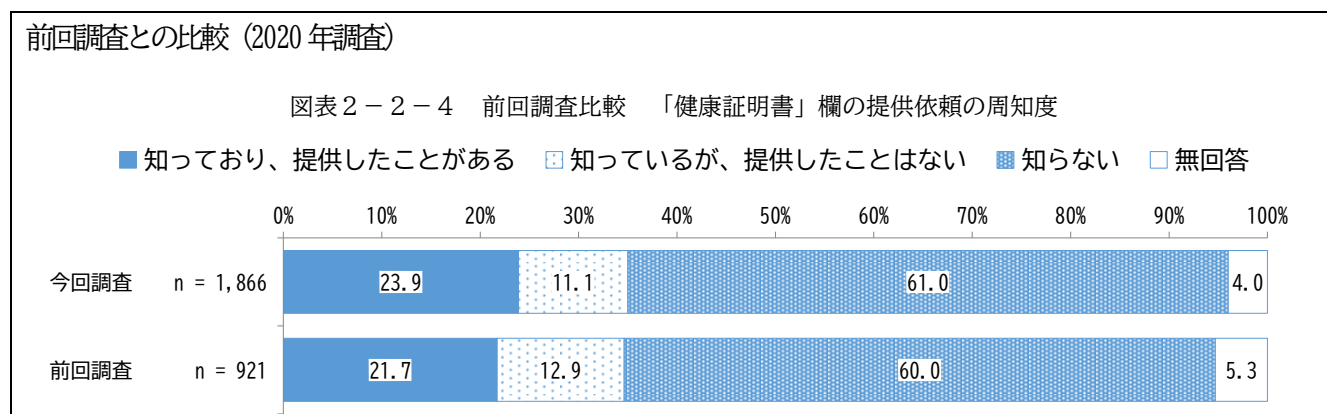
(40歳以上の方、全員がお答えください)

問 20. 船員保険では、生活習慣病予防健診を受けていない方について、船員手帳の「健康証明書」欄の写しのご提供をお願いしていることをご存じですか。(○は1つだけ)

図表 2-2-3 「健康証明書」欄の提供依頼の周知度



「健康証明書」欄の提供依頼の周知度について、「知らない」61.0%が最も高く、以下「知っており、提供したことがある」23.9%、「知っているが、提供したことはない」11.1%となっている。【年齢】別にみると、50歳～54歳は、「知っており、提供したことがある」が29.7%と比較的高くなっている。（図表2-2-3）



「健康証明書」欄の提供依頼の周知度について、「知らない」が、前回調査の21.7%から今回調査の23.9%と、2.2ポイント増加しているものの、大きな差はみられない。（図表2-2-4）

3. 「健康証明書」欄の提供が難しい理由

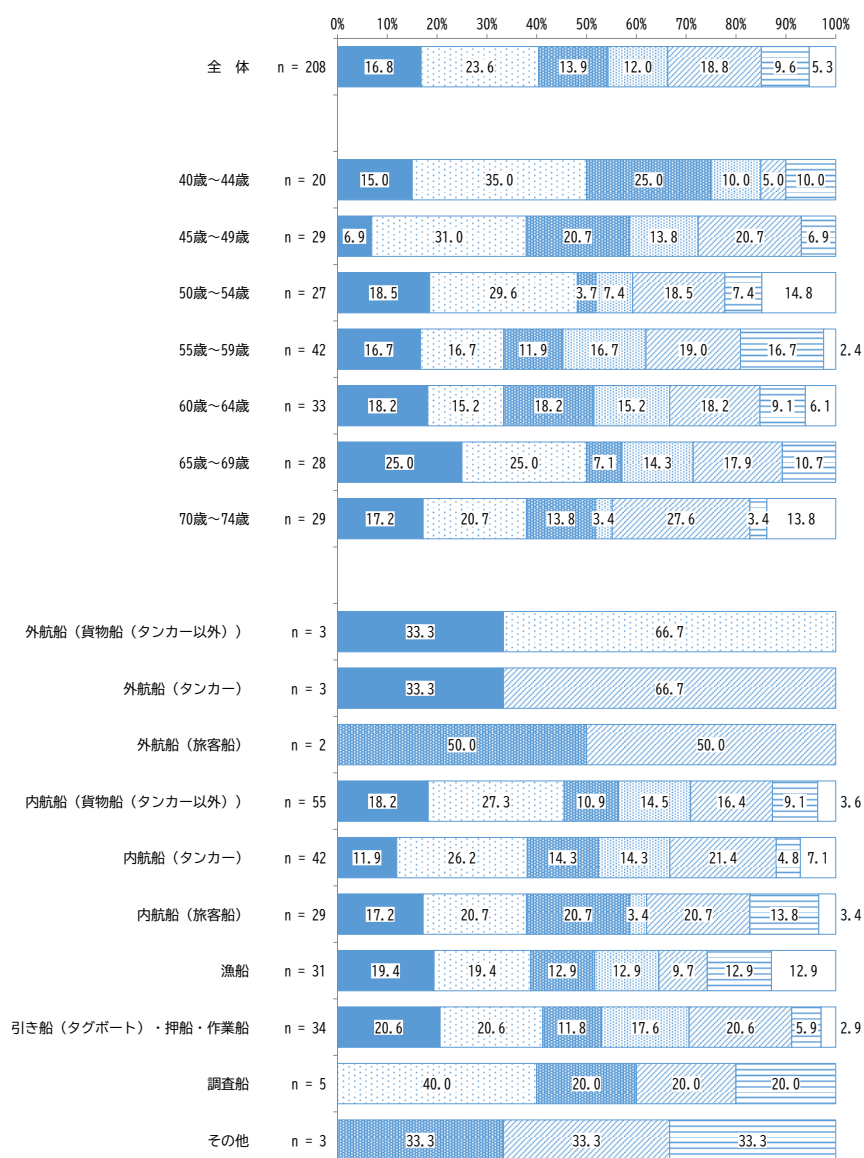
◆「面倒だから」が23.6%で最も高い

(問20. で「知っているが、提供したことはない」とお答えの方へ)

問 21. 船員手帳の「健康証明書」欄の写しをご提供いただけなかった最も大きな理由は何ですか。
(○は1つだけ)

図表 2-2-5 「健康証明書」欄の提供が難しい理由

- 提供方法がわからないから
- 提供することにメリットを感じないから
- 提供依頼・案内がないから
- 無回答
- 面倒だから
- 個人情報を提供することに不安があるから
- その他

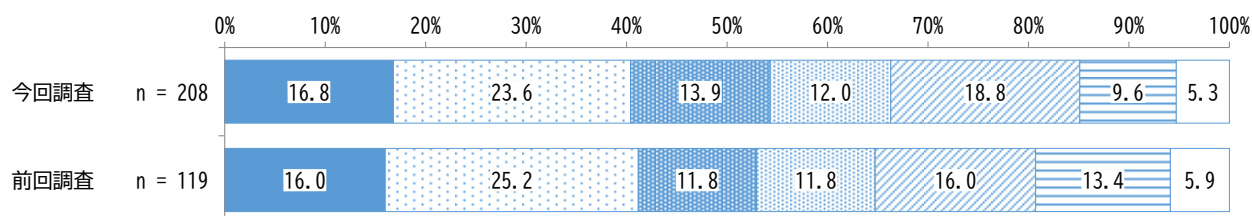


「健康証明書」欄の提供が難しい理由について、「面倒だから」23.6%が最も高く、以下「提供依頼・案内がないから」18.8%、「提供方法がわからないから」16.8%、「提供することにメリットを感じないから」13.9%、「個人情報を提供することに不安があるから」12.0%となっている。（図表 2-2-5）

前回調査との比較（2020 年調査）

図表 2－2－6 前回調査比較 「健康証明書」欄の提供が難しい理由

- 提供方法がわからないから
- 面倒だから
- 提供することにメリットを感じないから
- 個人情報を提供することに不安があるから
- 提供依頼・案内がないから
- その他
- 無回答



「健康証明書」欄の提供が難しい理由について、「面倒だから」が前回調査では 25.2%、今回調査では 23.6%と 1.6 ポイント減少しているものの、提供が難しい理由としては最も高くなっている。（図表 2－2－6）

4. 「健康証明書」欄の提供により受けられる支援・サービスの周知度

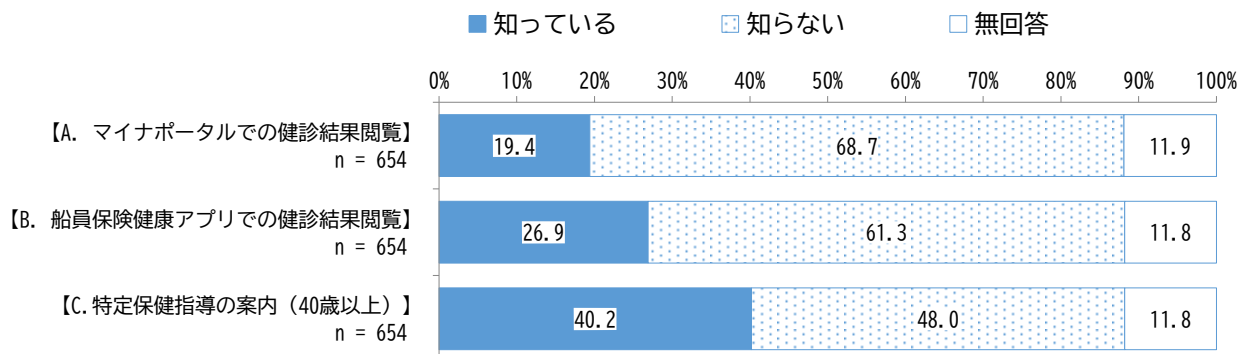
◆【A. マイナポータルでの健診結果閲覧】を「知らない」が68.7%と他項目よりも比較的高い

(問20. で「1. 知っており、提供したことがある」または、問21. をお答えの方へ)

問 22. 船員保険では、船員手帳の「健康証明書」欄の写しをご提供いただくと、加入者である船員ご本人が次のA～Cの支援・サービスを受けられることをご存じですか。

(○はそれぞれ1つつつ)

図表 2-2-7 「健康証明書」欄の提供により受けられる支援・サービスの周知度

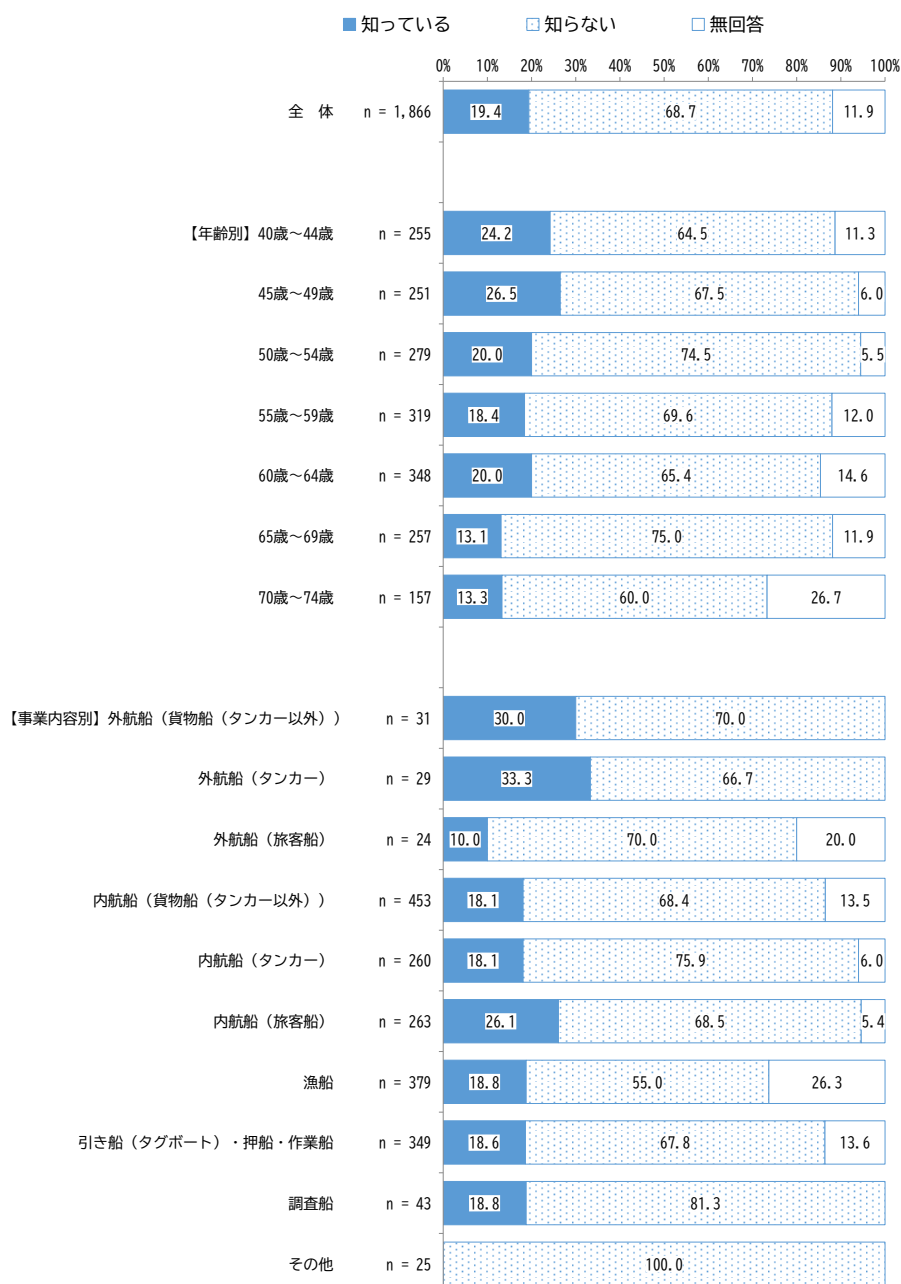


「健康証明書」欄の提供により受けられる支援・サービスの周知度について、【A. マイナポータルでの健診結果閲覧】を「知らない」が68.7%と他項目よりも比較的高くなっている。(図表 2-2-7)

【A. マイナポータルでの健診結果閲覧】

図表 2-2-8 「健康証明書」欄の提供により受けられる支援・サービスの周知度

【A. マイナポータルでの健診結果閲覧】

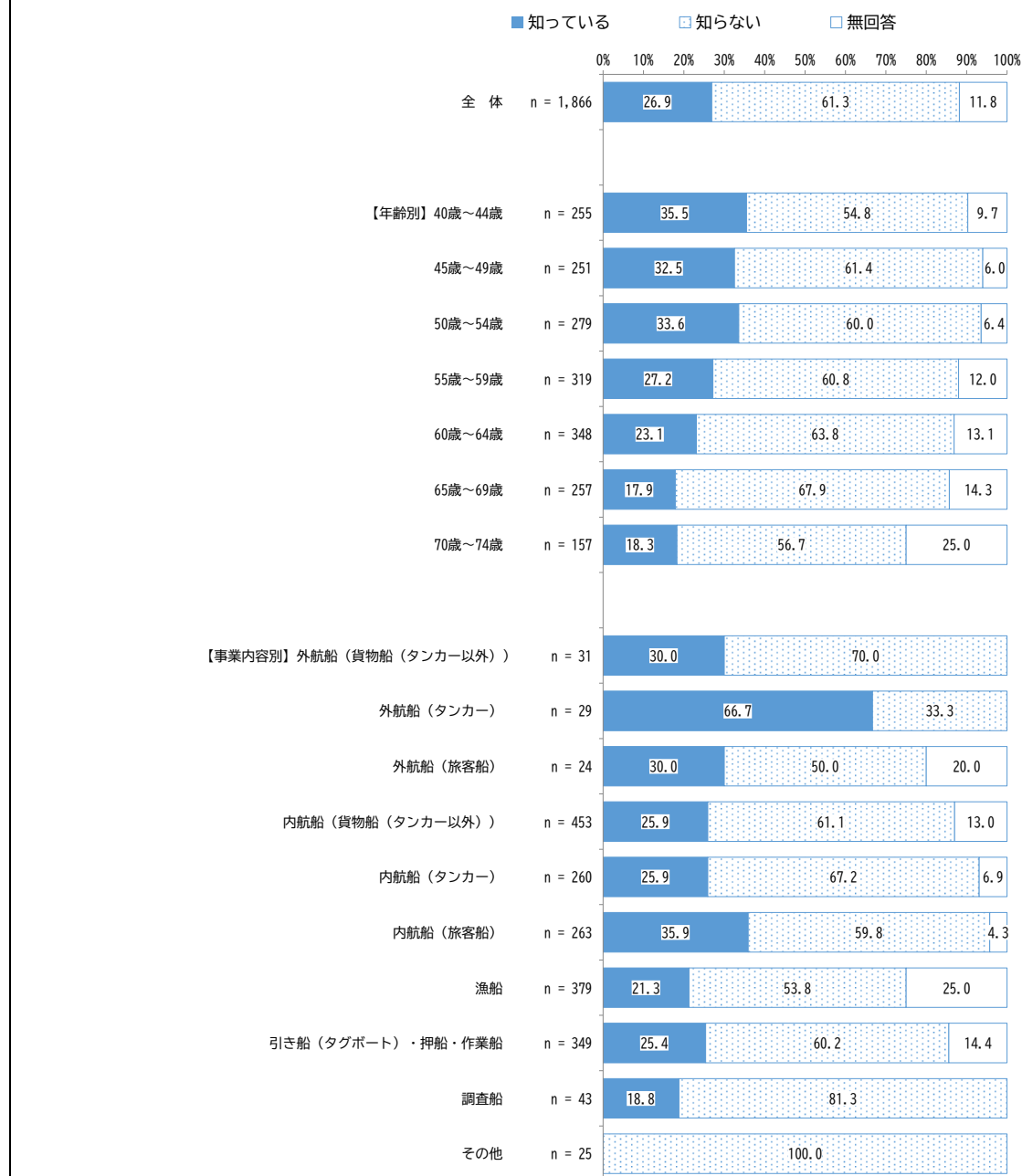


「健康証明書」欄の提供により受けられる支援・サービスの周知度について【A. マイナポータルでの健診結果閲覧】では、「知らない」が68.7%、「知っている」が19.4%となっている。（図表2-2-8）

【B. 船員保険健康アプリでの健診結果閲覧】

図表 2-2-9 「健康証明書」欄の提供により受けられる支援・サービスの周知度

【B. 船員保険健康アプリでの健診結果閲覧】



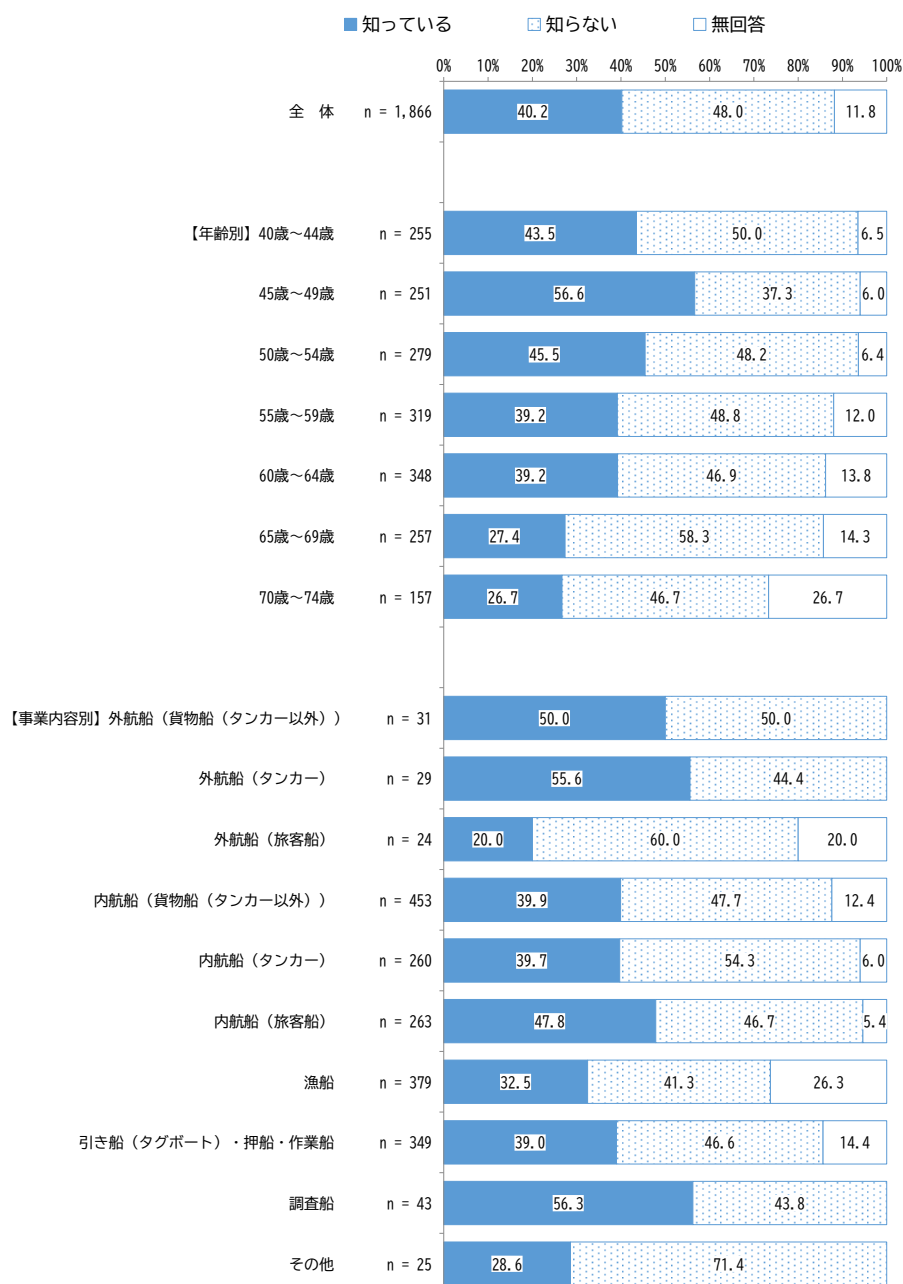
「健康証明書」欄の提供により受けられる支援・サービスの周知度について【B. 船員保険健康アプリでの健診結果閲覧】では、「知らない」が61.3%、「知っている」が26.9%、となっている。

【年齢】別にみると、40歳～44歳は、「知っている」が35.5%と比較的高くなっている。（図表2-2-9）

【C. 特定保健指導の案内（40 歳以上）】

図表 2-2-10 「健康証明書」欄の提供により受けられる支援・サービスの周知度

【C. 特定保健指導の案内（40 歳以上）】



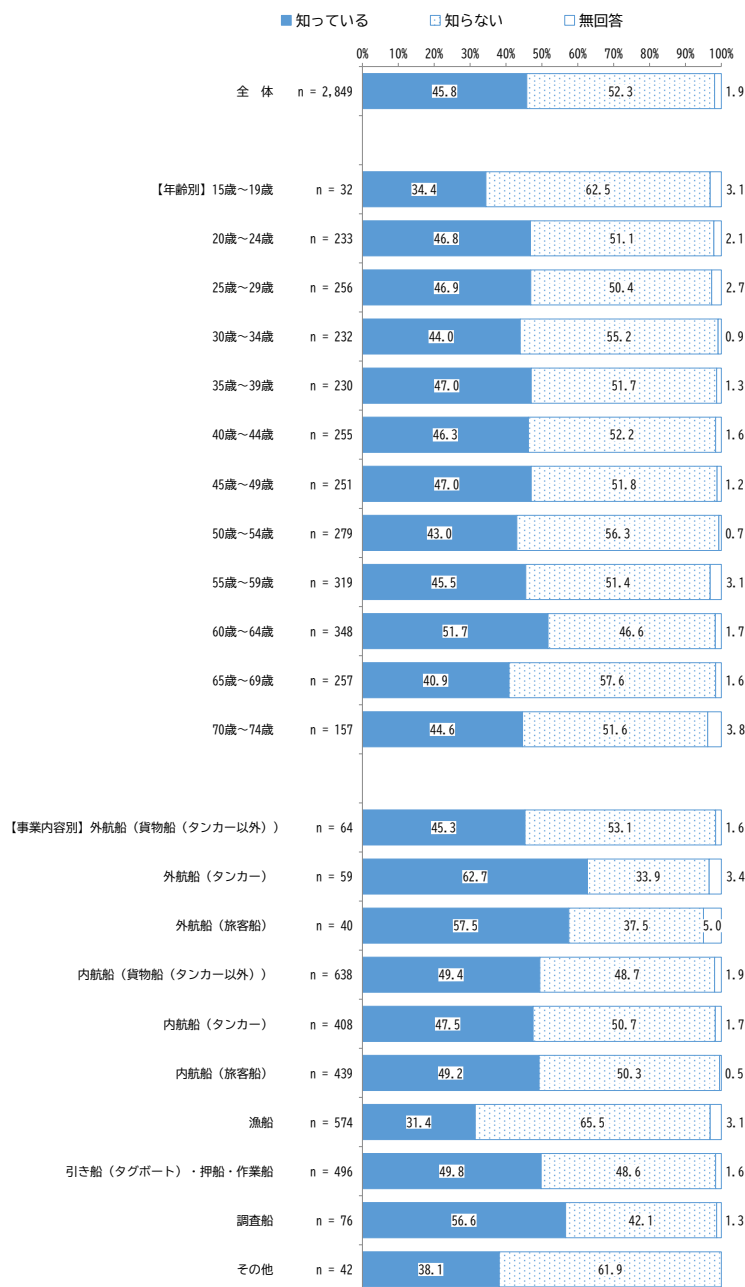
「健康証明書」欄の提供により受けられる支援・サービスの周知度について【C. 特定保健指導の案内（40 歳以上）】では、「知らない」が48.0%、「知っている」が40.2%となっている。（図表 2-2-10）

5. 「健康証明書」の提出が必要であることの周知度

◆周知度は、45.8%

問 23. 令和5年4月より、船舶所有者に船員の健康検査結果の管理義務ができ、船員のみなさまは、船舶所有者に対して健康検査結果の提出が必要となったことをご存じですか。(○は1つだけ)

図表2-2-11 「健康証明書」の提出が必要であることの周知度



健康証明書の提出が必要であることの周知度について、「知っている」が45.8%、「知らない」が52.3%、となっている。【事業内容】別にみると、漁船は、「知らない」が65.5%と比較的高くなっている。(図表2-2-11)

Ⅲ 特定保健指導について（問 24～問 30）

1. 「特定保健指導」の無料提供の周知度

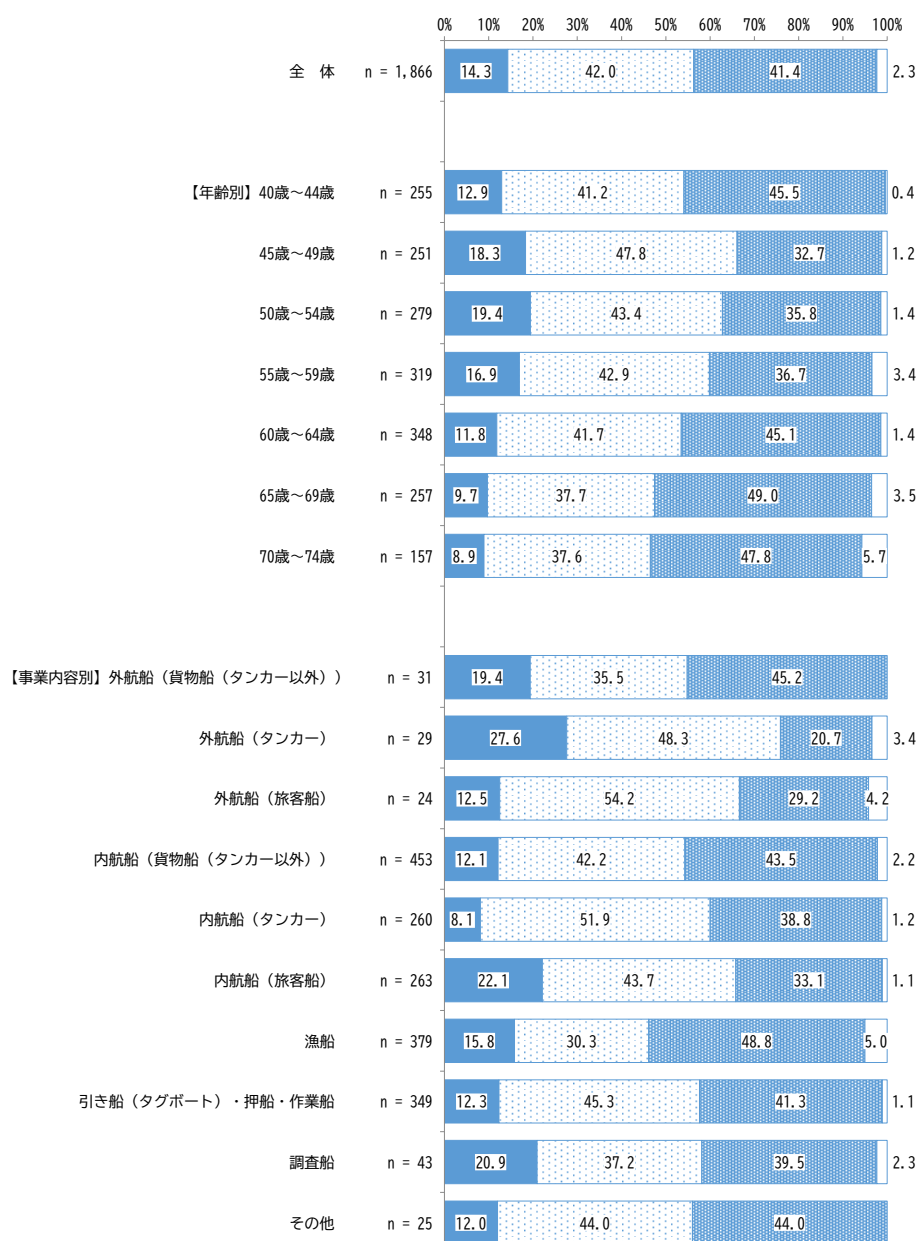
◆「知っているが、利用したことはない」が42.0%

（40歳以上の方、全員がお答えください）

問 24. 船員保険では、健診結果から生活習慣の見直しが必要な方に対し、専門家が生活習慣の改善方法等の相談にのり、助言等を行う「特定保健指導」というサービスを無料で提供していることをご存じですか。（○は1つだけ）

図表 2-3-1 「特定保健指導」の無料提供の周知度

■ 知っており、利用したことがある □ 知っているが、利用したことはない ■ 知らない □ 無回答



「特定保健指導」の無料提供の周知度について、「知っているが、利用したことはない」42.0%が最も高く、以下0.6ポイント差で「知らない」41.4%、「知っており、利用したことがある」14.3%、となっている。【年齢】別にみると、50歳～54歳は、「知っており、利用したことがある」が19.4%と比較的高くなっている。【事業内容】別にみると、内航船（旅客船）は、「知っており、利用したことがある」が22.1%と比較的高くなっている。（図表2－3－1）

前回調査（2020年）について

選択肢内容が異なっており、比較はできないが、参考として、前回の結果は、「知っている」が48.1%、「知らない」が50.3%となっていた。

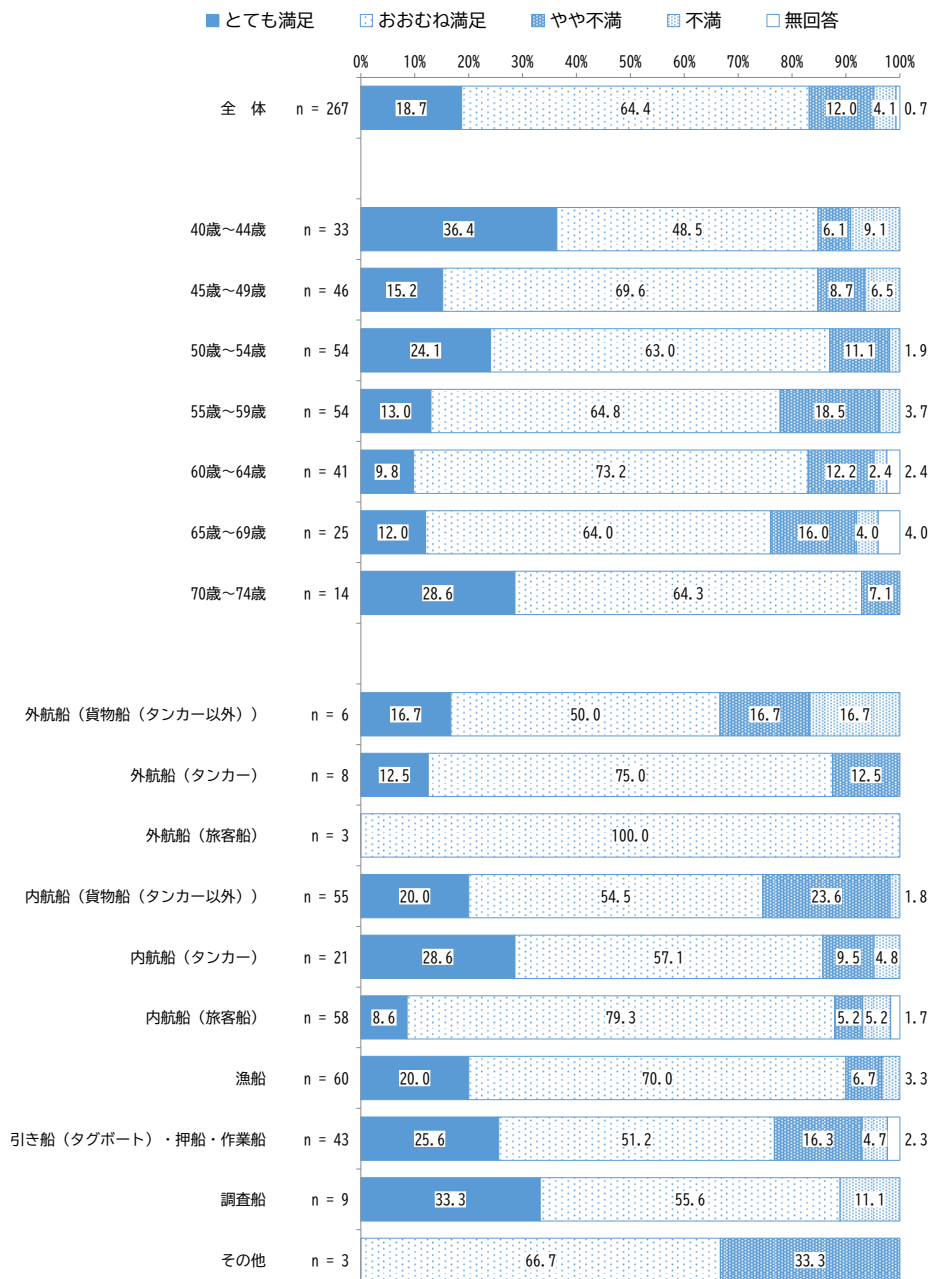
2. 「特定保健指導」の満足度

◆「満足」は、83.1%

(問24. で「1. 知っており、利用したことがある」とお答えの方へ)

問 25. 「特定保健指導」のサービスに満足されていますか。(○は1つだけ)

図表 2-3-2 「特定保健指導」の満足度



「特定保健指導」の満足度について、「満足」（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、83.1%と高くなっている。（図表 2-3-2）

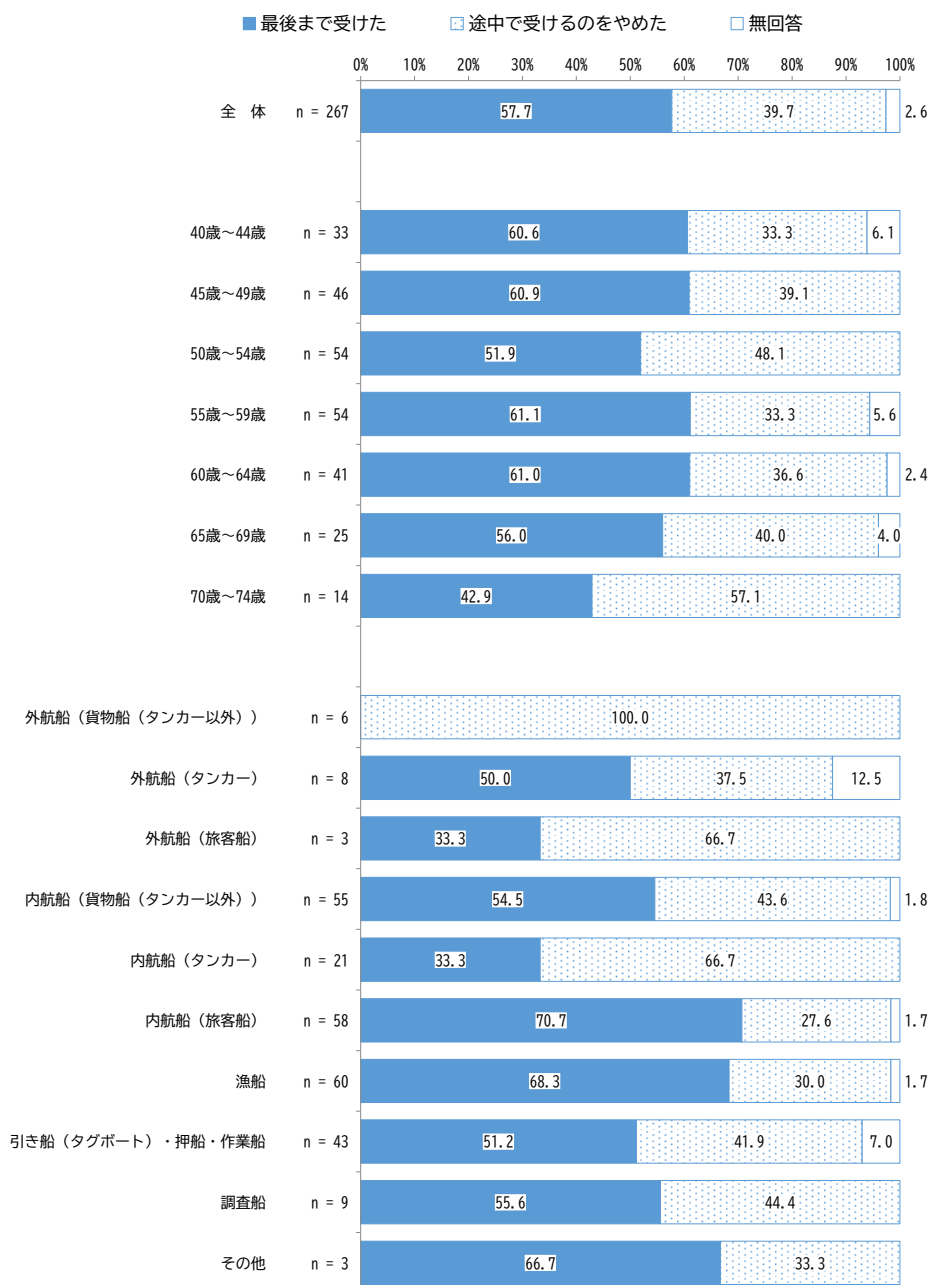
3. 「特定保健指導」の継続状況

◆「最後まで受けた」が57.7%

(問25. をお答えの方へ)

問 26. 「特定保健指導」は、初回面談の後、3 か月間続けていただくことになっていますが、最後まで受けられましたか。(○は1つだけ)

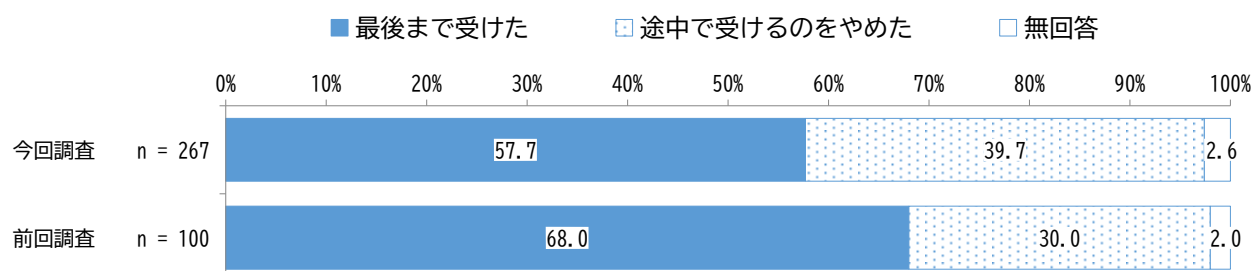
図表 2-3-3 「特定保健指導」の継続状況



「特定保健指導」の継続状況について、「最後まで受けた」57.7%が最も高く、以下「途中で受けるのをやめた」39.7%となっている。(図表 2-3-3)

前回調査との比較（2020 年調査）

図表 2－3－4 前回調査比較 「特定保健指導」の継続状況



「特定保健指導」の継続状況について、「最後まで受けた」は、前回調査の 68.0%から今回調査の 57.7%と、10.3 ポイント減少している。（図表 2－3－4）

4. 「特定保健指導」を途中でやめた理由

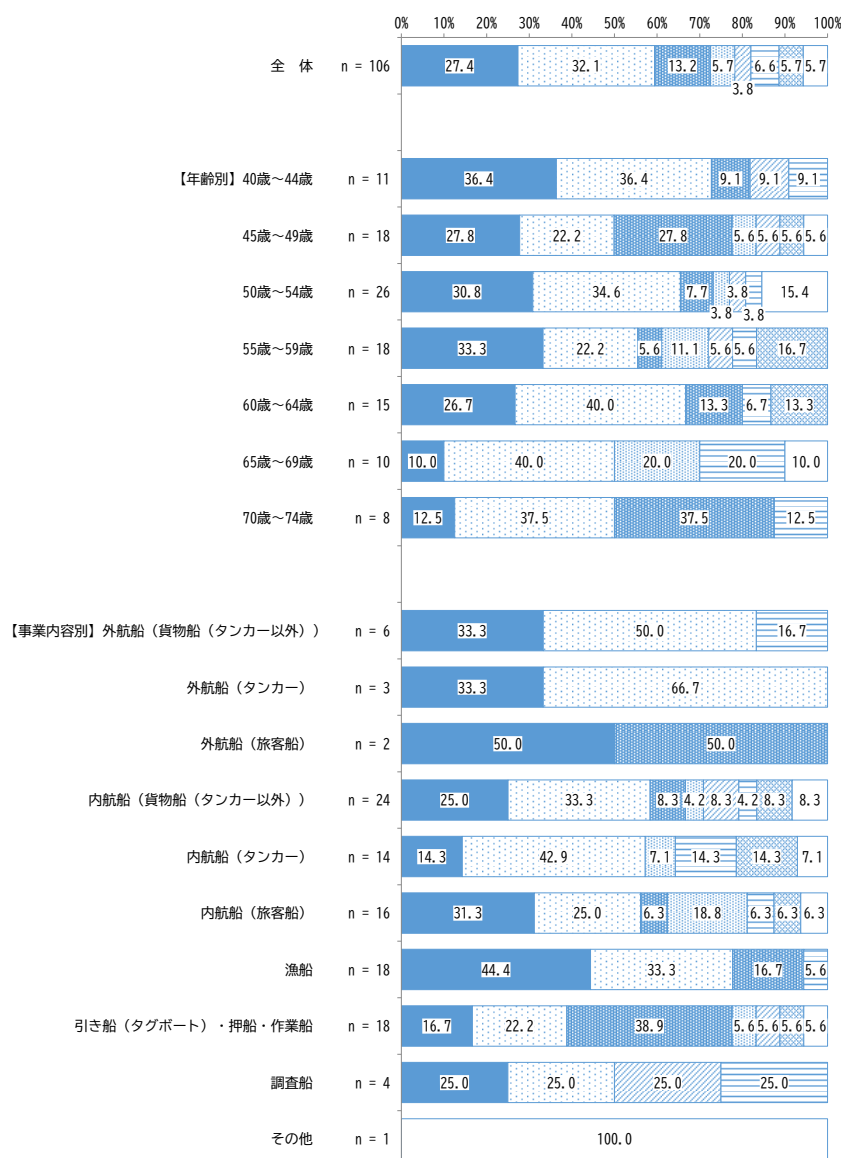
◆「乗船中で連絡が取れなかったから」が32.1%で最も高い

(問26. で「2. 途中で受けるのをやめた」とお答えの方へ)

問27. 途中で受けるのをやめた最も大きな理由は何ですか。(○は1つだけ)

図表2-3-5 「特定保健指導」を途中でやめた理由

- 仕事が忙しいから
- 面倒になったから
- 実施期間が長いから
- その他
- 乗船中で連絡が取れなかったから
- あまり役に立たないと思ったから
- 医療機関にかかるようになったから
- 無回答



「特定保健指導」を途中でやめた理由について、「乗船中で連絡が取れなかったから」32.1%が最も高く、以下「仕事が忙しいから」27.4%、「面倒になったから」13.2%、「医療機関にかかるようになったから」6.6%、「あまり役に立たないと思ったから」5.7%となっている。（図表2-3-5）

前回調査（2020 年）について

選択肢内容が異なっており、比較はできないが、参考として、前回の結果は、「仕事が忙しかったから」が 23.3%と最も高く、以下「あまり役に立たないと思ったから」（20.0%）、

「医療機関にかかるようになったから」（20.0%）、「乗船中で連絡が取れなかったから」（13.3%）、「面倒になったから」（13.3%）、となっていた。

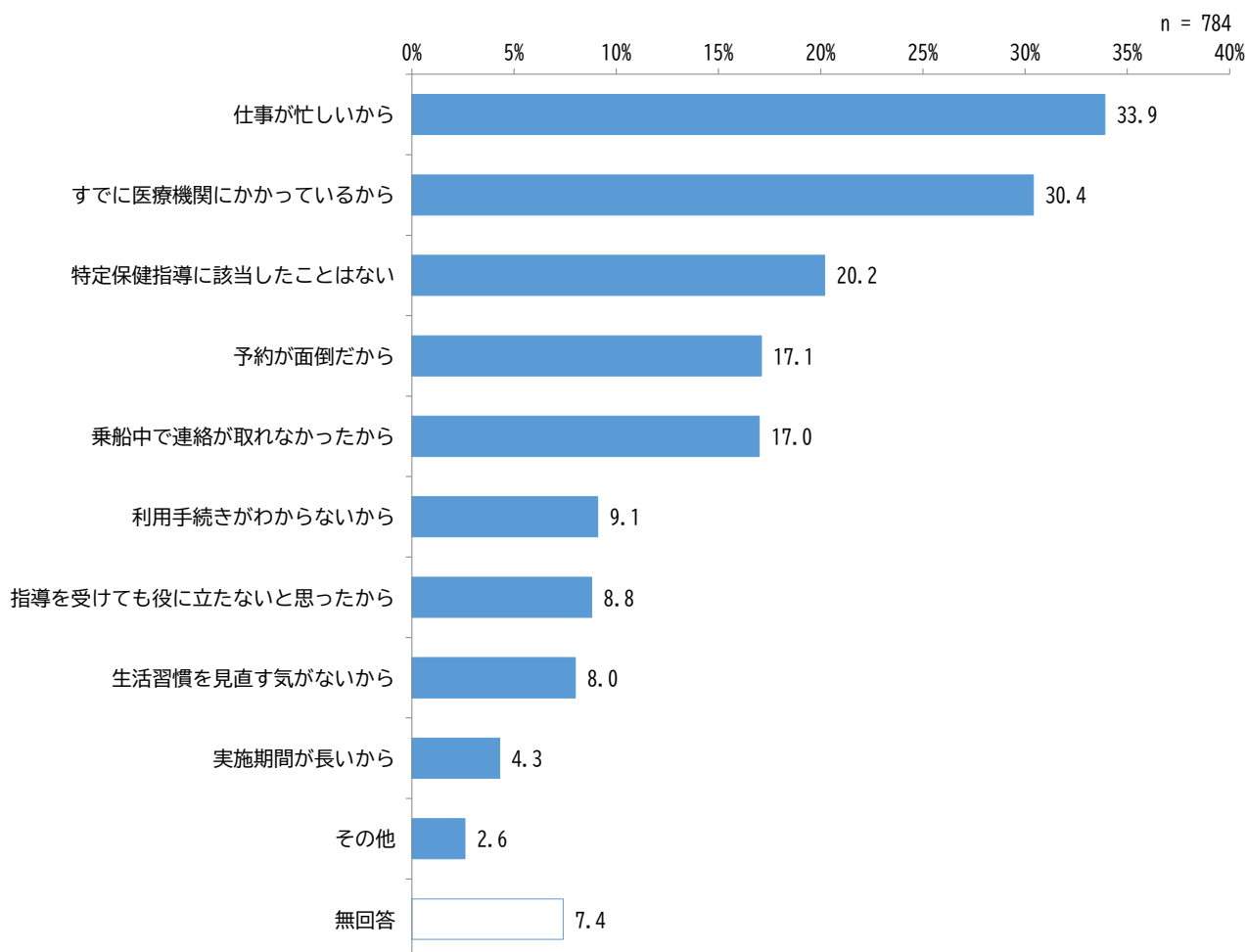
5. 「特定保健指導」を利用しない理由

◆「仕事が忙しいから」が33.9%で最も高い

(問24. で「2. 知っているが、利用したことはない」とお答えの方へ)

問 28. 特定保健指導を利用されなかった主な理由は何ですか。(○は3つまで)

図表 2-3-6 「特定保健指導」を利用しない理由



「特定保健指導」を利用しない理由について、「仕事が忙しいから」33.9%が最も高く、以下「すでに医療機関にかかっているから」30.4%、「特定保健指導に該当したことはない」20.2%、「予約が面倒だから」17.1%、「乗船中で連絡が取れなかったから」17.0%となっている。(図表 2-3-6)

前回調査(2020年)について

選択肢内容が異なり、比較はできないが、参考として、前回の結果は、「仕事が忙しいから」が50.8%と最も高く、以下「すでに医療機関にかかっているから」(26.8%)、「実施機関が近くにないから」(26.8%)、となっていた。

図表 2-3-7 年齢別・事業内容別 「特定保健指導」を利用しない理由

		調査数	ない特定保健指導に該当したことは	仕事忙しいから	乗船中で連絡が取れなかった	生活習慣を見直す気がないから	指導を受けても役に立たないと思ったから	予約が面倒だから	すでに医療機関にかかっている	実施期間が長いから	利用手続きがわからないから	その他	無回答
全 体		784	20.2	33.9	17.0	8.0	8.8	17.1	30.4	4.3	9.1	2.6	7.4
年 齢 別	40歳～44歳	105	30.5	36.2	14.3	8.6	14.3	18.1	10.5	4.8	6.7	1.9	5.7
	45歳～49歳	120	26.7	44.2	11.7	13.3	9.2	20.8	13.3	2.5	13.3	2.5	1.7
	50歳～54歳	121	21.5	30.6	13.2	7.4	11.6	16.5	30.6	2.5	8.3	4.1	7.4
	55歳～59歳	137	19.0	35.8	19.7	8.8	5.1	19.0	32.8	5.1	9.5	1.5	7.3
	60歳～64歳	145	11.7	34.5	22.8	4.8	6.9	15.9	40.0	4.1	4.1	2.8	7.6
	65歳～69歳	97	18.6	33.0	17.5	5.2	7.2	15.5	53.6	5.2	14.4	-	6.2
	70歳～74歳	59	11.9	11.9	18.6	8.5	8.5	10.2	32.2	8.5	8.5	6.8	23.7
事 業 内 容 別	外航船(貨物船(タンカー以外))	11	9.1	36.4	27.3	9.1	36.4	-	9.1	-	-	-	27.3
	外航船(タンカー)	14	28.6	14.3	21.4	21.4	28.6	7.1	21.4	7.1	7.1	-	-
	外航船(旅客船)	13	30.8	23.1	7.7	15.4	-	15.4	15.4	15.4	23.1	7.7	-
	内航船(貨物船(タンカー以外))	191	17.8	42.4	25.7	10.5	8.4	23.6	27.2	5.2	11.0	2.6	5.2
	内航船(タンカー)	135	14.8	34.1	20.7	5.2	5.2	20.7	35.6	5.9	11.9	1.5	7.4
	内航船(旅客船)	115	35.7	20.9	6.1	7.8	10.4	14.8	27.0	3.5	7.0	2.6	5.2
	漁船	115	18.3	35.7	20.9	5.2	5.2	12.2	31.3	2.6	7.8	1.7	13.0
	引き船(タグボート)・押船・作業船	158	15.2	37.3	6.3	7.0	10.1	15.2	36.1	3.8	6.3	4.4	7.0
	調査船	16	31.3	25.0	37.5	6.3	-	12.5	12.5	-	12.5	-	6.3
	その他	11	27.3	18.2	9.1	18.2	36.4	9.1	45.5	-	9.1	-	9.1

「特定保健指導」を利用しない理由について、【年齢】別にみると、40歳～44歳は、「特定保健指導に該当したことはない」が30.5%、「指導を受けても役に立たないと思ったから」が14.3%と比較的高くなっている。45歳～49歳は、「仕事忙しいから」が44.2%、「生活習慣を見直す気がないから」が13.3%と比較的高くなっている。65歳～69歳は、「すでに医療機関にかかっているから」が53.6%、「利用手続きがわからないから」が14.4%と比較的高くなっている。【事業内容】別にみると、内航船（貨物船（タンカー以外））は、「乗船中で連絡が取れなかったから」が25.7%と比較的高くなっている。内航船（旅客船）は、「特定保健指導に該当したことはない」が35.7%と比較的高くなっている。（図表 2-3-7）

6. 「特定保健指導」の利用方法の周知度

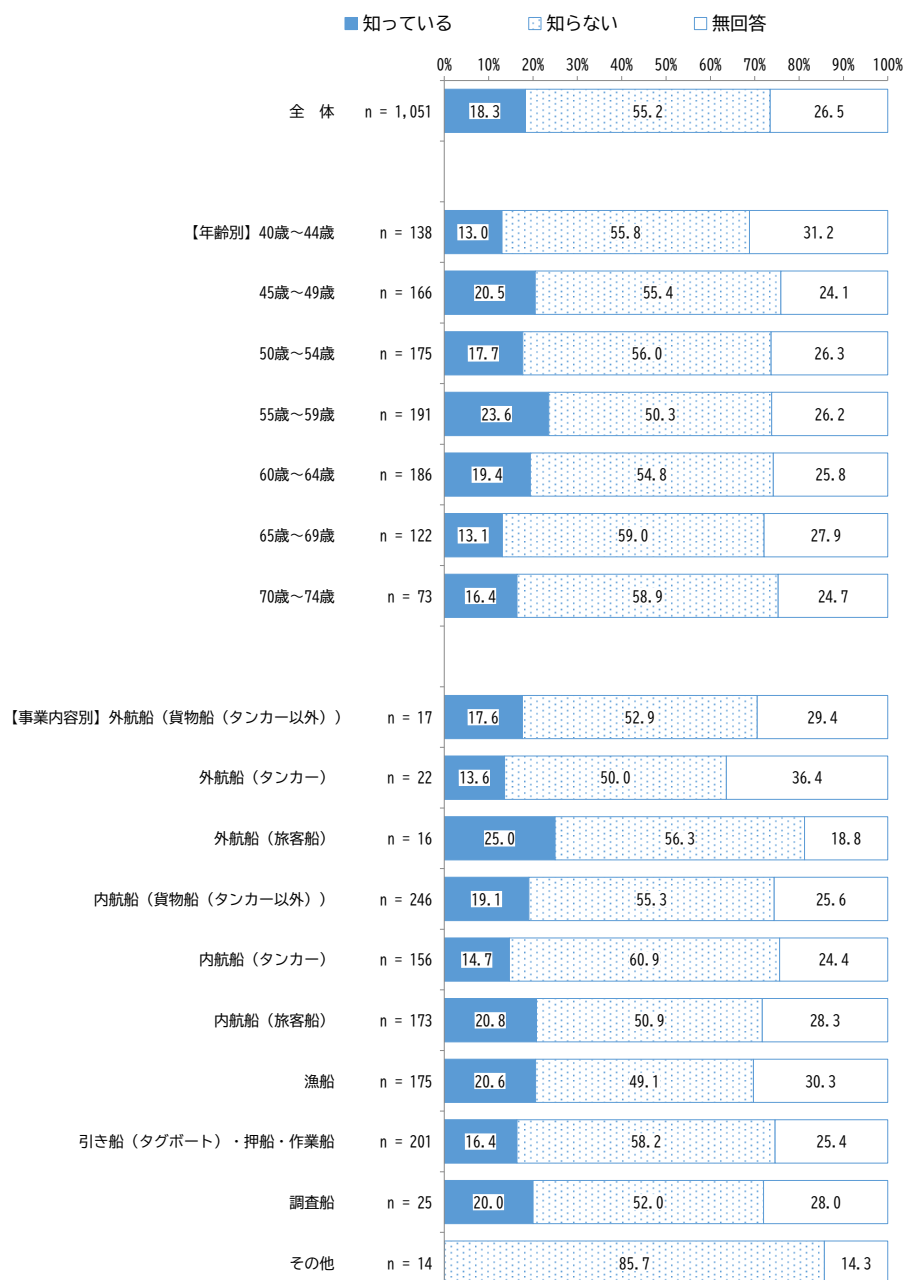
◆「知らない」が55.2%

(問26. で「1. 最後まで受けた」または、問27. ～問28. のいずれかをお答えの方へ)

問 29. 特定保健指導の利用方法についておたずねします。

健診を実施し、特定保健指導の対象となった場合、健診を受けた機関で当日初回面談を利用することができ、健診結果が出た後に残りの面談等を利用（分割実施）できることをご存じですか。（○は1つだけ）

図表 2－3－8 「特定保健指導」の利用方法の周知度



「特定保健指導」の利用方法の周知度について、「知っている」が18.3%、「知らない」が55.2%となっている。（図表 2－3－8）

図表 2－3－9 職種別 「特定保健指導」の利用方法の周知度

		調査数	知っている	知らない	無回答
全 体		1051	18.3	55.2	26.5
職 種 別	船長	311	19.3	54.0	26.7
	航海士	161	22.4	55.9	21.7
	甲板長	43	27.9	46.5	25.6
	甲板部員	111	18.9	56.8	24.3
	機関長	205	12.2	62.4	25.4
	機関士	84	15.5	52.4	32.1
	機関部員	16	18.8	56.3	25.0
	司厨長	34	20.6	50.0	29.4
	司厨部員	18	16.7	61.1	22.2
	事務部門	12	8.3	41.7	50.0
	漁労長	16	37.5	37.5	25.0
	パーサー	15	13.3	33.3	53.3
	その他	21	9.5	61.9	28.6

「特定保健指導」の利用方法の周知度について、【職種】別にみても、全体と大きな差はないが、機関長は、「知らない」が62.4%と比較的高くなっている。(図表 2－3－9)

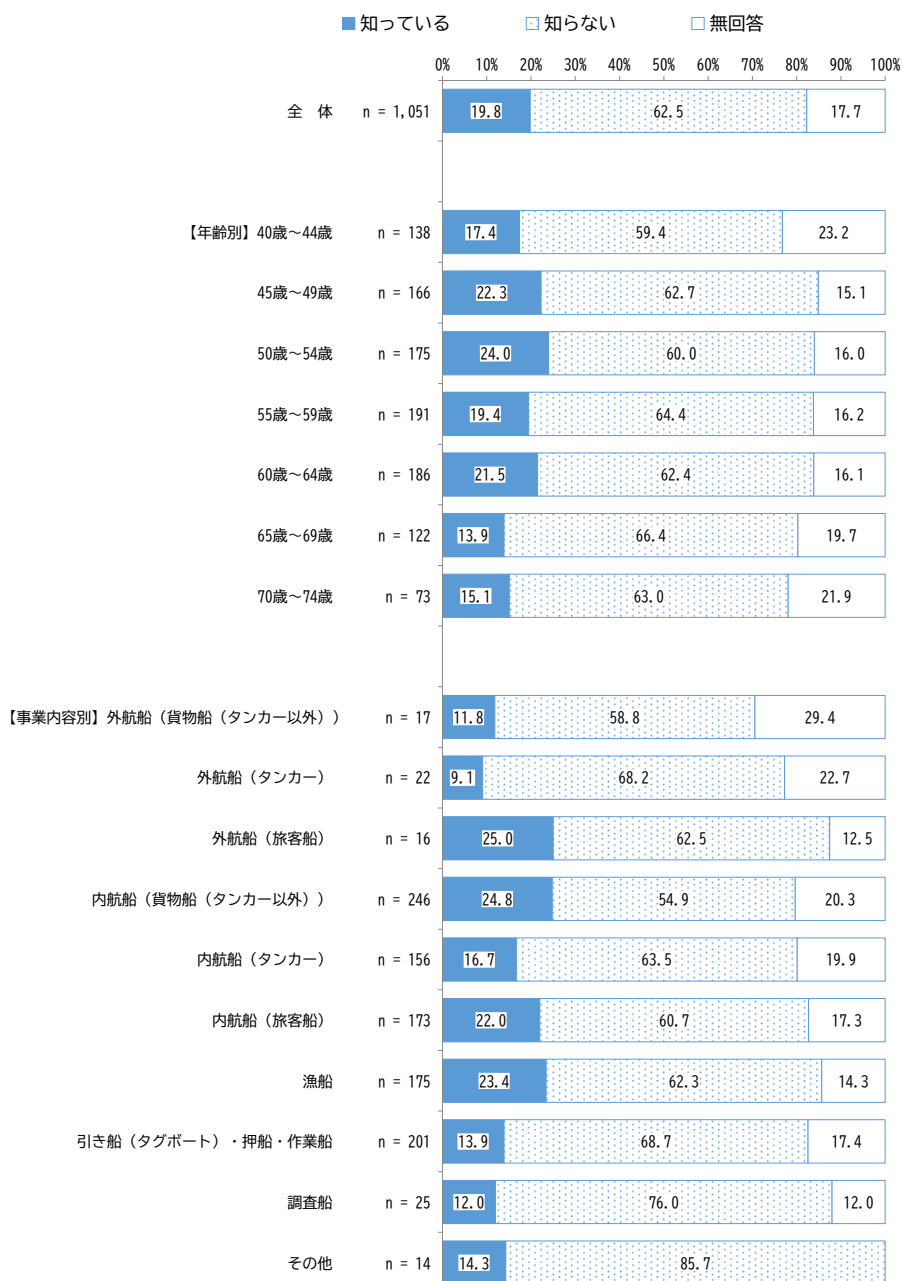
7. 「特定保健指導」のオンライン面談の周知度

◆「知らない」が62.5%

(問29. をお答えの方へ)

問 30. 特定保健指導は対面での面談だけでなくオンラインでも面談できることをご存じですか。
(○は1つだけ)

図表2-3-10 「特定保健指導」のオンライン面談の周知度



「特定保健指導」のオンライン面談の周知度について、「知っている」は19.8%、「知らない」が62.5%となっている。(図表2-3-10)

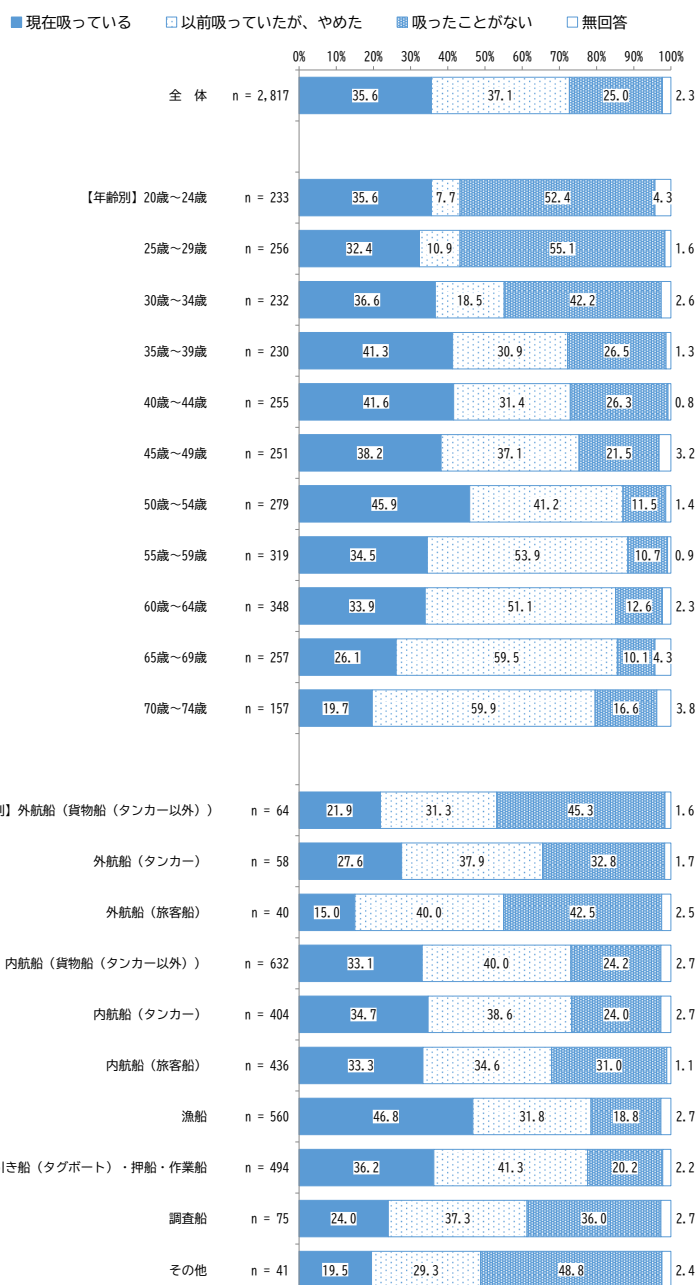
Ⅳ 禁煙について（問 31～問 37）

1. 喫煙状況

◆「以前吸っていたが、やめた」が37.1%

問 31. 喫煙についておたずねします。あなたは、次のどれに当てはまりますか。（○は1つだけ）

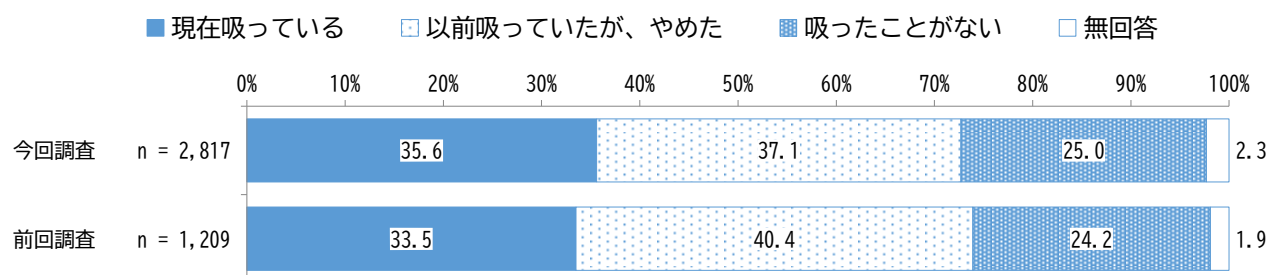
図表 2-4-1 喫煙状況



喫煙状況について、「以前吸っていたが、やめた」37.1%が最も高く、以下「現在吸っている」35.6%、「吸ったことがない」25.0%となっている。（図表 2-4-1）

前回調査との比較（2020 年調査）

図表 2－4－2 前回調査比較 喫煙状況



喫煙状況について、「以前吸っていたが、やめた」は、前回調査の 40.4%から今回調査の 37.1%と 3.3 ポイント減少しているが、それぞれの調査に占める割合は、最も高くなっている。（図表 2－4－2）

他調査との比較（2022 年 国民生活基礎調査）

図表 2－4－3 2022 年 国民生活基礎調査 喫煙状況

		総数	毎日吸っている	時々吸う日がある	以前は吸っていたが 1 か月以上吸っていない	吸わない	不詳
全体		94168	15.0	1.1	6.0	76.5	1.4
年齢別	20～24歳	3994	9.2	2.7	1.5	85.2	1.5
	25～29歳	3965	13.7	1.9	2.8	80.6	1.0
	30～34歳	4676	16.3	1.6	4.3	77.0	0.9
	35～39歳	5642	19.2	1.5	6.3	72.4	0.7
	40～44歳	6584	21.5	1.3	7.2	69.2	1.0
	45～49歳	8205	21.9	1.4	7.3	68.4	1.0
	50～54歳	8257	21.7	1.0	7.5	68.8	0.9
	55～59歳	7583	19.9	1.1	6.9	71.1	0.9
	60～64歳	7769	18.1	1.1	7.4	72.5	1.0
	65～69歳	8543	15.2	1.0	6.6	75.6	1.5
	70～74歳	10566	11.3	0.8	6.2	79.9	1.8
	75～79歳	7517	7.2	0.8	5.8	84.0	2.2
	80～84歳	5722	4.5	0.6	4.8	87.2	3.0
	85歳以上	5142	2.3	0.4	3.8	90.8	2.8
性別	男	44804	23.7	1.6	9.6	63.6	1.4
	女	49364	7.0	0.7	2.7	88.2	1.4

厚生労働省の 2022 年実施の国民生活基礎調査¹より、喫煙状況の結果を抜粋した。「あなたはたばこを吸いますか。」という問いに対して回答したものである。「吸わない」が 76.5%となっている。（図表 2－4－3）

¹ 厚生労働省 2022（令和 4）年 国民生活基礎調査
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/index.html>

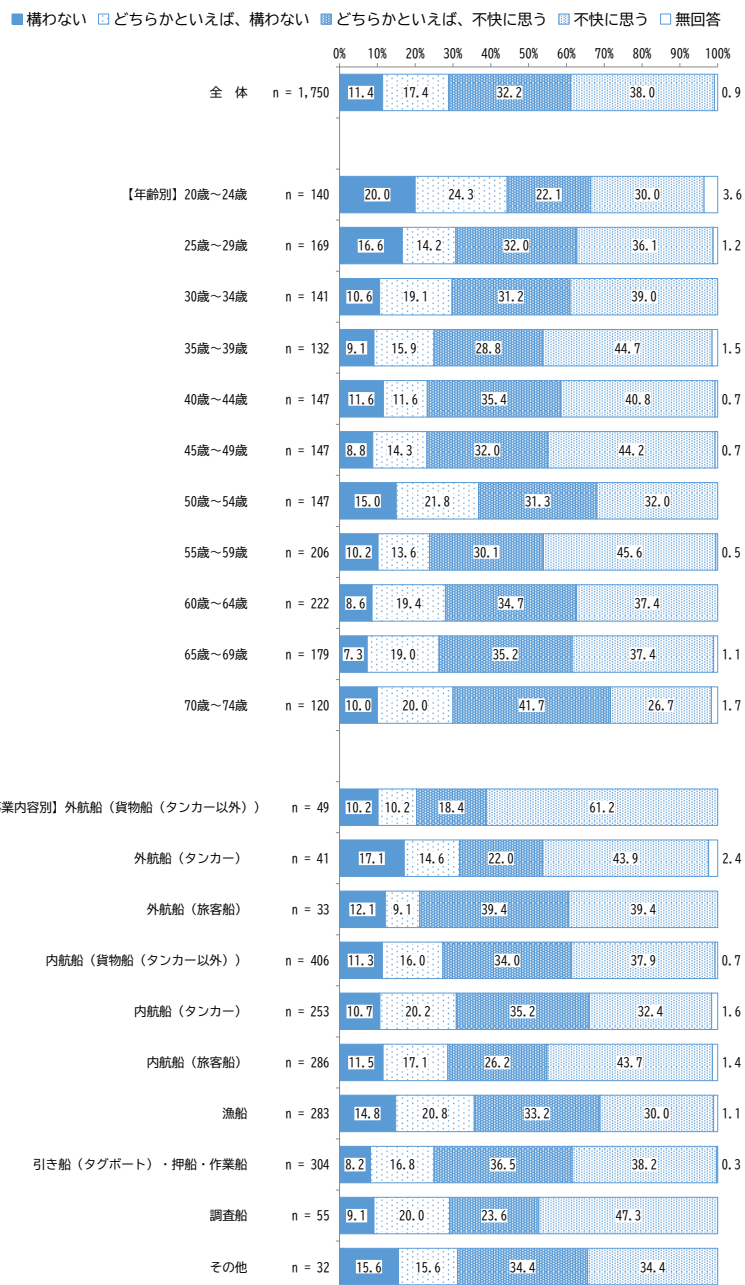
2. 同部屋での喫煙者に対する心境

◆「不快に思う」が38.0%で最も高い

(問31. で「2. 以前吸っていたが、やめた」または「3. 吸ったことがない」とお答えの方へ)

問 32. 船内の同部屋で喫煙している人がいる場合、どのように感じますか。(○は1つだけ)

図表 2-4-4 同部屋での喫煙者に対する心境



同部屋での喫煙者に対する心境について、「不快に思う」38.0%が最も高く、以下「どちらかといえば、不快に思う」32.2%、「どちらかといえば、構わない」17.4%、「構わない」11.4%となっている。(図表 2-4-4)

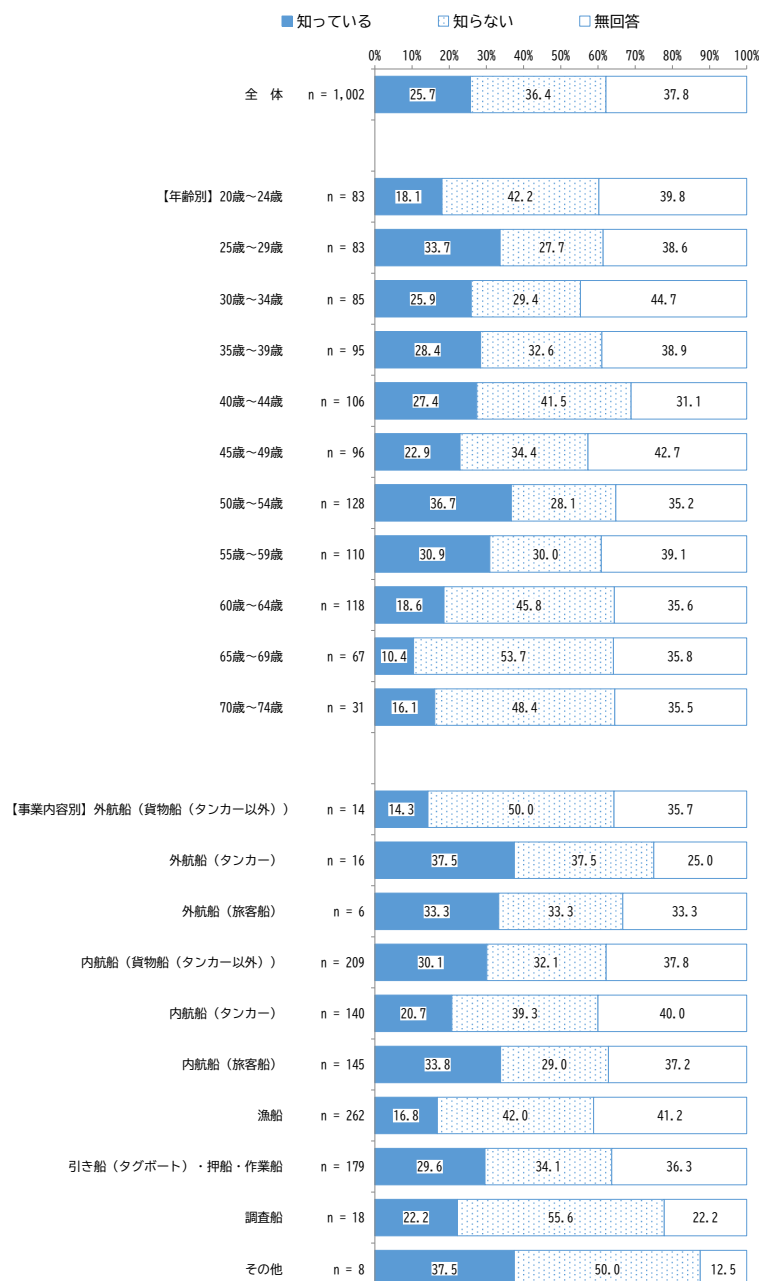
3. オンライン禁煙プログラムの周知度

◆周知度は、25.7%

(問31. で「1. 現在吸っている」とお答えの方へ)

問 33. 船員保険では、スマートフォンアプリと禁煙補助剤を利用した6か月間のプログラムで禁煙を支援する、オンライン禁煙プログラムを無料で提供しています。こうした取り組みについてご存じですか。(○は1つだけ)

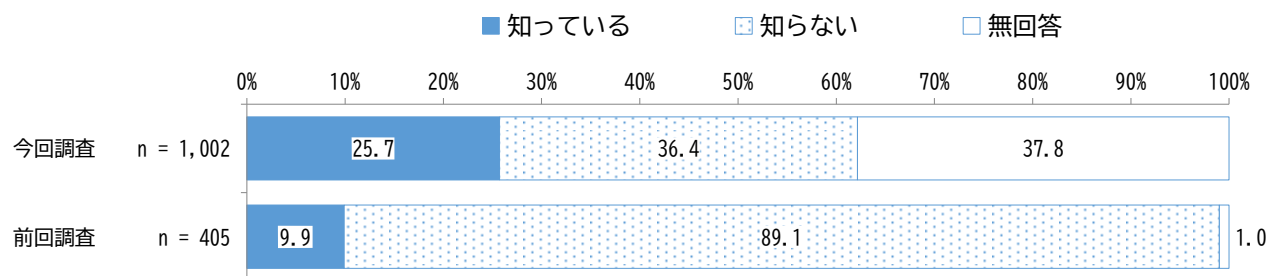
図表2-4-5 オンライン禁煙プログラムの周知度



オンライン禁煙プログラムの周知度について、「知らない」が36.4%、「知っている」が25.7%、となっている。(図表2-4-5)

前回調査との比較（2020 年調査）

図表 2－4－6 前回調査比較 オンライン禁煙プログラムの周知度



オンライン禁煙プログラムの周知度について、「知っている」が前回調査の 9.9%から今回調査の 25.7%と、15.8 ポイント増加している。（図表 2－4－6）

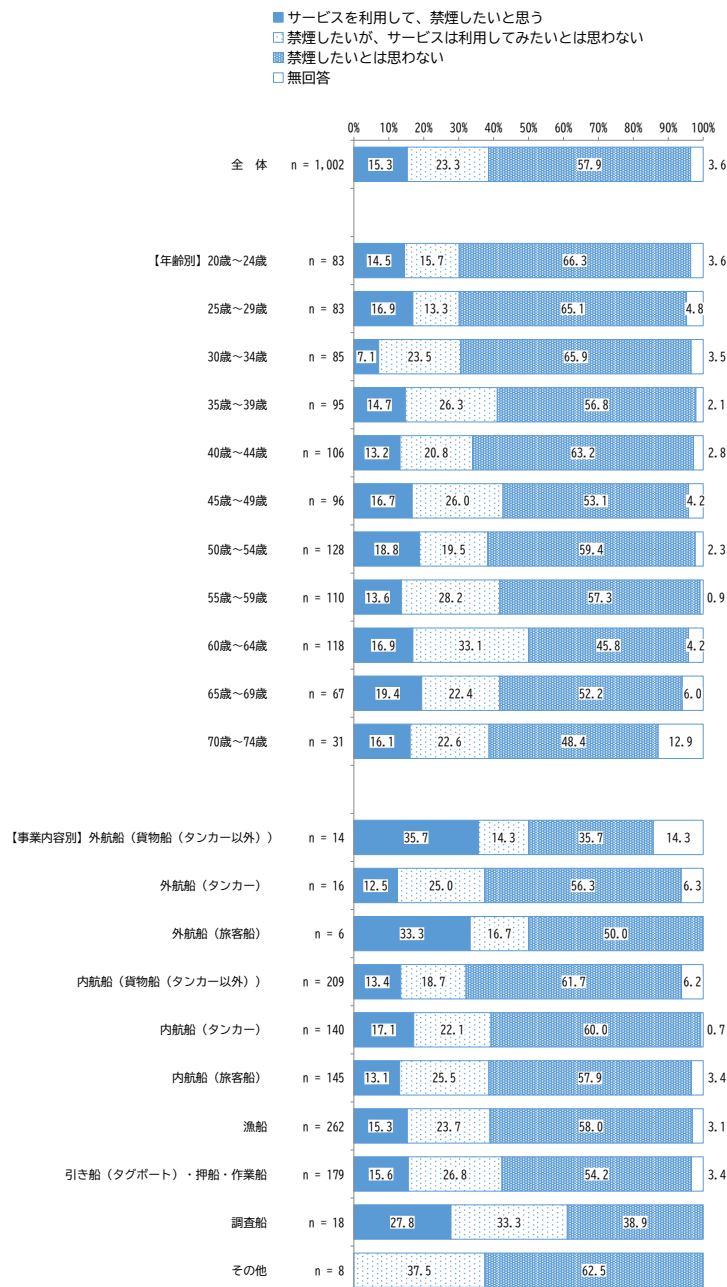
4. オンライン禁煙プログラムの利用意向

◆「禁煙したいとは思わない」が57.9%で最も高い

(問33. をお答えの方へ)

問 34. このサービスを利用して、禁煙したいと思いますか。(○は1つだけ)

図表2-4-7 オンライン禁煙プログラムの利用意向



オンライン禁煙プログラムの利用意向について、「禁煙したいとは思わない」57.9%が最も高く、以下「禁煙したいが、サービスは利用してみたいとは思わない」23.3%、「サービスを利用して、禁煙したいと思う」15.3%となっている。(図表2-4-7)

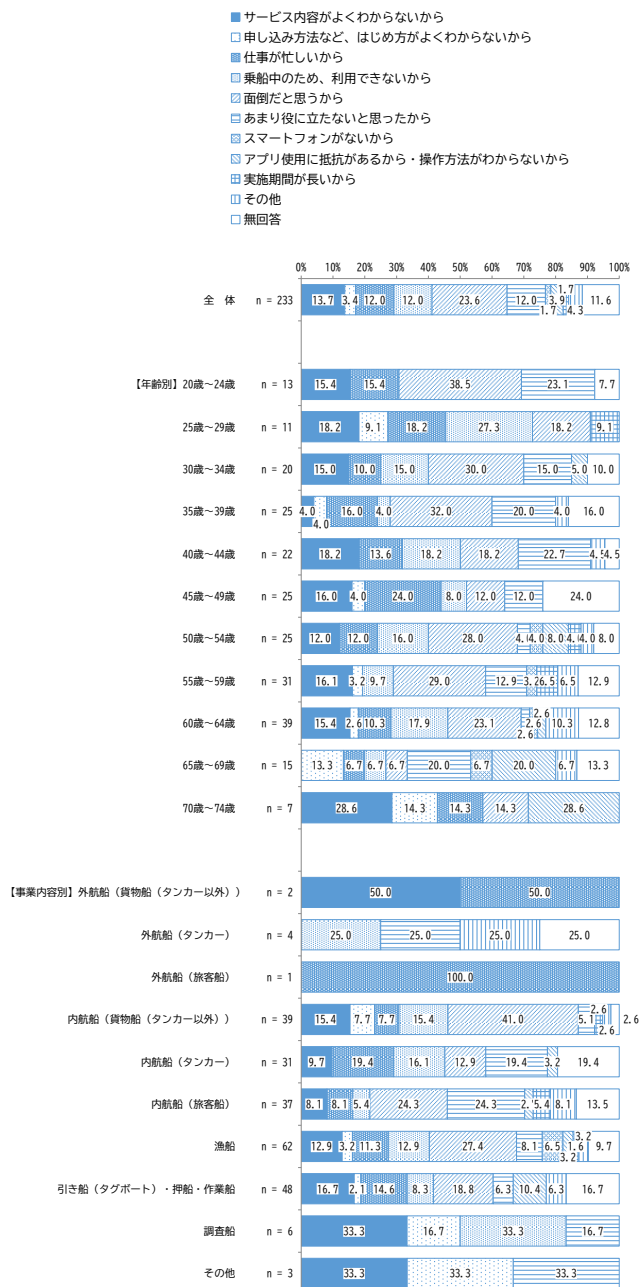
5. オンライン禁煙プログラムを利用したいと思わない理由

◆「面倒だと思うから」が23.6%で最も高い

(問34. で「2. 禁煙したいが、サービスは利用してみたいとは思わない」とお答えの方へ)

問 35. サービスを利用したいと思わない理由は何ですか。(○は1つだけ)

図表2-4-8 オンライン禁煙プログラムを利用したいと思わない理由



オンライン禁煙プログラムを利用したいと思わない理由について、「面倒だと思うから」23.6%が最も高く、以下「サービス内容がよくわからないから」13.7%、「仕事が忙しいから」12.0%、「乗船中のため、利用できないから」12.0%、「あまり役に立たないと思ったから」12.0%となっている。（図表2-4-8）

6. 禁煙外来の利用状況

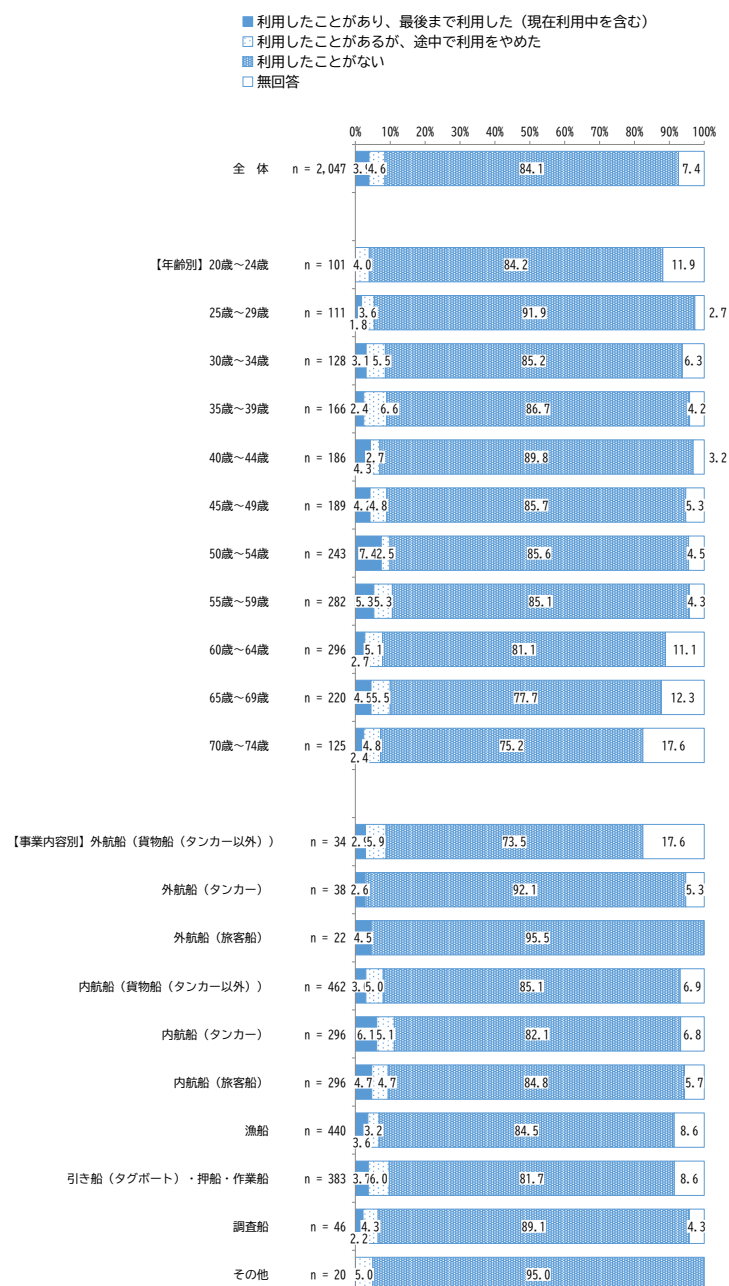
◆「利用したことがない」が84.1%で最も高い

(問31. で「1. 現在吸っている」または「2. 以前吸っていたが、やめた」をお答えの方へ)

問 36. あなたは、禁煙外来を利用したことがありますか。現在利用中も含みます。

(○は1つだけ)

図表 2-4-9 禁煙外来の利用状況

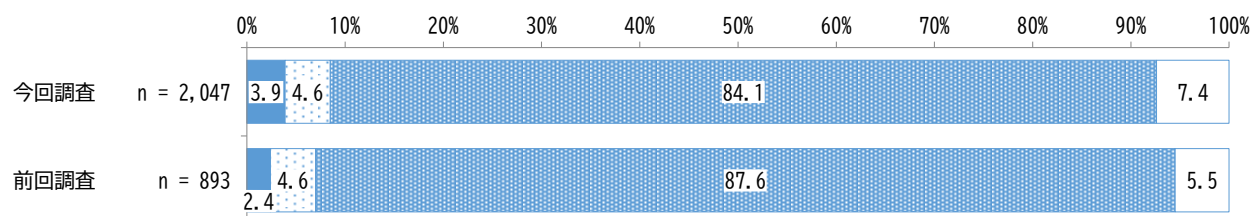


禁煙外来の利用状況について、「利用したことがない」84.1%が最も高く、以下「利用したことがあるが、途中で利用をやめた」4.6%、「利用したことがあり、最後まで利用した（現在利用中を含む）」3.9%となっている。（図表 2-4-9）

前回調査との比較（2020 年調査）

図表 2－4－10 前回調査比較 禁煙外来の利用状況

- 利用したことがあり、最後まで利用した（現在利用中を含む）
- ▨ 利用したことがあるが、途中で利用をやめた
- ▤ 利用したことがない
- 無回答



禁煙外来の利用状況について、「利用したことがない」が前回調査の 87.6%も今回調査の 84.1%と依然高い割合を占めている。（図表 2－4－10）

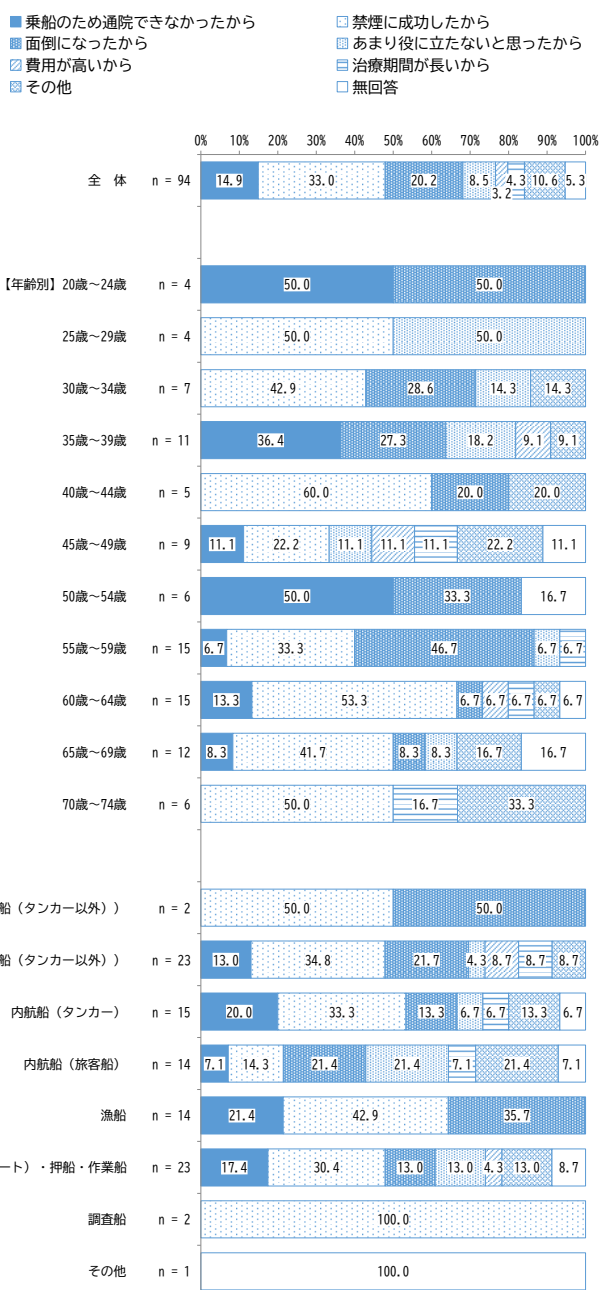
7. 禁煙外来を途中でやめた理由

◆「禁煙に成功したから」が33.0%で最も高い

(問36. で「2. 利用したことがあるが、途中で利用をやめた」をお答えの方へ)

問 37. 途中で利用をやめた最も大きな理由は何ですか。(○は1つだけ)

図表 2-4-11 禁煙外来を途中でやめた理由



禁煙外来を途中でやめた理由について、「禁煙に成功したから」33.0%が最も高く、以下「面倒になったから」20.2%、「乗船のため通院できなかったから」14.9%となっている。(図表 2-4-11)

.....前回調査（2020 年）について.....

選択肢内容が異なっており、比較はできないが、参考として、前回の結果は、「乗船のため通院できなかったから」が29.3%で最も高く、以下「その他」（26.8%）、「面倒になったから」（14.6%）、「あまり役に立たないと思ったから」（12.2%）、「費用が高いから」（12.2%）となっていた。

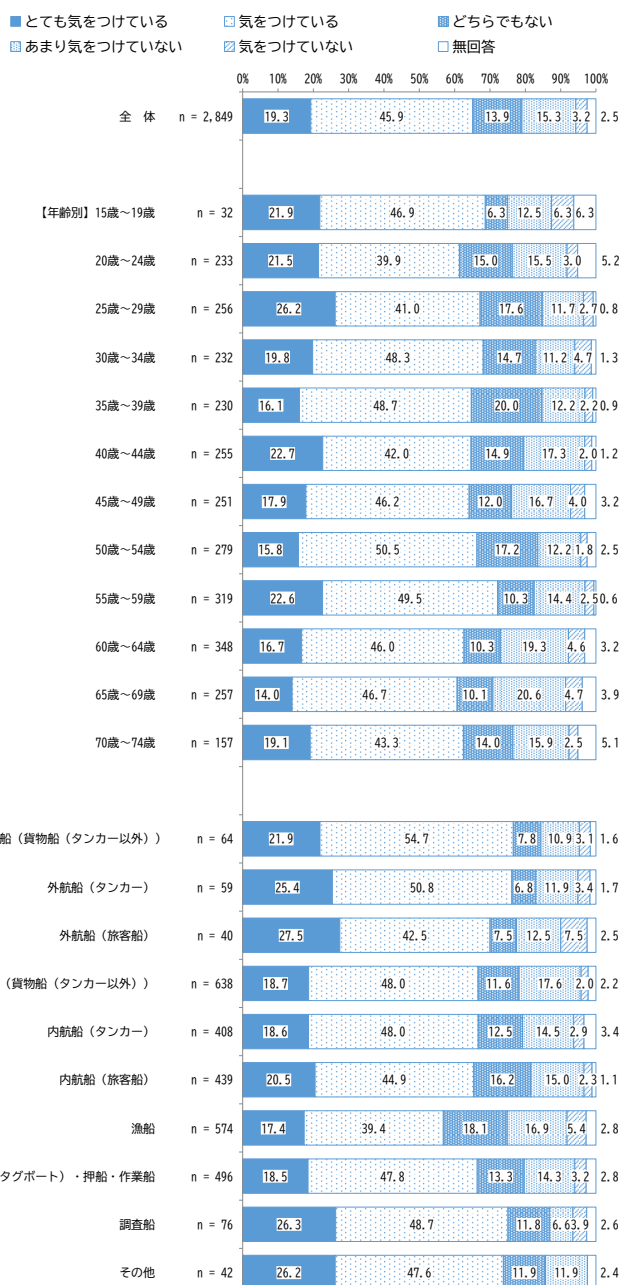
V 歯の健康について（問 38～問 40）

1. 歯の健康意識

◆「気をつけている」が 45.9%で最も高い

問 38. 歯の健康についてお伺いします。あなたは、普段から「歯」の健康状態に気をつけていますか。（○は 1 つだけ）

図表 2-5-1 歯の健康意識



歯の健康意識について、「気をつけている」45.9%が最も高く、以下「とても気をつけている」19.3%、「あまり気をつけていない」15.3%、「どちらでもない」13.9%、「気をつけていない」3.2%となっている。（図表 2-5-1）

図表 2-5-2 航行区域別・漁船以外の船舶と漁船別 歯の健康意識

		調査数	とても気をつけている	気をつけている	どちらでもない	あまり気をつけていない	気をつけていない	無回答
全 体		2849	19.3	45.9	13.9	15.3	3.2	2.5
航行区域別	平水区域	386	17.1	49.5	12.4	16.1	3.9	1.0
	沿海区域	1337	19.9	46.1	12.5	15.8	2.8	3.0
	近海区域	704	15.9	44.7	16.2	16.5	4.1	2.6
	遠洋区域	249	31.7	45.0	11.2	9.2	1.2	1.6
	わからない	129	13.2	40.3	25.6	13.2	5.4	2.3
船舶と漁船別	漁船以外の船舶	2220	19.7	47.5	12.7	15.0	2.7	2.3
	漁船	574	17.4	39.4	18.1	16.9	5.4	2.8
	その他	42	26.2	47.6	11.9	11.9	-	2.4

歯の健康意識について、【航行区域】別にみると、遠洋区域は、「とても気をつけている」が31.7%と比較的高くなっている。【漁船以外の船舶と漁船】別にみても、全体との大きな差は見られない。(図表2-5-2)

図表 2-5-3 喫煙状況別 歯の健康意識

		調査数	とても気をつけている	気をつけている	どちらでもない	あまり気をつけていない	気をつけていない	無回答
全 体		2849	19.3	45.9	13.9	15.3	3.2	2.5
喫煙状況別	現在吸っている	1007	15.4	44.2	16.4	18.1	4.7	1.3
	以前吸っていたが、やめた	1047	20.2	49.6	12.3	14.9	2.5	0.6
	吸ったことがない	728	24.9	45.9	13.5	12.4	2.5	1.0

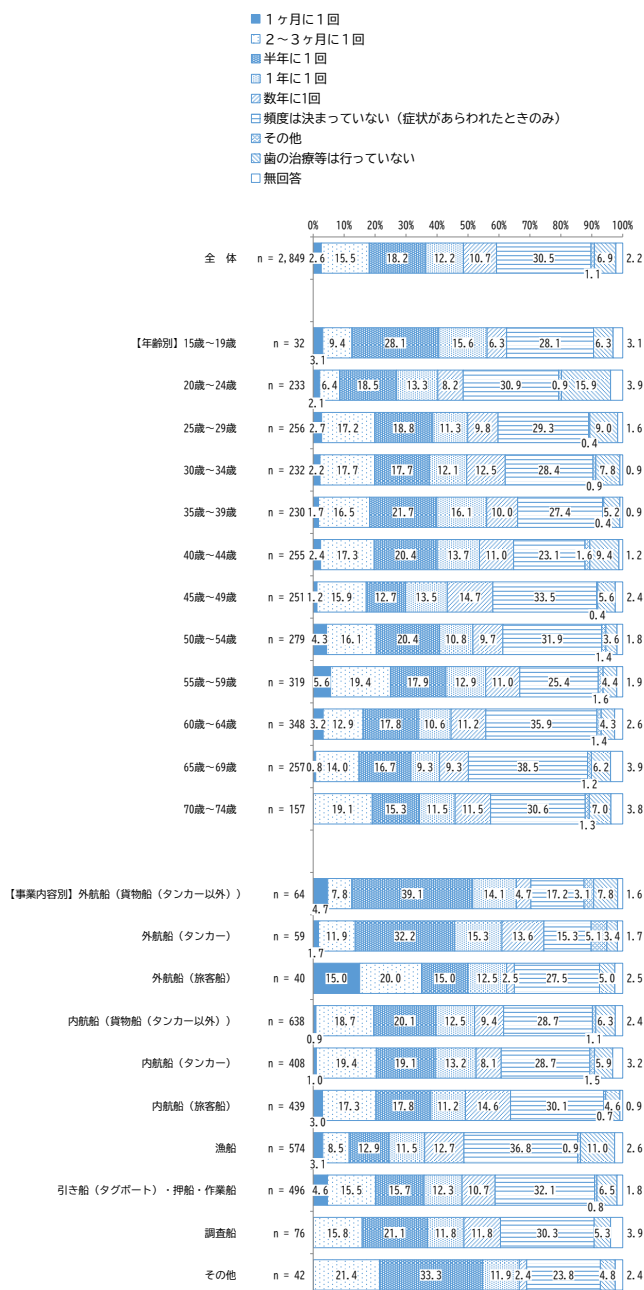
歯の健康意識について、【喫煙状況】別にみると、現在吸っている場合、「どちらでもない」が16.4%、「あまり気をつけていない」が18.1%と比較的高くなっている。「以前吸っていたが、やめた」場合、「気をつけている」が49.6%と比較的高くなっている。「吸ったことがない」場合、「とても気をつけている」が24.9%と比較的高くなっている。(図表2-5-3)

2. 歯科へ行く頻度

◆「頻度は決まっていない（症状があらわれたときのみ）」が30.5%で最も高い

問 39. あなたは、歯の治療等のために、歯科へどのくらいの頻度で行けますか。（○は1つだけ）

図表2-5-4 歯科へ行く頻度



歯科へ行く頻度について、「頻度は決まっていない（症状があらわれたときのみ）」30.5%が最も高く、以下「半年に1回」18.2%、「2～3ヶ月に1回」15.5%、「1年に1回」12.2%、「数年に1回」10.7%となっている。（図表2-5-4）

図表 2-5-5 漁船以外の船舶と漁船別 歯科へ行く頻度

	調査数	1ヶ月に1回	2～3ヶ月に1回	半年に1回	1年に1回	数年に1回	（頻度は決まっていなかったときのみ）	その他	歯の治療等を行っていない	無回答
全 体	2849	2.6	15.5	18.2	12.2	10.7	30.5	1.1	6.9	2.2
船舶と漁船別	漁船以外の船舶	2220	2.5	17.3	19.3	12.4	10.4	29.1	1.1	2.1
	漁船	574	3.1	8.5	12.9	11.5	12.7	36.8	0.9	2.6
	その他	42	-	21.4	33.3	11.9	2.4	23.8	-	2.4

歯科へ行く頻度について、【漁船以外の船舶と漁船】別にみると、漁船は、「数年に1回」が12.7%、「頻度は決まっていなかった（症状があらわれたときのみ）」が36.8%と比較的高くなっている。（図表2-5-5）

図表 2-5-6 歯の健康意識別 歯科へ行く頻度

	調査数	1ヶ月に1回	2～3ヶ月に1回	半年に1回	1年に1回	数年に1回	（頻度は決まっていなかったときのみ）	その他	歯の治療等を行っていない	無回答
全 体	2849	2.6	15.5	18.2	12.2	10.7	30.5	1.1	6.9	2.2
歯の健康意識別	とても気をつけている	550	6.0	32.9	28.2	10.9	4.4	12.5	0.7	0.4
	気をつけている	1307	2.8	17.0	21.7	14.2	10.0	29.0	1.3	0.5
	どちらでもない	395	0.3	3.8	10.4	13.9	14.7	44.1	0.5	0.3
	あまり気をつけていない	435	0.2	5.1	7.8	10.1	17.0	47.6	0.9	0.2
	気をつけていない	92	2.2	-	-	4.3	17.4	39.1	2.2	1.1

歯科へ行く頻度について、【歯の健康意識】別にみると、「とても気をつけている」場合、「2～3ヶ月に1回」が32.9%、「半年に1回」が28.2%と比較的高くなっている。「あまり気をつけていない」場合、「数年に1回」が17.0%、「頻度は決まっていなかった（症状があらわれたときのみ）」が47.6%と比較的高くなっている。「気をつけていない」場合、「数年に1回」が17.4%と比較的高くなっている。（図表2-5-6）

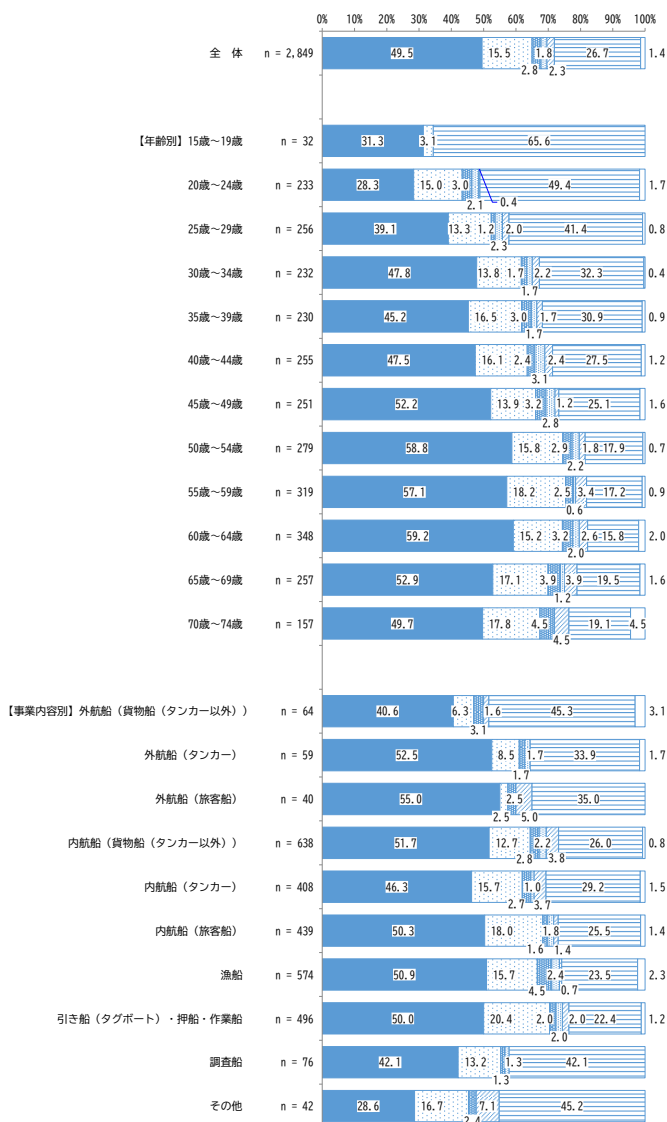
3. 乗船中の歯痛への対処

◆「乗船中は、痛み止め等の応急処置をし、下船後に歯科へ行く」が49.5%で最も高い

問 40. あなたは、乗船中に歯が痛くなった時、どのように対処していますか。(○は1つだけ)

図表 2-5-7 乗船中の歯痛への対処

- 乗船中は、痛み止め等の応急処置をし、下船後に歯科へ行く
- 乗船中は、放置・我慢し、下船後に歯科へ行く
- 乗船中に、痛み止め等の応急処置をし、歯科には行かない
- 乗船中も、放置・我慢し、歯科には行かない
- その他
- 歯痛になったことがない
- 無回答



乗船中の歯痛への対処について、「乗船中は、痛み止め等の応急処置をし、下船後に歯科へ行く」49.5%が最も高く、以下「歯痛になったことがない」26.7%、「乗船中は、放置・我慢し、下船後に歯科へ行く」15.5%、「乗船中に、痛み止め等の応急処置をし、歯科には行かない」2.8%となっている。【事業内容】別にみると、引き船（タグボート）・押船・作業船は、「乗船中は、放置・我慢し、下船後に歯科へ行く」が20.4%と比較的高くなっている。（図表 2-5-7）

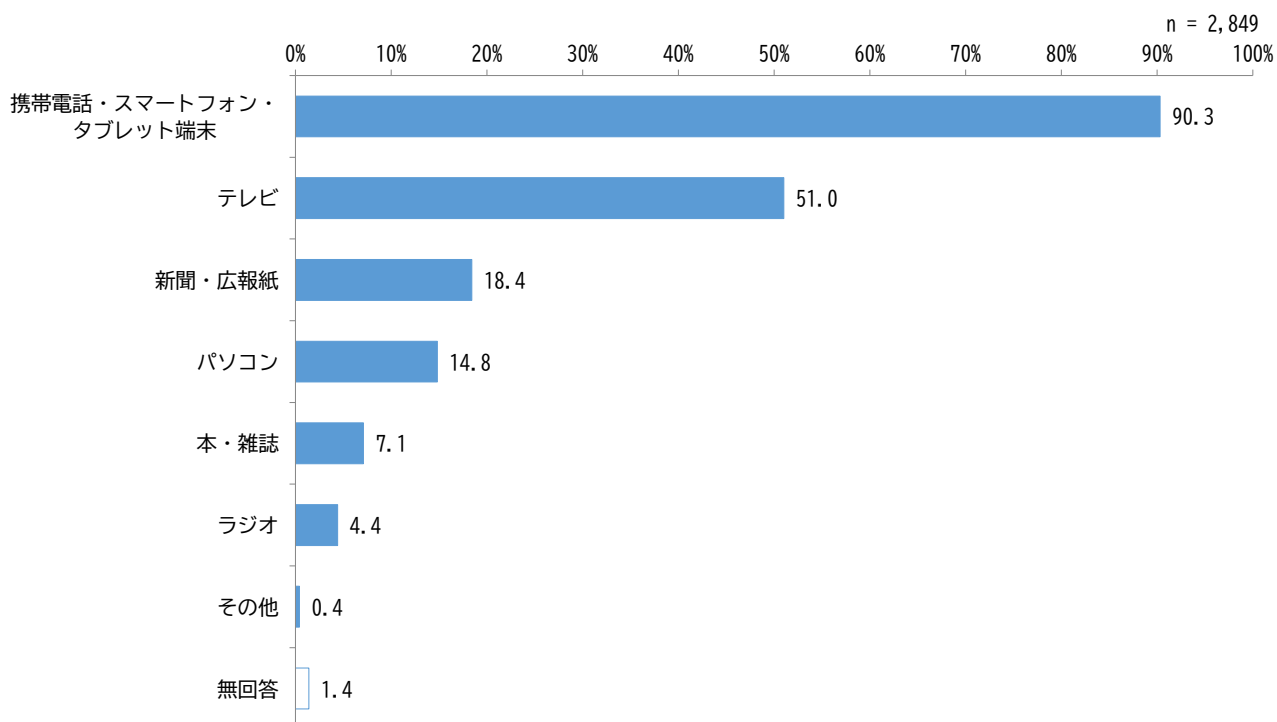
VI 広報について（問 41～問 43）

1. 日常の情報入手方法

◆「携帯電話・スマートフォン・タブレット端末」が 90.3%で最も高い

問 41. あなたが、日常的に生活情報を得ている方法は主にどれですか。（○は3つまで）

図表 2－6－1 日常の情報入手方法



日常の情報入手方法について、「携帯電話・スマートフォン・タブレット端末」90.3%が最も高く、以下「テレビ」51.0%、「新聞・広報紙」18.4%、「パソコン」14.8%、「本・雑誌」7.1%となっている。（図表 2－6－1）

図表 2-6-2 年齢別・事業内容別 日常の情報入手方法

		調査数	・携帯電話・スマートフォン	パソコン	新聞・広報紙	テレビ	ラジオ	本・雑誌	その他	無回答
全 体		2849	90.3	14.8	18.4	51.0	4.4	7.1	0.4	1.4
年 齢 別	15歳～19歳	32	100.0	3.1	—	18.8	—	—	—	—
	20歳～24歳	233	97.4	8.2	7.3	26.6	0.9	4.7	0.4	1.7
	25歳～29歳	256	98.4	17.6	4.7	33.6	2.3	4.3	0.4	—
	30歳～34歳	232	99.1	19.8	10.3	33.6	3.0	5.2	—	0.4
	35歳～39歳	230	97.4	14.3	13.5	43.5	2.6	5.7	—	0.9
	40歳～44歳	255	95.7	19.2	9.8	45.9	5.1	8.2	0.4	2.4
	45歳～49歳	251	95.6	18.7	16.3	51.8	2.8	8.4	0.8	1.6
	50歳～54歳	279	92.1	14.3	19.7	55.2	6.1	6.8	0.7	1.8
	55歳～59歳	319	89.3	14.7	22.6	59.9	4.7	6.0	—	1.6
	60歳～64歳	348	85.1	16.4	27.9	69.0	6.0	8.9	0.3	1.1
	65歳～69歳	257	76.7	12.1	33.5	69.6	6.2	6.6	1.2	1.9
	70歳～74歳	157	57.3	5.1	40.1	70.1	10.2	16.6	0.6	3.2
事 業 内 容 別	外航船(貨物船(タンカー以外))	64	95.3	23.4	10.9	34.4	3.1	3.1	—	1.6
	外航船(タンカー)	59	96.6	22.0	8.5	33.9	3.4	6.8	—	1.7
	外航船(旅客船)	40	97.5	27.5	10.0	50.0	—	15.0	—	2.5
	内航船(貨物船(タンカー以外))	638	91.2	14.9	11.8	50.3	2.8	8.0	0.8	1.6
	内航船(タンカー)	408	90.7	14.7	20.8	52.5	3.9	7.4	0.2	1.5
	内航船(旅客船)	439	95.0	16.4	23.0	53.1	3.9	3.9	—	1.4
	漁船	574	84.1	4.5	20.9	50.5	6.4	9.2	0.7	1.6
	引き船(タグボート)・押船・作業船	496	90.9	18.5	21.2	54.2	6.0	5.4	0.4	1.0
	調査船	76	90.8	28.9	14.5	53.9	2.6	9.2	—	—
	その他	42	81.0	35.7	19.0	40.5	4.8	4.8	—	4.8

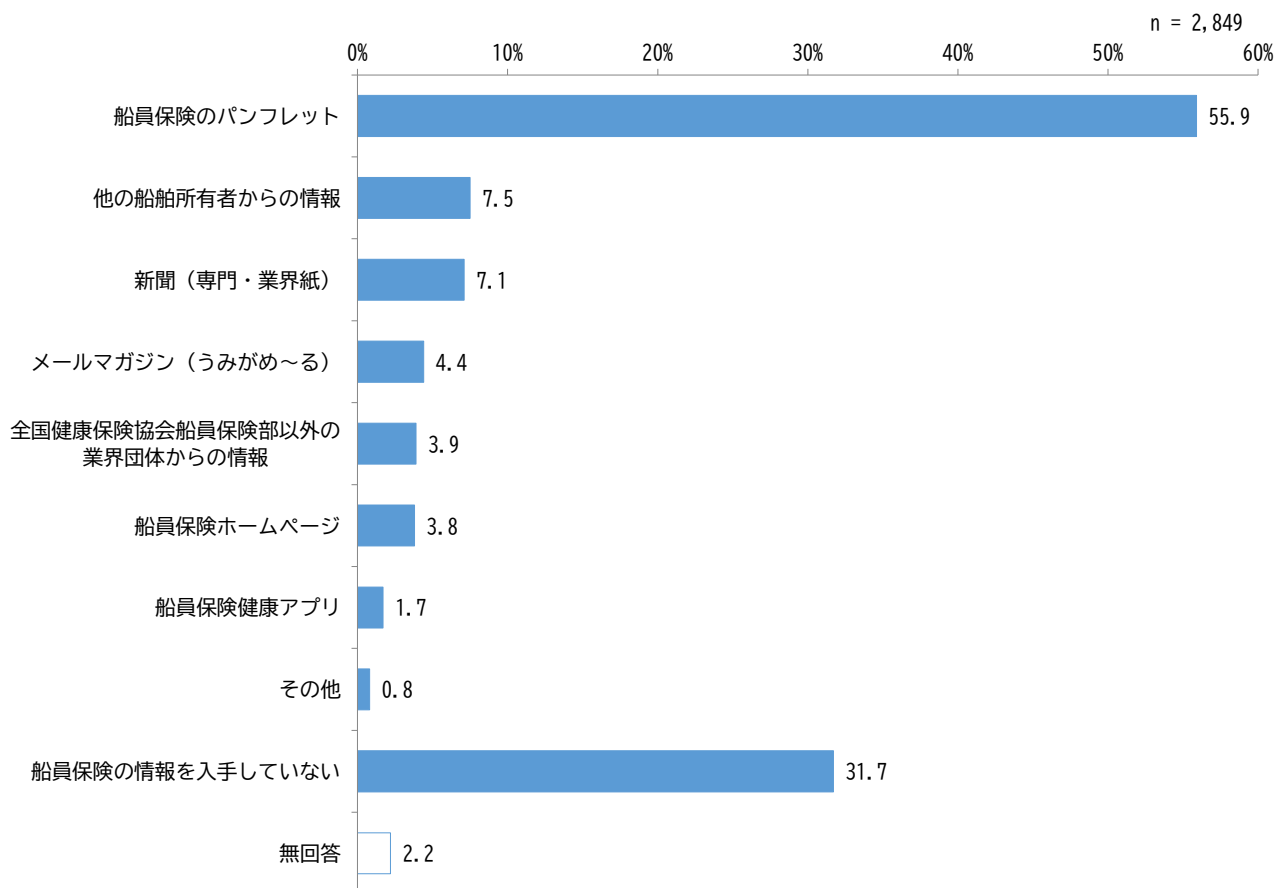
日常の情報入手方法について、【年齢】別にみると、60歳～64歳は、「新聞・広報紙」が27.9%と比較的高くなっている。65歳～69歳は、「新聞・広報紙」が33.5%と比較的高くなっている。70歳～74歳は、「新聞・広報紙」が40.1%、「ラジオ」が10.2%、「本・雑誌」が16.6%と比較的高くなっている。(図表2-6-2)

2. 船員保険の活動に関する情報入手方法

◆「船員保険のパンフレット」が55.9%で最も高い

問 42. あなたは、日頃、船員保険のサービス、イベント、お知らせや活動状況などの情報を主にどこから入手していますか。(○は3つまで)

図表 2-6-3 船員保険の活動に関する情報入手方法



船員保険の活動に関する情報入手方法について、「船員保険のパンフレット」55.9%が最も高く、以下「船員保険の情報を入手していない」31.7%、「他の船舶所有者からの情報」7.5%、「新聞（専門・業界紙）」7.1%、「メールマガジン（うみがめ〜る）」4.4%となっている。（図表 2-6-3）

図表 2-6-4 年齢別・事業内容別 船員保険の活動に関する情報入手方法

		調査数	船員保険のパンフレット	メールマガジン（うみがめくる）	新聞（専門・業界紙）	船員保険ホームページ	船員保険健康アプリ	全国健康保険協会船員保険部以外の業界団体からの情報	他の船舶所有者からの情報	その他	船員保険の情報を入手していない	無回答
全 体		2849	55.9	4.4	7.1	3.8	1.7	3.9	7.5	0.8	31.7	2.2
年 齢 別	15歳～19歳	32	28.1	6.3	－	3.1	－	－	3.1	－	62.5	－
	20歳～24歳	233	33.0	2.1	7.7	1.3	1.7	1.7	3.9	2.6	52.4	2.1
	25歳～29歳	256	46.5	3.5	6.6	4.7	2.3	3.1	6.3	0.4	41.8	2.0
	30歳～34歳	232	49.1	2.2	5.2	3.9	0.4	2.2	6.9	0.4	41.4	0.9
	35歳～39歳	230	53.0	5.2	3.9	3.9	0.9	2.2	6.5	－	37.0	0.9
	40歳～44歳	255	55.3	3.9	6.3	4.3	1.2	3.1	7.1	1.6	32.2	2.0
	45歳～49歳	251	59.8	4.4	5.2	4.0	0.8	2.8	8.0	－	30.3	2.0
	50歳～54歳	279	63.4	3.2	6.5	3.2	1.8	4.7	6.5	0.4	27.6	1.4
	55歳～59歳	319	61.8	5.6	7.8	4.7	2.8	5.0	8.5	0.9	25.1	1.9
	60歳～64歳	348	66.7	5.5	8.3	2.9	1.4	5.5	12.6	0.9	20.7	2.3
	65歳～69歳	257	63.8	6.6	10.5	4.7	3.1	6.2	6.2	1.2	21.0	3.9
	70歳～74歳	157	57.3	5.7	10.8	3.8	1.9	6.4	8.9	0.6	21.0	7.0
事 業 内 容 別	外航船（貨物船（タンカー以外））	64	53.1	1.6	9.4	6.3	3.1	6.3	7.8	－	35.9	1.6
	外航船（タンカー）	59	47.5	11.9	1.7	11.9	5.1	1.7	6.8	－	40.7	3.4
	外航船（旅客船）	40	60.0	2.5	2.5	2.5	2.5	5.0	5.0	－	32.5	2.5
	内航船（貨物船（タンカー以外））	638	56.9	5.2	5.6	4.1	1.7	3.8	8.8	0.9	30.3	2.4
	内航船（タンカー）	408	60.0	5.9	7.1	4.4	2.2	3.7	7.4	0.5	28.7	2.5
	内航船（旅客船）	439	59.9	3.9	9.1	3.9	1.6	2.5	3.4	0.7	30.3	1.4
	漁船	574	47.9	2.4	8.7	1.9	1.4	5.1	10.1	1.2	35.2	3.5
	引き船（タグボート）・押船・作業船	496	59.9	4.8	5.4	3.8	1.0	3.8	6.5	0.8	29.2	1.4
	調査船	76	51.3	5.3	9.2	3.9	1.3	3.9	13.2	1.3	36.8	－
	その他	42	42.9	2.4	9.5	－	2.4	4.8	4.8	－	50.0	－

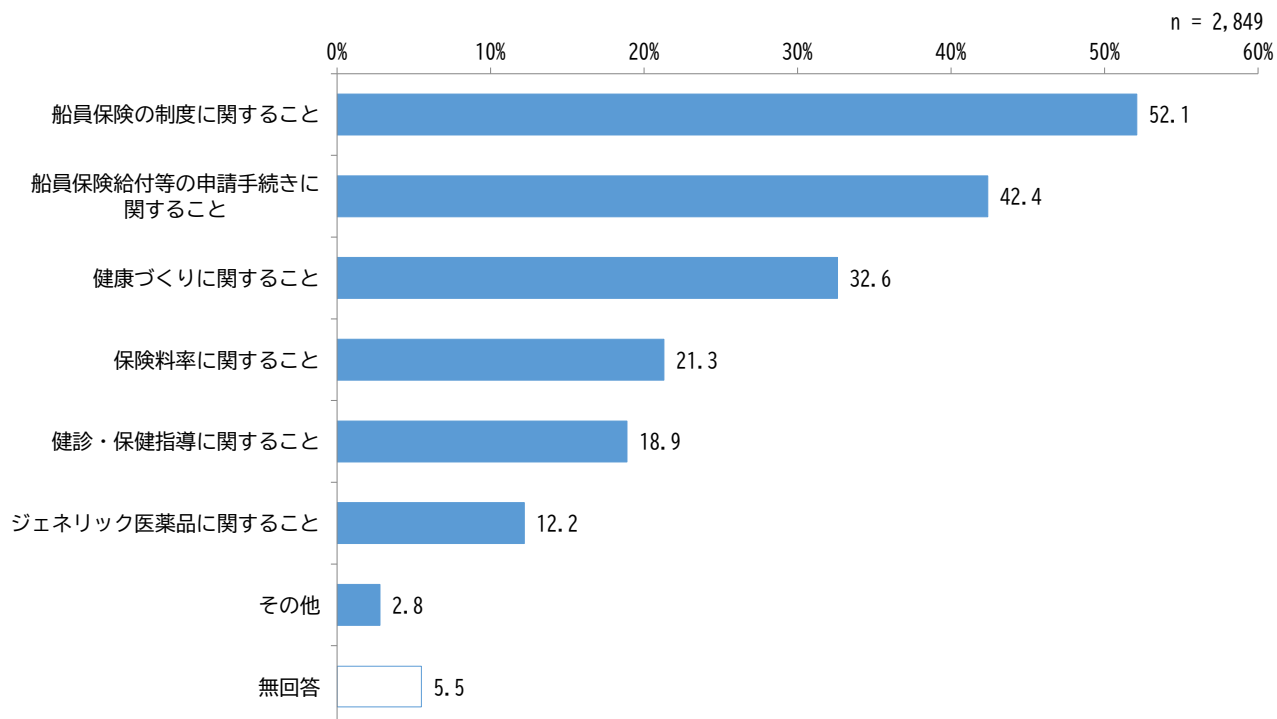
船員保険の活動に関する情報入手方法について、【年齢】別にみると、60歳～64歳は、「他の船舶所有者からの情報」が12.6%と比較的高くなっている。「新聞（専門・業界紙）」は65歳～69歳で10.5%、70歳～74歳で10.8%と比較的高くなっている。（図表2-6-4）

3. 希望掲載内容

◆「船員保険の制度に関すること」が52.1%で最も高い

問 43. 船員保険からのお知らせで掲載してほしい内容は何ですか。(○は3つまで)

図表 2－6－5 希望掲載内容



希望掲載内容について、「船員保険の制度に関すること」52.1%が最も高く、以下「船員保険給付等の申請手続きに関すること」42.4%、「健康づくりに関すること」32.6%、「保険料率に関すること」21.3%、「健診・保健指導に関すること」18.9%となっている。(図表 2－6－5)

図表 2-6-6 年齢別・事業内容別 希望掲載内容

		調査数	健康づくりに関すること	健診・保健指導に関すること	船員保険の制度に関すること	船員保険給付等の申請手続きに関すること	保険料率に関すること	ジェネリック医薬品に関すること	その他	無回答
全 体		2849	32.6	18.9	52.1	42.4	21.3	12.2	2.8	5.5
年 齢 別	15歳～19歳	32	37.5	25.0	50.0	28.1	12.5	6.3	3.1	-
	20歳～24歳	233	28.3	13.3	54.5	36.9	27.5	3.4	1.3	6.4
	25歳～29歳	256	30.5	17.2	55.9	37.5	27.7	5.9	1.6	3.5
	30歳～34歳	232	22.8	17.7	62.5	46.6	27.6	7.8	1.7	3.9
	35歳～39歳	230	32.2	19.6	57.0	47.4	24.3	9.1	3.5	2.6
	40歳～44歳	255	31.8	21.6	55.3	40.8	18.8	9.8	5.5	5.1
	45歳～49歳	251	30.7	17.5	53.0	41.4	21.9	15.1	4.8	8.0
	50歳～54歳	279	33.0	20.8	54.5	47.0	19.7	11.5	3.2	5.4
	55歳～59歳	319	31.7	16.9	50.8	43.3	19.1	16.3	3.1	5.6
	60歳～64歳	348	37.1	22.1	48.0	45.1	17.2	17.0	1.1	5.5
	65歳～69歳	257	40.1	20.6	41.2	39.3	16.7	17.5	3.1	7.4
	70歳～74歳	157	40.1	18.5	38.9	42.0	15.9	20.4	1.3	8.3
事 業 内 容 別	外航船(貨物船(タンカー以外))	64	32.8	20.3	65.6	35.9	17.2	10.9	3.1	3.1
	外航船(タンカー)	59	32.2	18.6	55.9	37.3	32.2	6.8	5.1	3.4
	外航船(旅客船)	40	30.0	17.5	70.0	55.0	20.0	10.0	2.5	5.0
	内航船(貨物船(タンカー以外))	638	32.1	21.2	49.8	47.3	22.3	13.5	2.8	5.0
	内航船(タンカー)	408	31.9	23.5	54.4	46.8	18.6	13.5	1.7	6.1
	内航船(旅客船)	439	31.7	14.8	53.5	43.3	21.6	12.3	3.2	4.1
	漁船	574	36.9	17.6	44.3	33.8	20.0	9.8	3.0	8.5
	引き船(タグボート)・押船・作業船	496	31.0	17.3	55.0	42.7	22.6	13.3	2.4	4.0
	調査船	76	25.0	22.4	65.8	38.2	27.6	13.2	2.6	2.6
	その他	42	35.7	14.3	52.4	45.2	11.9	11.9	7.1	2.4

希望掲載内容について、【年齢】別にみると、「ジェネリック医薬品に関すること」が60歳～64歳で17.0%、65歳～69歳で17.5%、70歳～74歳で20.4%と比較的高くなっている。(図表2-6-6)

第3章

意見・要望(自由回答)

I 健康づくりに関するご意見・ご要望

問 44. その他、健康づくりに関してご意見、ご要望などがございましたら、どのようなことでも結構ですので、ご自由にご記入ください。

健康づくりに関する意見・要望を自由に記入していただいたところ、322 件の回答があった。あげられた意見・要望を分類し、一部の要望・意見を掲載した。あげられた意見・要望を分類し、各項目の中から代表的な要望・意見を掲載した。なお、掲載している意見・要望は、ほぼ原文のままとしている。

【一般船舶 分類一覧】

NO	内容	件数
1	運動に関する支援	29
2	保険料（保険）について	29
3	健診内容の充実	28
4	健診場所・機関を増やして欲しい	25
5	資料等が欲しい	18
6	健診の「事前予約」による受診が難しい	14
7	歯科について	12
8	禁煙・禁酒について	9
9	食事に関する支援	9
10	仕事に関連する意見	9
11	家族の健康診断について	8
12	ストレス	5
13	船員不足・高齢化	3
14	船舶所有者への支援	3
15	宿泊施設・保養所などに関する意見	2
16	その他	85
	総計	288

【漁船 分類一覧】

NO	内容	件数
1	健診内容の充実	4
2	食事に関する支援	2
3	運動に関する支援	2
4	資料等が欲しい	2
5	その他	24
	総計	34

1. 運動に関する支援

一般船舶

- たまには乗船中に休みを取り散歩すること。
- 狭い所でもできる体操やストレッチなど
- 運動不足になりやすいのと酒の量が増え陸上にもどったとき（下船）家でおこられるのでなにかいい方法があるなら教えてほしい。
- 船内生活では運動不足になるのでスポーツジム等の優待制度を実施して欲しいです。
- スポーツジムで使える優待券のようなシステムがあれば利用したい。
- ジム入会、回数券などの一部負担。
- 船内にトレーニングルーム、健康器具（ランニングマシン）など。
- 船内や自室で出来る運動 食事に関する事。
- 運動を推奨してほしい。

- 船上で、なかなか運動するのが、難しい。
- 無理のないストレッチや体のゆがみ等の改善方法
- 船内での体力づくりや、栄養管理について記載を増やしてほしい。船内にランニングマシーンを置ける事を推進してほしい。
- 生活が、不規則、運動不足になる職種だと思います。船舶所有者にそれを解消するような、努力なり、設備をするように指導して頂きたい。
- 限られた中での運動方法をしりたい
- アプリ内に筋トレのメニュー等なんかあるといい
- ジムなどを無料で使えるようにしてもらいたい。
- ジムやヨガ等で割引を受けられると行きやすい。入会金等があるので、休暇中しか行けないとなると勿体ない・通いづらい。
- 足脚がとろこくなるので簡単な鍛え方法。
- 船内で運動できる設備を置くための補助金の支給をお願いしたい。
- 乗船中でも、できる健康的な体操の仕方などくわしくしりたい。かんたんなやつ。
- 全国各所の港付近のスポーツジム利用料金（船員割引及び船員無料）等の措置があれば、船員に運動をしようという意識が働き、健康づくりに興味がもてると考えます。
- 下船中、ウォーキング（約1時間）を目標に行なっているが、0～24時のどの時間帯が体力作には、適しているのか？
- 船での生活だと運動不足になるのですが具体的にどのような事を（筋トレとか）すれば良いのでしょうか？
- 健診の度に必ず、適度な運動を心がけるように言われるが、船内の狭い空間、揺れのある環境でも安全に行なえる運動をアプリなどを通して配信してほしい。
- 乗船中は歩くぐらいしか運動が出来ない 何らかの運動器具を設置してほしい。
- イベント等の開催等、船員は船内等限られた範囲で生活、仕事等をしていきますので、一般社会人と異なり健康づくり等のジムや、施設になかなか行くことができません そこで船内で全員が出来ることを広めていけば良いと思います。そこで健康づくりの為、船内（居住区等）を歩きましょう 携帯電話のアプリ等で目標をきめる、グループ等で競う。
- 船内生活でも運動不足が解消できたらいいと思う。・船内の食生活の環境を考えて欲しい。（食バランス）
- 船員保険加入者で、スポーツジムとか割引があったらいいと思う。健康づくりに対して、もっと知恵をつけたいと思う

漁船

- 船内の限られたスペースでできるストレッチなど、教えてほしい。健康寿命と心の健康（思考）との関わりなど、教えてほしい。
- 運動習慣と健康維持の目的でトレーニングジムへ通っています。補助金制度があると嬉しいです。

2. 保険料（保険）について

一般船舶

- 保険料の減額
- 陸上よりも高額な保険料を払っているのに、船員保険であるメリットを感じられない。（陸上の保険と待遇が変わらない）もっと大きな差別化をして、メリット部分をアピールしてほしい。
- 昔は、船員保険の優遇が多くあり、船員でよかったと思う事が多くありました。歯医者、1割負担等です。年金も昔の様にありません。これ以上、船員は、底辺の人間と、思わない様にお願いします。正直、健康作りより、昔の様な、優遇措置がほしいです。
- 保険料が高い。
- 保険料が非常に高い。保養所のサービスがあったと思うがほとんどの人は知らないのではないかと思う。（私も最近知った）高い保険料を支払っているメリットをもっと説明すべきと思う。
- 保険料が高すぎる！！自己都合ではあるが離職し3カ月間任意継続で加入したが高い！！また加入月の保険料もよくわからない（前会社との関係）前払い？後払い？船員全体が減少して保険料が上昇するのはしかたないかぁ～！！？
- 船員保険料があまりにも高いので、保険料を下げてほしい。
- 保険料が高い！！健康で居る事が少しでも医療費を抑えると思うけども。言っても仕方ないのですが…
- 船員保険ってなぜこんなに高い保険料を払うのでしょうか？ ・組合費も高い ・組合員家族健康診など無料だけど、いらないと思う。その分保険料低くして下さい。 ・この紙も（むだ）です。
- 船員保険料金が高いので安くしてほしい
- サービスに対しての保険料が高いと感じています。船員に寄りそった保険サービスを期待します。
- 保険料率は収入で算出せず保険の利用率で個々に決定してほしい。利用額が少ないのに多額の保険料を毎月納めるのはバカらしい 自己責任でいいから保険から抜きたい。健康になる努力をしているのに保険料が変わらないなら意欲もそこまで湧かなくなる。
- 高い保険料を払っているし、医りよう機関にすぐに行けないのももう少し安くなるようになってほしい。

3. 健診内容の充実

一般船舶

- 問2 3の提出する結果が船員手帳の健康検査の結果であれば35才以下は不十分であると思います。身長、体重、視力、聴力定度なので血液検査等も項目に入れてほしい。
- 35歳以下の血液検査やその他ガン検診などを保険適用で、検査を可にしてほしい
- 生活習慣病予防健診で、胃カメラも無料で選べるようにしてほしい。
- 生活習慣病予防健診は健診内容が不十分だと思います。頸動脈エコー、腹部エコーなどは追加可能だと思います。長期乗船で下船後即入院が必要になる方々も今までたくさんみてきました。予

防をしたいのであれば手厚いサポートが必要だと思います。そしてガンドック、人間ドック、脳ドックなどの補助金などがあれば良いと思います。

- ガンに関する健診を増やして欲しい。・血液・尿検査の項目を増やして欲しい
- 脳ドックも無料で受診したい。
- バリウムを胃カメラにしてほしい
- 大腸がんについて、検便だけでなく、大腸カメラも選択できるようにしてほしい。・オプションで、尿によるがん検査や、DNAによるがん検査も選択できるようにしてほしい。
- 健診の項目に、MRI等の健診も無料で加わえてほしい。
- 生活習慣病予防健診の項目を増してもらいたいです。
- 健康診断（35歳以下）が簡単な内容なので、病気の早期発見の為、詳しい内容へして頂きたいです。船員はただでさえ不規則で偏った食事の為生活習慣病にかかりやすい為、35歳以下でも精密検査を実施して頂きたいです。よろしくお願いします。
- 人間ドックを無料にしてほしい
- 健診を義務としてほしい
- 胃カメラや大腸カメラを無料にしてほしい
- 人間ドック等の健診を充実させてほしい。
- 無料健診の内容をもう少し増やしてほしい
- 生活習慣病予防健診にてバリウム検査がありますが、バリウム検査は、体への負担が大きいと聞きます。バリウム検査に代わり、希望者は胃カメラ検査も選択できたら良いなと思います。費用負担があっても利用者がいると思います。
- 生活習慣病検診において、ガン検診（簡易的なものでよい）を安価又は無料で受診できればよいと思う。
- 生活習慣予防健診で、胃カメラかバリウム検査か選択出来るようにして欲しい。
- 生活習慣病予防健診に眼底検査と頭部MRIを追加してもらいたい。
- 無料や割引のある検査をもっとわかり易く発信していただきたい。
- 今、35歳以上の健康診断を若い人達も診断した方が良いです。早期発見につながると思います。
- 健診をもっと気軽に受けやすくして欲しい。（手続きなど）・健診の案内が自宅に届かない。一度お願いしたが…。出来ないのなら、会社に郵送するなどお願いしたい。期限あるので、不便を感じます。受診したくても。
- 健康診断にCT or MRIの検査を。
- もっと無料健診の項目を増してもらいたい。（脳ドックなど）その他にも。
- 健康診断なり、医療機関に受診できる時間の確保をして頂ければありがたい。（休日が土、日しかない）
- 船員保険の生活習慣病特定健診の内容は、有料、無料に関かわらず充実し過ぎて驚くばかりです。また、機会を見て検討したいと思います。
- 禁煙プログラム等行っても、再度喫煙を再開する人も多いため、費用がもったいない。その分、健診内容の充実など全員に費用を配分すべきと思う。

漁船

- 検診の時例えば胃の透視だけでなく胃カメラの選択とか心電図の他、エコー検査などもう少し高度な検査の選択が欲しい 差額は個人負担でも良いと思う 盛岡の病院でも総合検診ができない。総合検診できる病院、ふやしてほしい。
- 健診日の日数が2日しかない為受診の時間が長くなるのもう1日でも増やしてほしい。
- 船員全員が健康診断で採血や心電図を受けれるようにしてほしい。
- 船員手帳健診時、年令何才以上は前立腺か癌検診の追加をして頂くといいかもと思います。

4. 健診場所・機関を増やして欲しい

一般船舶

- 近所にあるジムも船員保健で利用できるようにしてほしい。※船員指定病院で健診なのに、予約あとまわしにされるのは？
- 東京郊外にも船員手帳が更新できる健診機関をもうけてほしい。
- 船員の健康診断等指定された病院以外でもできるようにしてほしい。
- 生活習慣予防健診を船員手帳の健診を受ける病院ならどこでも出来るようにしてほしい。今のやり方では面どうでいけない。
- 生活習慣病予防健診の健診機関をもっと多くして健診の予約、受診をしやすく。
- 船員手帳の健診が出来る、医療機関を増やしてほしい。近くの町医者でも証明が出せる様にすれば、かかりつけの医者なので、会話もしやすくなり、習慣病の予防、改善にもつながると思う。
- 健診機関が港の近くにしか無く、内陸部にも健診を受けられる指定病院を増やして欲しい。
- 指定医を増やす活動を行ってほしい。・船員保健料の減額（特に若年層、後継者不足の加速）・乗船期間が長い場合のメンタルケア。
- 健診できる病院をふやしてほしい（無料で）
- 船員手帳の健康診断を受けられる指定病院が年々少なくなっている気がします。予約も取りづらくなっており不便に感じる事が多いのですが、今後改善されるのでしょうか？35歳からの診断について、「検査項目が増える」程度の知識しかない35歳以下の船員はとても多いです。私もその一人でした。経験者からの方がホームページを見るより分かりやすく中高年健診を教えてくださいました。内容がどう変化するのかももう少し分かりやすいと嬉しいです。
- 健康診断を受けられる病院を増やして下さい。（どこの病院でも受けられるようにしてほしい）
船員保険指定病院は正直に言って1古いレベルの低いところ2医者も年寄りが多い3最進鋭の設備が無い4いいかげん5指定病院が少い 上記の理由で私は、総合病院で1年に1回自費で半日ドックをやっています。それ以外に船員保険を使った健康診断を1年に1回受診。※半日ドックはオプションを含め68,000円かかります。指定病院だったら、基本健診分負担が少なくて済みます。御検討下さい
- 特定健診、生活習慣病予防健診を受けれる病院を増やしてほしい。
- 船員手帳証明 健康診断のできる病院が奈良にはないのでしてくれる病院があれば助かる～。

- ネットで市内の生活習慣病予防検診機関を検索すると、1ヵ所の病院がありますが人間ドック併用の為、一部が船員保険適用になっても検診費用が高額になる事、一般検診者が多いことから予約が取りにくい事、予約が取れても当日の作業等で受診できない事の原因から、全船員が近場の船員保険指定病院に行っているのが現状です。指定機関を実際に船員が行っている指定病院にして健康診断が出来るような仕組みを作って頂けたら全員が利用するようになると思われますので、検討して頂ければと思います。
- 船員の健康診断の認定院をもっと増えるような活動をしてほしい。乗船中でも気軽に通院等できるような政策があったらいい。
- 広島市の指定病院を増やすか変更してほしい。数ヵ月前予約や血液検査がなかなか出ない病院が多い。内航の船員向きでは無い病院が多い。予約しても長時間かかる病院など。
- 生活習慣病予防健診で総合健診が無料で受けれる様なれば利用しやすいのでは。予約が取れない（休暇中にあわせて）手帳・特保・総合ができる機関が近くにない
- 船員手帳の健診を受けられる医療機関が少なすぎる。指定医師を増やしてください・電車、バスを乗り継いで片道2～3時間かかる。・船員手帳の記入→その場で書ける項目もあるのに1～2週間結果が出るまで待たされる
- 生活習慣病予防健診を受診したいが、一番近くて片道3時間かかるので、近くで受診できるようにしてほしい。
- 船員健康診断の指定病院を増やしてほしい。
- 船員保険の指定病院は以前よりは増えてきましたが、年度によって変更が多い印象です。検診は同じ病院で継続的に受診出来る方が良くと思いますので、安定的な提携を希望します。
- 検診できる機関を多くして欲しい 受けるにも半年も予約いっぱい受ける事ができない 船員用の受診を…
- 一般検診を長く受けているが、近くに総合検診を受診出来る病院が無い。もっと増して欲しいです。
- 健診を受ける医療機関を増やしてほしい（予約がなかなか取れない）健診項目も増やしてほしい。

5. 資料等が欲しい

一般船舶

- インプラントを実施するに当たり、船員保険が推薦する歯科又はグループをおしえてほしい。
- 船員保険の手引き書等を安く販売して欲しい。
- 1人1人に情報を流してほしい。
- 自炊制度になっているので、栄養がかたよってしまい食生活による、病気例、害等の、たとえば例将来考えられる、事例、病例等のわかりやすいパンフレット等、長年続けていると起きる、事例等の刷紙等で教えて頂きたいと思います。これからの若い人たちのためと思います
- 高齢なので目などの健康 血圧関係の記事。
- いつも船員保険のパンフレットに「無料で禁煙サポート」という案内が入っているのですが、タバコを吸っていない私にとってあまりメリットに感じる内容ではありません。同じように吸って

いない人に向けた健康にかんするサービスがあると嬉しいです。また、女性ならではの検診についてのかわしい案内や説明があるととても助かります。よろしくお願いします。

- 禁煙外来の案内が届くが、非喫煙者は、いらない情報になるので、どちらかという和生活週間病にあてた情報が欲しい。また船内で出来る運動などを教えてほしい。
- 「特定保健指導」のサービスについて詳しくわかりやすくお教えてほしい
- 人間ドック等の案内や、補助
- 船保の説明を、シンプルにもっと分かり易くまとめて欲しい。船保の役割りを、分かり易くまとめて欲しい。この一冊で全てが分かる、みたいなもの。指定病院にも、船保の仕組みの理解をしておいて欲しい。→てきとうにしている所もあると思います。
- 船員保険の制度がいまいち理解できていないので、理解できるようにしたい。
- 手術をした時等の給付金があるのか不明なため分かりやすく説明してくれると良いと思う。
- 問18前立腺がん検診しなかった。聞いたことがない。
- 情報をメールで送付してほしい。
- もっといろいろな情報がほしい ・健康面では会社の協力（休暇など）が必要な為、会社への指導？（情報提供など）をしてほしい。
- 病気、怪我等の体験談を掲載し、自分自身の参考にしたいと思うので、出来たら宜しくお願いします。
- 船員保険部の活動などを、わかりやすく、全船員におつたえください。
- 国民健康増進法が改正されて以降も、喫煙室を設けるスペースがない。船外での喫煙が危険などの理由で居室（個室）内であれば、受動喫煙が防げるとされ、居室内での喫煙が認められています。しかし、実際には副流煙は通路へ漏れ、セントラル空調の取入口へ入り、各居室の空調吹き出し口から出てきます。乗船すると気道などの「いがいが」などの違和感や痛みが出て、咳がとまりません。会社に窮状をうったえても改善されません。この様な状況を相談できる窓口などをパンフレットなどで教えてくださると有難いです。

漁船

- 船員がケガや病気で、気を失った時の初期対応のしかたのマニュアル本があればいいです。ありますか。
- 船員保険に対して分かり易い資料作成 漁船でもできる健康メニュー

6. 健診の「事前予約」による受診が難しい

一般船舶

- 生活習慣病予防健診を受けたいのですが、休暇が不定期なので、予約がとれないのですが、どうすれば良いと思いますか？検診車の数、台数を増して下さい！
- 自動車免許と同じ様に1年限度日の1ヶ月後を余裕で追加してほしい。健診日がどんどん前倒しになって来るので
- 休暇中に指定医の予約がとても取りにくいのでなんとかできたらありがたいです。

- 生活習慣予防健診は、地域や病院の規模にもよるでしょうが、1年前からの予約でもなかなか取れません。また、乗船、休暇の都合でやむをえず、キャンセル、ということも多々あります。もう少し、受診しやすくして頂けるとありがたいです。
- 健診の予約がとりにくすぎてすごく困ってます。休暇に合わせて予約が取れないと手帳の記入が間に合わず乗船に支障がでるのでなんとか改善してもらいたい。
- 限られた、休暇で、予約を取るのは、難しい。
- 健康診断の予約が取りにくく、半年前からでないと取れない。半年前から休みがわからないのでこまる。
- 生活習慣病予防健診を受ける時自分の希望した日時で受診できるようになればいい。予約を取るのが大変です。すぐ取れない 常に2～3ヶ月後になる
- 私は正社員ですが、有給休暇がなく、検査予約が困難です。こういった場合、どうすればいいのか「船員保険からのお知らせ」に掲載してほしいです。あと、健康管理に関する会社側のNG事例等。
- 14日間の休みでなかなか予約がとれない。もう少し予約をとりやすくしてほしい。
- 健診を受けたいと思うけど、時間がうまく合わない。

7. 歯科について

一般船舶

- 歯科も療養補償の対象にしてもらいたい。
- 歯科検診を無償 ・健康診断の有償項目の無償化
- 虫歯治療もまた船員保険でしてほしい
- 昔は、歯医者がタダだったみたいなのでそのようになれば行きやすい。
- 歯の治療も療養保障の対象にしてほしい。
- 歯科での歯せき取り料金を船員の療養補償証明書を利用出来るようにして下さい。
- 医療証明の歯科の利用を可能に戻す。
- 昔みたいに、歯の治療を無料にしてほしい。船員保険料金が高いのに、メリットがすくない。
- 家族の無料健康診断を40歳からではなく、30歳ぐらいに引き下げてほしい。・家族の歯の定期検診を年1回くらいで無料にしてほしい。
- オンライン禁煙プログラムの無料提供は知りませんでした。サービスを利用して、禁煙したいと考えております。歯の健康状態、治療にも無料でサービスを提供していただけたらすごく良いと思います。
- 歯科も医療証明を使える用に戻してほしい。高額な保険料に対して、戻りがなさすぎる。メリットがなく、デメリットしかない。

8. 禁煙・禁酒について

一般船舶

- 前述の通りですが、喫煙による健康悪化は自業自得であり、非喫煙者からすると、非常にもったいない予算の利用先です。喫煙は個人の自由ですので、禁煙サービスをとりやめてほしい。

- 喫煙者と一緒に乗船したくないが、現状として不可避である。
- 室内禁煙を実施する用指示
- 非喫煙者の周囲（付近）で、喫煙場所、以外にもかかわらず喫煙をする。喫煙者の意識改革が出来るカウンセリングをして欲しい。（とても重要だと思います。）
- たばこをやめたいのに、やめられない 気持ちを強くするために、なにが必要かなと思いますすみません 自分の問題でした 無視して下さい
- 船内でも喫煙所を設けるべきだと思う。（タンカー以外の船でも）
- 船が小さいので致し方ないところはあるが、受動喫煙の対策として船舶所有者の義務はないのか？対策例など積極的に公表してほしい。
- たばこを吸う人間が船内にたくさんいるので分煙とか、とにかくなんとかしてほしい。船はなんもかもおくれてる！！
- 禁煙に本気で取組みたいので治療方法や治療費等情報が欲しい

9. 食事に関する支援

一般船舶

- 生活習慣病にたいしての食事はなにを食べたらいいかおしえてほしいです
- 船のご飯が油っぽい物（肉）が多い為、体に気をつかったご飯を作ってもらえると健康になれると思うのでヘルシー料理をお願い致します。
- 今一人で自分の料理する船が多いので簡単で出来る本があればいいなと思います。
- 司厨長が乗船している船は、なかなか食事管理も難しいと思うので、食事管理に関する教育ビデオ教材を制作しても良いのではないのでしょうか。
- 食事や運動
- 司厨部員に対する、栄養、健康（糖尿病等の食事）的な、食事に対する、講習等を開催してほしい。（希望者のみではなく、各船会社を通して、出席するような型式で）
- 肥満傾向、特に若年船員には、食育が必要だと思います。又、嗜好により摂取の判断をしているため健康に不安を考える。上級船員に関して、大食傾向を改める栄養管理の指導が必要だと思います。
- 船内での食事について。司厨員を乗船させた方が乗組員の健康に良いとわかっているが金銭的に余裕もなく人員不足も顕著に表われている現状では手の施しようがありません。食材の確保や作る時間と手間をどのように改善すれば良いのかは従来からの問題となっています。食材宅配（船舶）サービス等を利用できれば良いのですが入港時間帯等の制限もあり、難しいです。（工場への立入りを含めて）

漁船

- テレビで宣伝している青汁は肥満や高血圧に効果がありますか？
- 最近食生活が不規則で体重が増加してきてしまいました。一日にどれ程の物を何時頃食べた方が良いのか、又、栄養バランスについても詳しく知りたいです。そして今労災を受けているのです

が左肩と首が痛いのでけいつい捻挫や上腕二頭筋ちようえんなどの治し方（早く治る手段）を
教えて欲しいです

10. 仕事に関連する意見

一般船舶

- 過度の労働を少なくしてほしい。
- 労働環境の改善が健康に影響すると思うので、企業はそこを改善していくことが大事だと思う。
- 会社都合で個人の健康が失れているような気がします。乗船中でも病院に通える余裕があれば、
と思います。
- 乗船中の健康維持に最も有効だと思うことは、労働時間の短縮だと思う。ストレスの軽減が健康
に直結すると思うので、船内での休憩時間が多い程体調管理は容易になると思います。
- 1人部屋にする。・Wi-Fi等、通信設備を整える。
- 労働環境の改善
- 給料が安い為、健康機関へ行く余裕も無く、とにかく仕事が忙しく余裕が全く無い。
- 過酷な労働環境を改善することが、「健康づくり」の第一歩だと思います。
- 健康をよびかけ、体をどれだけととのえても、労働環境が良くなければ全く意味はないと思う。

11. 家族の健康診断について

一般船舶

- 妻の健診（無料）が横浜の病院で実施される。住居のある都道府県で実施してほしい。
- 家族も健康診断、無料にして欲しい。若くても
- 妻の健康診断 補助の年齢を引き下げてほしい。
- 案内が届いているにもかかわらず妻がここ2年検診を受けていません。（心配です）強制的に通
知をお願いします。
- 家族の健診を無料で受けられるようにしてほしい
- 被扶養者の健診の年齢を下げてほしい。40才からではおそい 高い保健料を払っているのにメ
リットがなにひとつない。昔の船員保健ぐらいメリットがあってもいいのでは？
- 配偶者の健康診断を無料にして欲しい。
- 船員の家族（子）の健康づくりに対してももっと対応してほしい

12. ストレス

一般船舶

- 部屋が8人部屋（カプセル8ヶ）でとてもストレスを感じる。
- 閉鎖的な環境でのストレスの緩和方法について知りたい…
- 労働環境、ストレス、パワハラに重きを置いてほしい。
- ストレスについて
- 抜け毛が気になる。ストレスかな？

1 3. 船員不足・高齢化

一般船舶

- 現在、人材確保に困難を極めている状況である。‘船員’とは諸々のサービスで優遇されているとのPRも必要かと。その一環で「検診は全て無料」にしていただけると有難い。
- 健康は大事であるが現実的には船員が不足している状況で多少のムリでも仕事を優先してしまう。現に腰痛があってもムリして働いている。
- 乗組員の年令が高齢化しています 仕事量はオーバータック状態で睡眠時間を取るのが大変です 高齢化に伴う仕事での事故やケガの防止に関するポスター作成・船内に掲示) や司厨長へのアドバイスなどを行っていただけたらと思います よろしくおねがいします。

1 4. 船舶所有者への支援

一般船舶

- 乗船期間が、6ヶ月～8ヶ月と長く、他の人は1年の乗船もある。この様な乗船期間では、健康維持は、出来ないのでは。船舶所有者、及び海員組合は健康に関しては何にも考えていないと思う 船員保険会からも船舶所有者に船員の健康に関して指導してもらいたい。
- 会社、職場に健診、保健の指導をしてほしい。船に乗船中は、特に食べ物の指導を、色々教えてもらいたい。
- 船舶を所有している会社に直接指導に入って欲しい。

1 5. 宿泊施設・保養所などに関する意見

一般船舶

- 宿泊施設の利用方法をもっと簡素化してほしい。宿泊施設の数を増やしてほしい。
- 船員保険の保養事業の宿予約をネットでできるようにしてほしい

1 6. その他

一般船舶

- 歯科検診に関する補助があれば良い・アンケート用紙は折りたためるようにし、返信用封筒を小さいサイズにして郵送費の削減に取り組んでほしい。(経費削減に努めること。)
- 健診のオプション料金が高く感じる。低料金化して、受診しやすくして欲しい。
- 体重がなかなか減らない、減量したい。
- 船のゆれで体中のほりがひどい。腰痛になってしまいました。ストレッチや運動は定期的にしてますが、おぎなえません。フィジカルの面でのケアを組み込んでほしいです。私は女性ですが、男性の船員さんが社会人としての対応ができない方、利不尽な方がいて精神的にストレスになります。業務連絡を命令口調で言われたり、人によって態度を変えたり。狭い世界なので社会人としてのコミュニケーションを大切にして致けるよう、メールマガジンでも周知してほしい。
- 紙媒体による意識調査は廃止し、Web上で完結するアンケートフォームを利用する方が、お互いにWin-Winだと思います。
- 日頃から体力づくり健康に気をつけているので特になし

- 病院にかかる際、療養補償証明書がなくても、船員保険証のみで、医療費免除にしてもらいたい。原則初診前等で会社に上がらなくてはならない。病状、症状の報告により、プライバシーが守られない。
- 通院する際、控除が3ヶ月しか適用しないので何とかして欲しい。1年や2年かかると全て実費なので困る
- 船員保険の意義。
- 船内で健康づくりに取りくんでも下船後の生活習慣まで活かしているのかは分からない。(全従業員) ポスター・パンフレットも無駄な経費ではないでしょうか。船は特殊な仕事内容なので完璧には取りくめない。健康に気遣って頂いてる事は感謝致します。
- 下船時、休みが短いので時間がもったいない。・引退したので、いろんな検査をやっていくつもりです。
- 会社が船員不足でまともな休みが取れない為、35歳以上の生活習慣病予防健診は言葉が悪いですが、強制的に受診できるようにしてもらいたい。
- 睡眠、運動、食事規則正しい生活をする事!! Continuation is power
- もっと現代に合わせた情報発信の仕方をして下さい。
- 沿海の船舶(タンカー)はなかなか接岸し、病院に行く事が出来ない所以で歯科も保健で診察出来るようにしてほしい。(乗船中に痛くならない様に、予防として)カゼを引いても、病院に行けないし、その前に治るか、重症になるか、なので、特に独身者は、保健を払う価値がないと思う。その都度実費のほうが安いと思う
- 酒もダメ、タバコもダメ大食いもダメなどのダメ、ダメばかり言われてもストレスもたまる 酒はやめて5年たちますが、タバコもやめませんかと言われ、美味しいもの食べるなどと言われても、生きる楽しみが本当になくなってしまった。うつになりそうです
- 船員保険からのお知らせは、船舶所有者までは届いているが、その後各船舶までは届く事は少ない様だ。
- 会社からの直接指導、書類、SNSでは指導にならない。
- 問27でその他に記載した通り、内航船員は、約3ヶ月乗船します。なので、乗船中は自分で食事の管理はできません。船員保険の健康保険協会は、この様な実態を把握されているのでしょうか？
- 船の中で喫煙されるとイライラして臭うし、のどがいたくなってとても仕事が正常にできる状態じゃなくなります。せめて外で吸ってほしいです。船の中で喫煙されると空気が回ってきてとても不快です。ルール・マナーを決めて徹底してほしいです。良好な人間関係を築くのに必要だと思います。煙草アレルギーの人がいたらどうするのでしょうか？早急に対応してほしいです。
- 上半身下半身どちらをきたえると健康に良いか？動物性植物性たんぱく質はどちらが良いか？
- 健康づくりも大切ですが、まったく別の話 船員にとって、働きやすい環境や優遇とかを、働き掛けていただければいいと思います。乗船中は住民税免除とか、技術向上の為の養成所とか有ればいいなと思います。以上です。

- しっかりと健康診断を受けたいが平日の休みが取れず受けられない。同僚がタバコを何本も吸うのでいつも我慢しているが、本当にやめてほしい。受動喫煙の被害についてどうにかしてわからせる方法はないかと思う。
- パンフレットの送付。会社からの連絡を受け取っておりやくにたっています。
- 健康づくりも必要だけど他の組合よりも色々なサービスが少ないので全然魅力的ではない。
- 休暇中は、なるべく歩くようにしてます。
- 特定保健指導の案内が3ヶ月を過ぎても届かず、連絡したことがあった。もっと早く案内を送付してもらいたい。
- 私は海上では電波が悪く、オンラインでの指導が受ける事ができません。何か他の方法があればうれしいです。
- 船員は喫煙者が多く、対策をしてくれるのはすごく助かるが、飲酒の人数も非常に多いためそこを色々対策してくれるともっと助かる 船舶所有者しか知らない情報が多すぎるのもっと船員に情報を広めてほしい←個人船首なら尚更
- 保健指導を受けても、規則正しい生活をとるのが見える・労働環境改善しなければ規則正しい生活できない。・こんな事より船員育成に力を入れるべき。
- 下船後の休みが短い為、家の用事が先にすませる事が多いので、健康づくりは、後廻しになってしまう。
- うみがメールをもう少しわかりやすくしてほしい
- 予防医療について
- 療養証明の期間、病気に対する回数の制限等を緩和してほしい。病気にかかりその期間中に手術等しないといけない判断を強いられる状況になる為繰り返す病気なら手術した方がいいなと思う人が大半だと思います。よろしくお願いします。
- 常備薬を船内でも手配できたら嬉しい。糖尿系。ヘルペス系。
- 健康づくりに関してもう少しわかりやすくして下さい
- 60才以上は半年に1回健康保険を受けるようにしてもらいたい
- 健康証明書を提出してもまったく意味がない。活用されていない。※糖尿病治療中であるのに生活習慣病予防関連の資料が送られてくる。まったく無駄で提出する気がなくなった。
- スマホでも回答できるように次回から検討下さい。船員へ誘う際に「こんな良い事があるよ！」とすすめられる制度の拡充、配信を期待します！
- 私は、航海中、停泊中に限らず、つとめて運動する様に心がけている。ただ、船内では健康に関する事は希薄であると思います。(ほとんどの内航船)
- 船員保険証のマイナンバーカードへの移行がまだ伝わっていません マイナンバーカードをまだ所有していない者もいます。出来れば保険証とマイナンバーは分けてほしい
- 今時のスマートウォッチでの健康データチェック
- 無呼吸症候群の機械の為に2ヶ月に1回病院に1人間の為に行けない 機械を買えない物なのか？
- 便秘について、バランスがわるいため便がスムーズに出ない、やはり、不規則の生活のためか？

- 毎日下船できるので、可能な限り、2時間、ランニング、ウォーキングで体力づくりをしています。ただシフトの関係で、早朝から、下船まで病院が開いてる時間が無いので、もしもの時は大変だなと思います。食事、運動は気をつけてますが、喫煙だけは、やめれそうにないですね。
- 健康について見直す機会にはなっています。船員が少なくなってきた中で、今後さらなる高齢化となる事を考えると、もっと健康に関する情報を発信して欲しいが、保険料が高くなるのはやめてほしい。
- 調べても、けっきょく何が言いたいのか分からん説明しかない。中学生でも分かるようにネットにのせてほしい
- 海がない市町村にはあまり恩恵がない様に感じる。(健康診断など)
- 問15の健診車の事を、見直してもらいたい。・乗船時、時間の余裕が無いので、何なら、下船日(陸上)での健診(予約)も考えてもらいたい。予約になるので、個人健診のみになるので時間も診断検査もスムーズに終了できる。又オプション検査もやりやすくなる。・歯の治療も無料科にしてもらいたい。・健険(健保)高過ぎると思います。
- 海上でのネット環境が向上すれば心身ともに健康になると感じる。
- 問31のプログラムを利用。やりとりが上手いかず途中でやめてしまったが、結果タバコをやめる事ができた。・あとこのアンケートもスマホからQRコードでできるようにしても良いかと思う。
- 船員手帳の健康診断をどの医療機関で受けてもオッケーにしてほしい。医療費のお知らせの通知は会社ではなく個人に直接郵送してほしい。パンフレットや広告はWEB閲覧にして経費削減してほしい。保険料を安くしてほしい
- “オンライン禁煙プログラム”に関して。オンラインでプログラムを受けれることはいいと思う。外航船ではw i - f i等の設置が不十分であるため、満足にそのプログラムを受けられるのはできないと思っている。そのため、まず船内設置の充実の方が先だと思うので船員保険部からも船会社へ周知してほしい。
- 医療機関により、予約から受診、結果が出るまでの期間が長い事が多く、休暇期間(30日)では間に合わない事が有る。
- 就職して4年、精神的な健康状態が身体の健康に一番関係しているんじゃないかと思いました。船内生活は意外と動かないですし、同じ様な生活が続くのでストレスからタバコ、お酒、過食に寄る人が多いのではないかと思います。
- 健康的な船内生活のコツを教えてください。
- 船員は日本にとって大切な仕事です。安心して乗船出来る様にして下さい。やっぱり他の仕事よりも何か得みたいな制度にして下さい
- 船内での食事がもっと質を上げてほしい。・衛生、栄養に関する講習を定期的に行なってほしい。・禁煙、運動、船内での食事がとても大事だと思います。
- 船員も心を痛むケースが最近多く、そのサポートについて(特に乗船中の、自分で出来る、あるいは、他のメンバーからサポートできる)ご案内をいただきたいです。
- 定年後の船員保険から国民保険等の移動に際して、健康づくりに関してのアドバイスなどの取組が不安になります。

- 健康に気をつけたいと思います
- 生活習慣病予防健診を毎年受けているが、休暇一ヶ月では総合健診を受けられないことが多く、一般健診を受けている。どうせ受けるのであれば詳細な検査を受けたいので、病院側に船員等特殊な業体の人が受けられるよう枠を取っというてほしい。
- できる限りマイペースを守る。休みの日は、自然の中に身を置く。
- 私は毎日愛犬と散歩朝、夕20分ぐらい散歩する。
- 年一度の健診でも、乗下船のタイミングが合わない時が多く、一年以内に健診を受けなくてはなりません。それぞれ船の乗組員全員で、仮バース等を取って、毎年受けられる様、船舶会社の単位で受診できる体制を整えたら、船員全てが、同じ知識が持てると思う。
- アプリではなく、紙でほしいときがある。
- 定期健診は要らない。病気を増やさないで！！
- 船内の健康に関する環境整備について、啓発してほしい。小さな船にも運動、リラクゼーション施設を整備するよう働きかける、恵まれた船について紹介するなど。トップによって待遇に差がありすぎる。また、食事についても同様。船内では、個人の努力でできることに限界がある。労働組合と連携して後押ししてほしい。
- インターネット契約保養所システムサービスを終了させないで下さい。
- 懇切丁寧な、ご案内を下さりありがとうございます。おかげ様でこれまで、入院等の病気や、ケガはありませんでしたが、年齢的な事もあり、この様に生活習慣病を含む健康診断は受診しております。今後とも、よろしくお願いします。

漁船

- 年に1回の健診車の定期健診を受診しておりますが本当に便利で感謝して居ます。私は74才でまだ乗船中ですが75才以後は健診車の健診を受けられなくなるのでしょうか。5月で75才になります。
- 宿泊補助制度は申請しなくてもすぐネットで割引適用してほしい。
- もっと生活習慣病予防健診ができる病院を増やしていただきたいと思います。
- 健康には気をつけていますが、仕事の時間が長く、休日を利用してまでとはなかなか腰が上がりません。船員は、時化もある事から、週休2日とは行きません。完全土日休みではないのです。日曜の夕方から仕事であり、休日を有行に使えません。どうにかならないのか？毎日思っています。
- たばこをかなり吸っております。その近がとても心配に思っております。たばこを吸わない人は船乗りでないと言っておりました。その内年が教えてくれる時期がくるとは思いますか？息子は現在操業中でありますのでTELにて聞いて返信させていただきます。(夏の6月～7月までしか日本にいないため)
- 2ヶ月3ヶ月待ちの予約では、休漁中に受診できない。
- 船員保険はとても優秀であると思います。
- インプラント治療するにあたっての船員保険からの補助金制度等を希望。

- 私は漁船に乗船し外国船員を指導しましたが、新人も経験者も給料が同額になり、前より仕事をしなくなりストレスが溜まり、病気になるリスクが高くなり下船を考えています。
- 船員保険の健康診断の時間が、かかりすぎる
- 健康づくりについてどのような事が必要であるのかいろいろとたくさんあると思いますが情報があまりない
- 説明会をしてほしい
- 特に今のところは、ないです。人間ドックを受けて（年1回）いますが、費用が高いので補助が出れば良いと思う。
- 歯科医も無料にしてほしい。
- たばこは体に悪いし、高いので本当にやめたいけど、禁煙外来で世話になりやめれたのに、自分の意志が弱く、またたばこに頼ってしまって本当に情けない
- 遠洋区域は10ヶ月－1年と長いので、不利な事が多い
- 乗船スケジュールの都合で健診の予約がとれなかったりするので、船員は優遇してもらえないか
- 健診車のひん度を増やしてほしい
- 船内、分煙等、吸っていなくても受動喫煙の事、考えて欲しいです。家族がタバコのニオイがして嫌だといつも言われています。
- 喫煙したこともないのに定期的に船員保険から禁煙の案内の紙が届きます。本当にやめてほしいです。関係ない資料を送るのは紙の無駄ですし、環境への配慮も足りていないのではないのでしょうか。あと案内等も、送付するなら電子化するのがいいと思います。

第 4 章 調査票

全国健康保険協会船員保険部

「船員保険（健康づくり等）に関する意識調査」

令和6年1月

ご記入にあたってのお願い

◇記入日時点の状況について、宛先のご本人様にご回答ください。

◇質問へのご回答は、あてはまる番号に○をつけていただくか、数字を記入してください。

回答が「その他」の場合は（ ）内にその内容をご記入ください。

◇回答によっては、次に答える質問が変わります。矢印や質問文の指示に従ってください。

<お問い合わせ先>

株式会社サーベイリサーチセンター「船員保険（健康づくり等）に関する意識調査」事務局

☎0120-036-310（通話料無料／月～金（祝日除く） 9～18時）

まず、あなたご自身についておたずねします。

※調査結果を統計的に分析するために必要となります。ご回答をお願いいたします。

※調査の結果は、「〇〇の意見が何%」という形で公表されますので、どなたがどのようなお答えをなさったかについて、知られることは一切ありません。ありのままお答えください。

（問1. ～問3. は、全員がお答えください）

問1. あなたの性別を教えてください。（○は1つだけ）

1. 男性

2. 女性

問2. あなたの年齢を教えてください。（○は1つだけ）

1. 15歳～19歳

7. 45歳～49歳

2. 20歳～24歳

8. 50歳～54歳

3. 25歳～29歳

9. 55歳～59歳

4. 30歳～34歳

10. 60歳～64歳

5. 35歳～39歳

11. 65歳～69歳

6. 40歳～44歳

12. 70歳～74歳

問3. あなたが現在乗船している（直近で乗船していた）船舶の種類を教えてください。（○は1つだけ）

1. 外航船（貨物船（タンカー以外））

6. 内航船（旅客船）

2. 外航船（タンカー）

7. 漁船

3. 外航船（旅客船）

8. 引き船（タグボート）・押船・作業船

4. 内航船（貨物船（タンカー以外））

9. 調査船

5. 内航船（タンカー）

10. その他（具体的に： ）

→ 問4. へお進みください

(問4. ～問7. は、全員がお答えください)

問4. あなたが現在乗船している（直近で乗船していた）船に乗り組む船員の人数は、おおよそどれくらいですか。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 1人 | 5. 20~29人 |
| 2. 2~4人 | 6. 30人~49人 |
| 3. 5~9人 | 7. 50人~99人 |
| 4. 10~19人 | 8. 100人以上 |

問 5. あなたが現在乗船している（直近で乗船していた）船舶の総トン数はどれくらいですか。（○は1つだけ）

1. 20 トン未満
2. 20 トン以上～700 トン未満
3. 700 トン以上～3,000 トン未満
4. 3,000 トン以上
5. わからない

問 6. あなたが現在乗船している（直近で乗船していた）船の航行区域を教えてください。
（○は1 つだけ）

1. 平水区域
2. 沿海区域
3. 近海区域
4. 遠洋区域
5. わからない

問 7. あなたの職種を教えてください。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 船長 | 8. 司厨長 |
| 2. 航海士 | 9. 司厨部員 |
| 3. 甲板長 | 10. 事務部門 |
| 4. 甲板部員 | 11. 漁労長 |
| 5. 機関長 | 12. パーサー |
| 6. 機関士 | 13. その他 |
| 7. 機関部員 | (具休) |

(具体的に：)

→ 問8. へお進みください

(問 13. で「1」または「2」とお答えの方へ)

問 14. 主に、どのような点に満足されていますか。(○は3つまで)

1. 健診内容が充実している
2. 健診機関が多い
3. 近くに健診機関がある
4. 船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができる
5. 健診車が来てくれる
6. 無料で受けることができる
7. 利用手続きが簡単である
8. その他(具体的に:)

→ 問16. へお進みください

(問 13. で「3」または「4」とお答えの方へ)

問 15. 主に、どのような点がご不満ですか。(○は3つまで)

1. 健診内容が不十分である
2. 健診機関が少ない
3. 近くに健診機関がない
4. 健診車が来てくれない
5. 健診に時間がかかる
6. 予約が面倒
7. 予約が取れない
8. 利用手続きがわかりにくい
9. その他(具体的に:)

(問 14. または、問 15. のいずれかをお答えの方へ)

問 16. 昨年一年間では、船員保険が実施している生活習慣病予防健診を受診されましたか。
(○は1つだけ)

1. 受診した → 問 18. へお進みください
2. 受診していない

(問 11. で「2」または、問 16. で「2」とお答えの方へ)

問 17. 生活習慣病予防健診を昨年一年間または今までに受診されなかった主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 仕事が忙しいから | 8. すでに医療機関にかかっているから |
| 2. 申込み手続きがわからなかったから | 9. 船員手帳健診を受けているから |
| 3. 健診内容が不十分だから | 10. 健康に自信があるから |
| 4. 希望しない検査が含まれているから | 11. 健診結果を知るのが不安だから |
| 5. 近くに健診機関がないから | 12. 予約がとれなかったから |
| 6. 予約が面倒だから | 13. その他 |
| 7. 毎年受ける必要がないと思ったから | (具体的に:) |

→ 問18. へお進みください

(50 歳以上の男性の方、全員がお答えください。50 歳未満の男性の方・女性の方は、問 19. へお進みください。)

問 18. 「生活習慣病予防健診」では、現在 926 円で「前立腺がん検診」を追加することができます。もし、「前立腺がん検診」が無料になれば、あなたは、生活習慣病予防健診を利用したいと思いますか。(○は 1 つだけ)

1. 利用したいと思う
2. 利用したいとは思わない

(問 19. は、35 歳以上の方全員がお答えください)

問 19. 生活習慣病予防健診を受ける際に、船員手帳をお持ちいただければ、「健康証明」が受けられる医療機関があることをご存じですか。(○は 1 つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

(問 20. は、40 歳以上の方、全員がお答えください。40 歳未満の方は、問 23. へお進みください。)

問 20. 船員保険では、生活習慣病予防健診を受けていない方について、船員手帳の「健康証明書」欄の写しのご提供をお願いしていることをご存じですか。(○は 1 つだけ)

1. 知っており、提供したことがある → 問 22. へお進みください
2. 知っているが、提供したことはない
3. 知らない → 問 23. へお進みください

(問 20. で「2」とお答えの方へ)

問 21. 船員手帳の「健康証明書」欄の写しをご提供いただけなかった最も大きな理由は何ですか。(○は 1 つだけ)

1. 提供方法がわからないから
2. 面倒だから
3. 提供することにメリットを感じないから
4. 個人情報を提供することに不安があるから
5. 提供依頼・案内がないから
6. その他（具体的に： _____ ）

→ 問 22. へお進みください

(問 20. で「1」または、問 21. をお答えの方へ)

問 22. 船員保険では、船員手帳の「健康証明書」欄の写しをご提供いただくと、加入者である船員ご本人が次の A～C の支援・サービスを受けられることをご存じですか。
(○はそれぞれ1つずつ)

支援・サービス	知っている	知らない
A. マイナポータルでの健診結果閲覧	1	2
B. 船員保険健康アプリでの健診結果閲覧	1	2
C. 特定保健指導の案内(40 歳以上)	1	2

(問 23. は、全員がお答えください)

問 23. 令和 5 年 4 月より、船舶所有者に船員の健康検査結果の管理義務ができ、船員のみなさまは、船舶所有者に対して健康検査結果の提出が必要となったことをご存じですか。(○は1つだけ)

1. 知っている

2. 知らない

(40 歳以上の方、全員がお答えください。40 歳未満の方は、問 31. へお進みください。)

問 24. 船員保険では、健診結果から生活習慣の見直しが必要な方に対し、専門家が生活習慣の改善方法等の相談にのり、助言等を行う「特定保健指導」というサービスを無料で提供していることをご存じですか。(○は1つだけ)

1. 知っており、利用したことがある

2. 知っているが、利用したことはない

3. 知らない

問 28. へお進みください

問 31. へお進みください

(問 24. で「1」とお答えの方へ)

問 25. 「特定保健指導」のサービスに満足されていますか。(○は1つだけ)

1. とても満足

2. おおむね満足

3. やや不満

4. 不満

(問 25. をお答えの方へ)

問 26. 「特定保健指導」は、初回面談の後、3 か月間続けていただくことになっていますが、最後まで受けられましたか。(○は1つだけ)

1. 最後まで受けた

2. 途中で受けるのをやめた

問 29. へお進みください

問 27. へお進みください

(問 26. で「2」とお答えの方へ)

問 27. 途中で受けるのをやめた最も大きな理由は何ですか。(○は1つだけ)

1. 仕事が忙しいから
2. 乗船中で連絡が取れなかったから
3. 面倒になったから
4. あまり役に立たないと思ったから
5. 実施期間が長いから
6. 医療機関にかかるようになったから
7. その他(具体的に:)

→ 問29. へお進みください

(問 24. で「2」とお答えの方へ)

問 28. 特定保健指導を利用されなかった主な理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 特定保健指導に該当したことはない
2. 仕事が忙しいから
3. 乗船中で連絡が取れなかったから
4. 生活習慣を見直す気がないから
5. 指導を受けても役に立たないと思ったから
6. 予約が面倒だから
7. すでに医療機関にかかっているから
8. 実施期間が長いから
9. 利用手続きがわからないから
10. その他(具体的に:)

(問 26. で「1」または、問 27. ～問 28. のいずれかをお答えの方へ)

問 29. 特定保健指導の利用方法についておたずねします。

健診を実施し、特定保健指導の対象となった場合、健診を受けた機関で当日初回面談を利用することができ、健診結果が出た後に残りの面談等を利用(分割実施)できることをご存じですか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

(問 29. をお答えの方へ)

問 30. 特定保健指導は対面での面談だけでなくオンラインでも面談できることをご存じですか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

→ 問31. へお進みください

(問 31. は、全員がお答えください)

問 31. 喫煙についておたずねします。

あなたは、次のどれに当てはまりますか。(○は1つだけ)

1. 現在吸っている → 問 33. へお進みください

2. 以前吸っていたが、やめた

3. 吸ったことがない

(問 31. で「2」または「3」とお答えの方へ)

問 32. 船内の同部屋で喫煙している人がいる場合、どのように感じますか。(○は1つだけ)

1. 構わない

2. どちらかといえば、構わない

3. どちらかといえば、不快に思う

4. 不快に思う

→ 問 36. へお進みください

(問 31. で「1」とお答えの方へ)

問 33. 船員保険では、スマートフォンアプリと禁煙補助剤を利用した6か月間のプログラムで禁煙を支援する、オンライン禁煙プログラムを無料で提供しています。(※)こうした取り組みについてご存じですか。(○は1つだけ)

※令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の新規受付は終了しました。令和6年度(令和6年4月1日以降)にまた受付を開始する予定です。

1. 知っている

2. 知らない

(問 33. をお答えの方へ)

問 34. このサービスを利用して、禁煙したいと思いますか。(○は1つだけ)

1. サービスを利用して、禁煙したいと思う

2. 禁煙したいが、サービスは利用してみたいとは思わない

3. 禁煙したいとは思わない → 問 36. へお進みください

(問 34. で「2」とお答えの方へ)

問 35. サービスを利用したいと思わない理由は何ですか。(○は1つだけ)

1. サービス内容がよくわからないから

2. 申し込み方法など、はじめがよくわからないから

3. 仕事が忙しいから

4. 乗船中のため、利用できないから

5. 面倒だと思うから

6. あまり役に立たないと思ったから

7. スマートフォンがないから

8. アプリ使用に抵抗があるから・操作方法がわからないから

9. 実施期間が長いから

10. その他(具体的に:)

→ 問 36. へお進みください

(問 31. で「1. 現在吸っている」または「2. 以前吸っていたが、やめた」をお答えの方へ)
(問 31. で「3. 吸ったことがない」とお答えの方は問 38. へお進みください)

問 36. あなたは、禁煙外来を利用したことがありますか。現在利用中も含みます。
(○は1つだけ)

1. 利用したことがあります、最後まで利用した (現在利用中を含む)
2. 利用したことがあるが、途中で利用をやめた
3. 利用したことがない

→ 問 38. へお進みください

(問 36. で「2」をお答えの方へ)

問 37. 途中で利用をやめた最も大きな理由は何ですか。(○は1つだけ)

1. 乗船のため通院できなかったから
2. 禁煙に成功したから
3. 面倒になったから
4. あまり役に立たないと思ったから
5. 費用が高いから
6. 治療期間が長いから
7. その他 (具体的に：)

(問 38. ～問 39. は、全員がお答えください)

問 38. 歯の健康についてお伺いします。あなたは、普段から「歯」の健康状態に気を付けていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. とても気を付けている | 4. あまり気を付けていない |
| 2. 気を付けている | 5. 気を付けていない |
| 3. どちらでもない | |

問 39. あなたは、歯の治療等のために、歯科へどのくらいの頻度で行けますか。(○は1つだけ)

1. 1 ヶ月に1回
2. 2～3 ヶ月に1回
3. 半年に1回
4. 1年に1回
5. 数年に1回
6. 頻度は決まっていない (症状があらわれたときのみ)
7. その他 (具体的に：)
8. 歯の治療等を行っていない

→ 問40. へお進みください

(問 40. ～問 42. は、全員がお答えください)

問 40. あなたは、乗船中に歯が痛くなった時、どのように対処していますか。(○は1つだけ)

1. 乗船中は、痛み止め等の応急処置をし、下船後に歯科へ行く
2. 乗船中は、放置・我慢し、下船後に歯科へ行く
3. 乗船中に、痛み止め等の応急処置をし、歯科には行かない
4. 乗船中も、放置・我慢し、歯科には行かない
5. その他(具体的に：)
6. 歯痛になったことがない

問 41. あなたが、日常的に生活情報を得ている方法は主にどれですか。(○は3つまで)

1. 携帯電話・スマートフォン・タブレット端末
2. パソコン
3. 新聞・広報紙
4. テレビ
5. ラジオ
6. 本・雑誌
7. その他(具体的に：)

問 42. あなたは、日頃、船員保険のサービス、イベント、お知らせや活動状況などの情報を主にどこから入手していますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 1. 船員保険のパンフレット | 6. 全国健康保険協会船員保険部以外の業界団体からの情報 |
| 2. メールマガジン(うみがめ〜る) | 7. 他の船舶所有者からの情報 |
| 3. 新聞(専門・業界紙) | 8. その他(具体的に：) |
| 4. 船員保険ホームページ | 9. 船員保険の情報を入手していない |
| 5. 船員保険健康アプリ | |

→ 問43. へお進みください

(問 43. ～問 44. は、全員がお答えください)

問 43. 船員保険からのお知らせで掲載してほしい内容は何ですか。(○は3つまで)

1. 健康づくりに関すること
2. 健診・保健指導に関すること
3. 船員保険の制度に関すること
4. 船員保険給付等の申請手続きに関すること
5. 保険料率に関すること
6. ジェネリック医薬品に関すること
7. その他(具体的に：)

自由意見欄

問 44. その他、健康づくりに関してご意見、ご要望などがございましたら、どのようなことでも結構ですので、下の回答欄に、ご自由にご記入ください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は2月16日(金)までに、同封の返信用封筒(切手不要)でご返信ください。

船員保険事業(健康づくり)に関する意識調査
報 告 書 (被保険者健診版調査)

令和6年3月

【調査主体】 全国健康保険協会船員保険部
〒102-8016
東京都千代田区富士見二丁目7番2号 ステージビルディング14階
電話 03-6862-3061

【調査機関】 株式会社サーベイリサーチセンター
〒103-0027
東京都中央区日本橋三丁目13番地5号 KDX 日本橋 313 ビル6階
電話 03-6262-7523